アフターサービス

●保証書（別紙参照）

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から３年間です。

●対象部分機器

本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※ 点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。
※ 修理品の取り付け・取り外しにかかる費用は補償いたしかねます。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間　9：00 ～ 17：00　月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

故障相談や取扱方法に関するお問い合わせ　フリーコール 0120-998-036

ity.クラブやデータ更新に関するお問い合わせ　フリーコール 0120-958-955

本機のアップデート情報や最新の取扱説明書は随時、弊社ホームページに公開されます。
最新情報は弊社ホームページでご確認ください。（https://www.yupiteru.co.jp/）

株式会社ユピテル
〒108-0075 東京都港区港南1-6-31

6SS2560
ver 1.1

SUPER CAT

Yupiteru

1ボディタイプ
GPSアンテナ内蔵レーザー＆レーダー探知機

YK-110L

取扱説明書 12V車専用

このたびは、ユピテル製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●本機を初めてご使用する場合は、この部分をお読みください。

4 確認とご注意 ページ

10 基礎知識 ページ

21 取り付け ページ

51 待受について ページ

81 警報について ページ

●機能のカスタマイズが必要な場合は、こちらをお読みください。

96 設定について ページ

●「故障かな？と思ったら」が記載されています。例外的な手順はこちらをお読みください。

119 その他 ページ

●別売品のわき見・居眠り運転警報器(OP-EWS2)を取り付ける場合はこちらをお読みください。

126 別売品 (OP-EWS2) ページ

はじめに

安全上のご注意 …… 4
使用上のご注意 …… 8

基礎知識

各部の名称と働きについて …… 10
1. 付属品 …… 11
2. 別売品 …… 12
3. 付属品・別売品の追加購入について …… 13
本機について …… 14
1. 測位可能な衛星の種類 …… 14
2. GPSの測位機能について …… 14
3. 測位アナウンス …… 15
4. リラックスチャイム …… 15
5. 時報 …… 15
6. 受信可能な電波 …… 15
7. トンネル内の警報・警告について …… 16
8. 画面の明るさ調整(フレックスディマー) …… 16
取締のミニ知識 …… 17
1. スピード違反の取締方法 …… 17
2. 取締レーダー波について …… 17
3. 取締レーダー波/レーザー光を受信しにくい場合 …… 18
4. ステルス型取締について …… 18
オービス・取締系 & コンテンツ
データ更新について …… 18
公開取締情報について …… 19
メンテナンスについて …… 20

取り付け

取り付けについて …… 21
本体の取り付け …… 21
A. ダッシュボードに取り付ける ① …… 22
B. ダッシュボードに取り付ける ② …… 23
C. フロントガラスと天井のすき間に取り付ける …… 24
電源コードの配線 …… 26
A. シガープラグコードによる配線 …… 27
B. 電源直結コード(OP-11U)による配線 …… 27
C. OBDⅡアダプターによる配線 …… 28
配線処理について …… 29
安全運転支援機器 …… 30

操作方法

電源ON/OFFについて …… 32
1. 電源ONする …… 32
2. 電源OFFする …… 32
操作方法 …… 33
1. ジャンプウィンドウ …… 33
2. 音量の調整 …… 33
3. 待受変更 …… 33
4. 警報音のミュートについて …… 33
SDカードの取り外し/装着のしかた …… 34
1. SDカードを本体から取り外す …… 34
2. SDカードを本体へ装着する …… 34
地点情報について …… 35
マイエリアについて …… 37
マイキャンセルエリアについて …… 38
ピン登録について …… 39
ピン投稿について …… 40
1. ピンを投稿する …… 40
2. ピンを削除投稿する …… 43
通過履歴について …… 44
ログ機能について …… 45
1. 走行データを記録する …… 45
2. 走行データをコピーする …… 46
3. 走行軌跡を確認する …… 46
カスタムについて …… 47
1. お好みの音源でお知らせする …… 47
2. お好みの画像を表示する …… 48
3. お好みの画像をオープニングで表示する …… 49
4. 待受画面に背景を表示する …… 50

待受について

待受画面について …… 51
待受画面の種類について …… 52
項目/配置変更のしかた …… 58
1. 表示項目を変更する …… 58
2. 項目設定一覧 …… 59
3. 配置を変更する …… 78
4. 配置項目一覧 …… 79

警報について

警報画面について …… 81
1. 警報画面 …… 81
2. メッセージウィンドウ …… 83
3. ジングル …… 84
4. Wアラーム(ダブルアラーム) …… 84
5. オートクワイアット …… 84

警報ボイスについて …… 85
1. GPSターゲット58識別 …… 85
2. 左右方位認識ボイス …… 89
3. オービスロケーションガイド …… 89

取締レーザー光について …… 90

取締レーダー波について …… 91
1. レーダー波6識別(iDSP) …… 91
2. 後方受信 …… 91
3. 接近テンポアップ(電子音選択時のみ) …… 91
4. レーダー受信感度/可搬式オービス名称アイコン …… 92

無線について …… 93
1. 無線14バンド受信機能 …… 93
2. ベストパートナー6識別 …… 95
3. 無線警報音 …… 95

設定について

設定変更のしかた …… 96

設定項目について …… 97
1. 警報設定 …… 97
2. マップ・待受設定 …… 100
3. 画面・LED設定 …… 102
4. 音声設定 …… 103
5. システム設定 …… 106
6. 外部機器設定 …… 107

警報モードについて …… 108

マニュアル個別設定について …… 110

リマインダーについて …… 114

OBDについて …… 116
1. 満タンスタートをする …… 116
2. 満タン補正をする …… 117
3. 係数補正をする …… 118

その他

故障かな?と思ったら …… 119

地図データ …… 124

仕 様 …… 125

アフターサービス …… 裏表紙

別売品(OP-EWS2)

安全上のご注意(OP-EWS2) …… 126

使用上のご注意(OP-EWS2) …… 126

各部名称と働き(OP-EWS2) …… 127

ドライバーモニタリングについて(OP-EWS2) …… 128
1. キャリブレーション …… 129
2. わき見警告 …… 130
3. 居眠り警告 …… 130

取り付けについて(OP-EWS2) …… 131
A. フロントガラスに取り付ける …… 133
B. 純正ルームミラーに取り付ける …… 135

動作一覧(OP-EWS2) …… 138
1. ランプについて …… 138
2. 警告について …… 138

仕 様(OP-EWS2) …… 138

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告：「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

⚠ 注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容です。

絵表示について

❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。

🚫 してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

☛ 関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警 告

❗ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電のおそれがあります。

＜異常な状態の例＞

・内部に異物が入った
・水に浸かった
・煙が出ている
・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

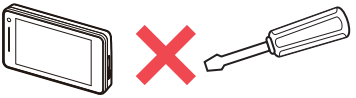
☛ 裏表紙「アフターサービス」

❗ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

❗ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

🚫 **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



🚫 **本機を次のような場所に保管しないでください。**

変色や変形、故障の原因となります。

・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
・湿気やほこり、油煙の多い所
・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

🚫 **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

🚫 **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。

病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。
電子機器などが誤作動するおそれがあり、重大な事故の原因となります。

本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。
爆発や火災の原因となります。

本機を改造しないでください。
故障の原因となり保証を受けることができません。また、それによって生じた損害に関しまして当社は一切の責任を負いません。

SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んでしまうおそれがあります。

注 意

結露したまま使い続けないでください。
故障や発熱などの原因となります。（気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。）

落としたり、強いショックを与えないでください。
破損、故障の原因となります。

各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。
故障の原因となります。

濡れた手で操作しないでください。
感電の原因となります。

本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。
故障の原因となります。

本機は精密機械です。
静電気／電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

●取り付けについて

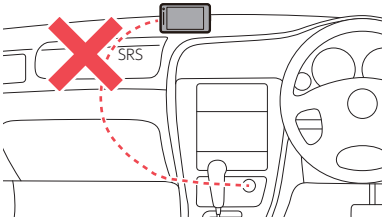
警 告

取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

粘着マット、粘着シートの貼り付け位置は、汚れ・ホコリを十分に落としてください。
粘着力を弱め、本機が脱落するおそれがあります。

一部の運転支援システム装着車の場合、取り付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。
取り付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。
万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注 意

取り付けは確実に行ってください。
本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむるおそれがあります。

突起部分などにご注意ください。
取り付けや取り外しの際、突起部分などでけがをするおそれがあります。

接続部は確実に奥まで挿し込んでください。
動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

本機は車外に取り付けしないでください。
本機は防水構造ではありません。

●電源コードについて

⚠ 警 告

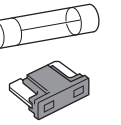
電源コードは確実に挿し込んでください。
接触不良を起こして火災の原因となります。

お手入れの際は、電源コードを抜いてください。
感電の原因となります。

シガーライターソケットは単独で使ってください。
タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

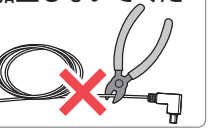
シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。
接触不良を起こして火災の原因となります。

指定以外のヒューズは使用しないでください。
指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



指定された電源電圧車以外では使用しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

コードを引っ張ったり、傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。
故障や感電の原因となります。



⚠ 注 意

車両停止(ACC OFF)してもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。

シガープラグコードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。
故障や感電の原因となります。必ずプラグ部を持って抜いてください。

●本機の操作・運転について

⚠ 警 告

走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

海外ではご使用にならないでください。

本機は日本国内仕様です。

急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむるおそれがあります。

運転者は走行中に操作しないでください。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

●本機のお手入れについて

⚠ 注 意

本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。

●その他

⚠ 注 意

車両から離れるときや使用しないときは、電源OFFしてください。

バッテリー上がりの原因となります。

●OBDⅡアダプター（別売品）について

⚠ 注 意

OBDⅡアダプターを抜くときは、ケーブルを引っ張らないでください。

ケーブルを傷つけ、感電やショートによる発火の原因となります。必ず、アダプター本体を持って抜いてください。

お手入れの際は、OBDⅡアダプターを抜いてください。

感電の原因となります。

本機は安全運転を促進するためのものです。本機を取り付けての違法行為（スピード違反など）に関し、当社では補償いたしかねます。

使用上のご注意

●本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からスピードの出し過ぎに注意し、安全運転をお心がけください。

●電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)の場合、電波が受信しにくくなり、GPS 測位機能がはたらかない場合や、取締レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。

●一部の車種に採用されているUV、IRカットガラスのなかには、レーザー光の透過率が低く取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。

・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
・本製品の取り付けによりダッシュボードおよび車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ レーダー/レーザーアラームに関する注意

・走行環境や測定条件などにより、取締レーダー波/レーザー光の探知距離が変わることがあります。
・狙い撃ちの取締機(ステルス型取締機)は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
・レーダー波を使用しない速度取締(光電管式など)の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。
・レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの周辺では、取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。
・取締レーザー光以外でも以下の周辺では反応する場合がありますが、これは誤動作ではありませんのでご了承ください。(レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの一部)
・周波数帯の変更を伴う取締機の仕様変更により、探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。

■ GPS測位機能に関する注意

・本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
・新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS警報できませんのであらかじめご了承ください。
・GPS警報の左右方向識別ボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
・本機の警報はあらかじめ登録されたオービスや取締エリアなどのGPSターゲットとお客様が登録した位置のみ警報します。

■ 無線14バンド受信機能に関する注意

・カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
・本機は、受信した音声を聞くことができる交信音声受信機能(復調)を搭載しておりますが、デジタル方式や、デジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。また、各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
・カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー6識別は、はたらきません。

■ 表示部に関する注意

・表示部を強く押したり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でけがの原因となります。
・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保証することができません。あらかじめご了承ください。

■ 取り付けに関する注意

・GPS衛星からの電波やレーダー波/レーザー光を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
・車載されている他の電装機器のアンテナの近くなど、他の電装機器の電波干渉によりGPS衛星の電波を受信できない場合があります。本機を取り付ける場所は、他の電装機器との間隔を十分取ってください。
・水がかかったり、熱風があたる場所には取り付けないでください。
・本機あるいは電源コードが、ドアの開閉部などにあたったり、はさまれないようにしてください。
・本機を道路に対して水平に、またレーダー/アンテナ部が進行方向に取り付けていないと、Gセンサー/ジャイロセンサーが正しく動作しないことがあります。
・取付位置によっては、本機のフレックスディマーを[照度センサ+衛星情報]にした場合にフレックスディマーが常時作動することがあります。その場合は、取付位置を変更するか、フレックスディマーの設定を[衛星情報]にしてご使用ください。
・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ SDカードに関する注意

・付属のSDカードは、本機専用でご使用ください。
・SDカードの出し入れは、本機を電源OFFした状態で行ってください。
・SDカードは一方向にしか入りません。無理に押し込むと、本機やSDカードが壊れることがあります。
・SDカードに保存した画像データや音楽データなどのデータが消失した場合でも、データなどの保証に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 収録データに関する注意

・収録されているオービス・取締系&コンテンツデータおよび地図データは、製品製造時のデータとなります。
・制限速度は普通自動車に対する表示となります。
・本機の制限速度は、本機購入時以降に制限速度が変更されたなどの理由により、実際の制限速度と異なる場合があります。運転する際は、スピードを出し過ぎず交通規則に従い走行してください。
・事故や天候、時間帯などで変化する制限速度には対応しておりません。状況に応じた制限速度で走行してください。

■ 画面表示に関する注意

・日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
・時刻の表示は、24時間表示です。12時間表示に変更することはできません。
・走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやGセンサー、ジャイロセンサー、気圧センサー、マップマッチングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
・車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
・渋滞や低速走行時(発進直後を含む)は、速度表示を正しく表示しないことがあります。
・液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

■ シガープラグコードに関する注意

・シガープラグコードは、必ず付属品をご使用ください。
・シガープラグコード内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販品の新しいヒューズと交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードを抜いて、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご相談ください。
・一部のアイドリングストップ車で、アイドリングストップ後のエンジン再始動時にシガーソケットなどへの供給電源が低下することがあるため、本体の電源が落ちる場合があります。

■ OBDⅡアダプター(別売品)で接続した場合

・取り付ける車両によっては表示できない待受画面の項目があります。
・イグニッションをOFFにしてから本機を電源OFFするまで、数秒から数十秒かかります。
・車検、点検等の後は、故障診断装置接続の為本機のOBDⅡアダプターが抜けている場合があります。その際は再度OBDⅡコネクターへ本機のOBDⅡアダプターを挿し込んでください。

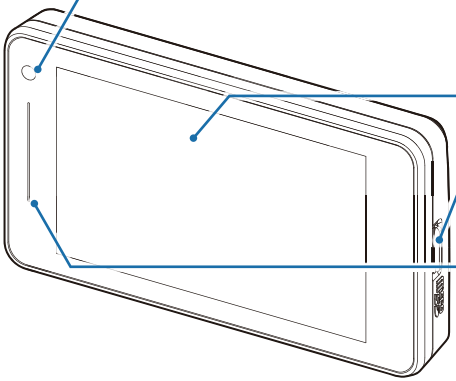
■ 保証に関する注意

・本製品にはお買い上げ日から3年間の保証がついています。(ただし、電源コードなどの付属品ならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

各部の名称と働きについて

■ 本体

正 面



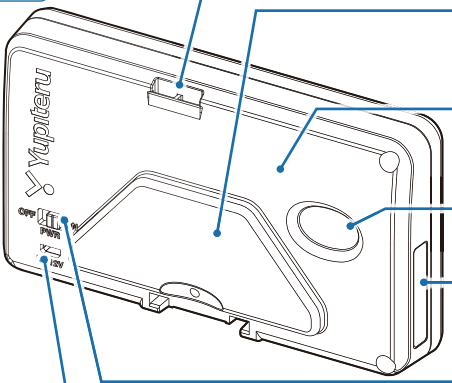
照度センサー
周囲の明るさを検知し、画面の輝度を調整します。

3.6インチワイド液晶ディスプレイ
タッチパネルで設定の変更などを行います。

microSDカード挿入口
本機で使用するmicroSDカードがあらかじめ装着されています。

LED発光部
警報の種類・緊急度や公開取締情報などのお知らせによって、さまざまな色で発光して警告します。

背 面



スピーカー
警告音などを出力します。

GPSアンテナ
衛星からの電波を受信し、自車位置の特定や日時の修正をします。

レーダー/無線アンテナ
取締レーダー波と各種無線信号電波を受信します。

レーザー受光部(エスフェリックレンズ)
取締レーザー光を受信します。(☛ P.90)

シリアルナンバー
製造番号/機種名が印刷されています。問い合わせの際に必要になります。

電源スイッチ[PWR]
ON/OFFすることで本体の電源を入り切りします。

DCジャック(DC12V)
本体に電源を供給するのに使用します。付属のシガープラグコードなどを接続します。(☛ P.26)

⚠ 注 意

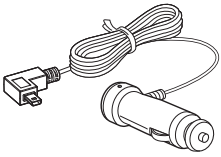
本体のDCジャックはUSB端子ではありません。故障の原因となりますので、パソコンなど他の機器のUSB端子と接続しないでください。

1. 付属品

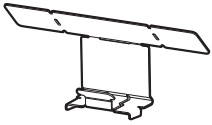
製品には万全を期しておりますが、欠品等ございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

■ ダッシュボード取付け用
ブラケット ……1

■ シガープラグコード
[L-M型ミニプラグDC12V出力]
（約4m） ……1



■ 宙吊り取付けステー ……1



■ 粘着シート ……1

■ 粘着マット ……1

■ 両面テープ ……1

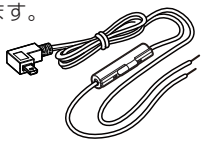
■ microSDカード
（本体にあらかじめ装着されています。）

■ 保証書 ……1

2. 別売品

■ 電源直結コード [L-M型ミニプラグDC12V出力] (約4m)　OP-11U

シガーライターソケットを使わずに、車内アクセサリー端子から直接電源をとることができます。

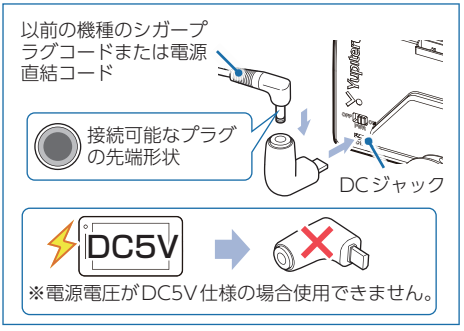


■ レーダー探知機用液晶保護フィルム OP-PF36R1

画面の反射や指紋などを防止するフィルムです。
詳しくは、こちらのURLでご確認ください。
(https://www.yupiteru.co.jp/OP-PF36R1)

■ DCプラグ⇒ミニプラグ変換コネクター OP-8U

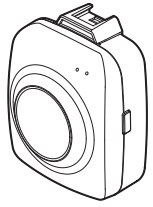
以前の弊社レーダー探知機で使用していたDCプラグタイプのシガープラグを使って、本体に電源を供給するための変換コネクターです。



■ わき見・居眠り運転警報器 OP-EWS2

フロントガラス取付け用ブラケット……1
ルームミラー取付け用ブラケット ……1
六角レンチ ……1
アダプター ……1
接続ケーブル ……1
両面テープ ……1
結束バンド ……2

フロントガラス、またはルームミラーに設置した本体(カメラ)で撮影した映像を画像処理し、顔の向きとまぶたの開閉を検出します。通信ケーブルで本機(レーダー探知機)と接続すると、本機で警報表示します。
OBDⅡアダプターと同時に使用することもでき、OBD情報の表示もできます。

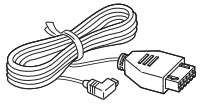


わき見・居眠り運転警報器接続時に必要なもの

わき見・居眠り運転警報器(OP-EWS2) … 1
通信ケーブル(OP-CB12) …… 1

■ 通信ケーブル(約4m) OP-CB12

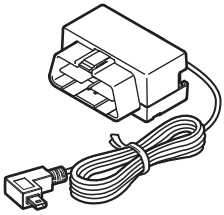
本機とOP-EWS2の付属アダプターを接続するための通信ケーブルです。



■ OBDⅡアダプター

⚠ 注 意

・OBDⅡアダプター使用時、車種によっては画面に表示できない情報があります。詳細については、販売店の店頭や弊社ホームページでOBDⅡアダプター適応表をご確認ください。
・OBDⅡアダプターには、適応表が指定されています。販売店の店頭や弊社ホームページでOBDⅡアダプター適応表をご確認いただいてからお求めください。



OBD12-MⅢ(約4m)

国産8社に対応(トヨタ(ハイブリッド車含む)、日産、ホンダ、三菱、ダイハツ、スバル、マツダ、スズキ)

OBD-HVTM(約4m)

トヨタハイブリッド車専用
・アクティブ機能対応
(車速感応ドアロック、エマージェンシーシグナル)

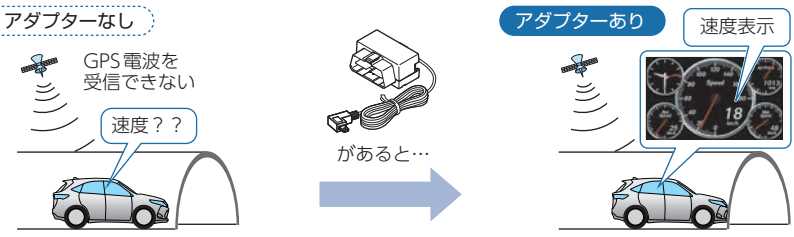
付属の電源コードの代わりに本機への電源供給を行うと同時に、車両のOBDⅡコネクターから車両情報を取得して待受画面に表示させたり、トンネル内など衛星情報が受信できない場所でも速度情報を取得できるので、より正確な警報を行うことができるようになります。

本機は、OBD12-MⅢ、OBD12-MⅡ、OBD-HVTM、OBD12-MのOBDⅡアダプターに対応しています。

本書では、個別の機種名を表記せず、OBDⅡアダプターと表記します。

※ 適応車種については、店頭もしくは弊社ホームページのOBDⅡアダプター適応表をご確認ください。
※ 適応車種であっても取り付けを推奨していない自動車メーカーもありますので、取り付けに関してはお客様のご判断で行ってください。
※ ディーラーに入庫する際は、OBDⅡアダプターを車両から取り外してください。ディーラーによっては入庫を断わられることがあります。

トンネル内などGPS電波を受信できない場所では…



3. 付属品・別売品の追加購入について

・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用○○(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
https://spareparts.yupiteru.co.jp/

本機について

本書では特にことわりのない場合、衛星測位システムを総称して「GPS」と表記しています。

1. 測位可能な衛星の種類

本機では、最大90基の衛星を受信することができます。
※ 2026年1月時点。

■ GPS(Global Positioning System)
アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計算するシステムです。

■ 準天頂衛星「みちびき」
準天頂軌道の衛星が主体となって構成されている日本の衛星測位システムです。
GPSのみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでもより正確な測位をします。

■ グロナス(Global Navigation Satellite System)
ロシアの衛星を利用し、地上での現在位置を計算するシステムです。

■ SDCM(System of Differential Correction and Monitoring)
ロシアの静止衛星型衛星航法補強システムです。

■ GAGAN(GPS Aided GEO Augmented Navigation)
インドの静止衛星型衛星航法補強システムです。

■ GALILEO(Global Navigation Satellite System)
EU(ヨーロッパ連合)の衛星を利用し、地上での現在位置を計算するシステムです。

■ KASS(Korea Augmentation Satellite System)
韓国の静止衛星型衛星航法補強システムです。

2. GPSの測位機能について

GPSを利用して、取締レーダー波を発射しないループコイル、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締装置)にも警報します。また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締や検問が行われていた場所など、58種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS58識別]

■ マップマッチングシステム
GPS・Gセンサー・ジャイロセンサーで、自車の進行状態を検知し全国地図と照合して、ルートのずれを補正します。

※ トンネル内のマップマッチングシステムは、全国の高速道路ならびに国道のトンネルで、はたらきます。
※ 新しい道路などではマップマッチングしない場合もあります。
※ 状況によってはマップマッチングがはたらかない場合があります。

■ クイック測位対応
前回電源OFFした時刻と自車位置情報を基に、GPS衛星位置を予測し、現在の自車位置をすばやく測位することができます。

■ ジャイロセンサー＆Ｇセンサー＆気圧センサー＆照度センサー

ジャイロセンサーで、自車の進行方向の変化を計測します。
Ｇセンサーで、自車の加減速の変化を計測します。
気圧センサーで、気圧の変化による高度変化を計測します。
また、照度センサーで周囲の明るさを計測します。

4 センサー　ジャイロ　G（加速度）　気圧　照度

■ OBDⅡ車速検知（※別売品のOBDⅡアダプターで接続）

GPS電波を受信できないトンネル内でも、正確な車速情報を得ることができます。

マップマッチングシステム、気圧センサー＆Ｇセンサー＆ジャイロセンサ、別売品のOBDⅡアダプターを接続することによるOBDⅡ車速度検知により、GPS電波の受信状態が良くない場所でも、高精度な警報を行うことが可能になります。
ただし次の場合、クイック測位は機能しません。

・最後に本機を電源OFFしてから６日間以上経過した場合。
・最後に本機を電源OFFした時と、次に電源ONした時のGPS衛星の状況が異なる場合。
・GPS電波の受信を妨げる遮へい物や妨害波がある（存在する）場所で本機を電源ONした場合。

3. 測位アナウンス

GPS測位時／非測位時に音声でお知らせします。
ビルの谷間などGPSの電波受信状態が良くない場合、『衛星を受信できません』『測位しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。電源ONにしてから、しばらくGPSを受信できない場合『衛星をサーチ中です』とお知らせします。
※ 測位アナウンスはON/OFFすることができます。（☛ P.104［サウンドカスタム］⇒［測位アナウンス］）

4. リラックスチャイム

安全運転をしていただくために、休憩を促す機能です。初期値では電源ON後、２時間が経過するたびに『長時間運転しています　休憩しませんか？』とお知らせします。
※ リラックスチャイムはお知らせする時間を選択できます。（☛ P.103［その他の音］⇒［リラックスチャイム］）

5. 時報

毎時、正時に時刻をお知らせします。「○○時です」。
※ 時報はON/OFFすることができます。（☛ P.103［その他の音］⇒［時報］）
※ 24時間制でお知らせします。

6. 受信可能な電波

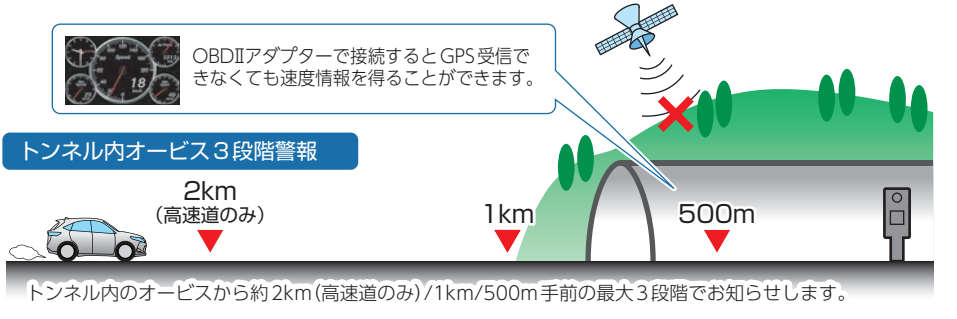
レーザー光、取締レーダー波のX・Kツインバンド、GPSの４バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、18バンド受信ができます。

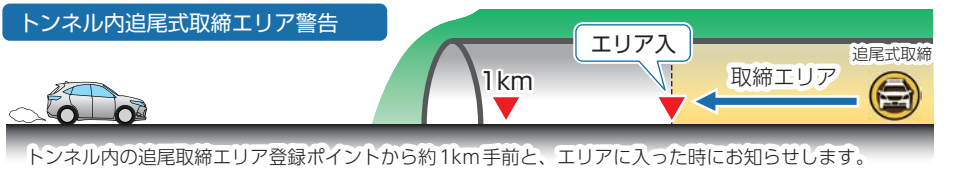
レーザー光 ＋ GPS ＋ Xバンド／Kバンド ＋ 無線14バンド ＝ 18 BAND

7. トンネル内の警報・警告について

本機は、Gセンサー、ジャイロセンサーおよびマップマッチングシステムにより、GPSの電波を受信できないトンネル内のオービスや取締エリアをお知らせします。さらに別売品のOBDⅡアダプターで接続した場合は、OBDⅡ車速検知により高精度な警報を行います。

※ 走行状況によっては警報できない場合があります。

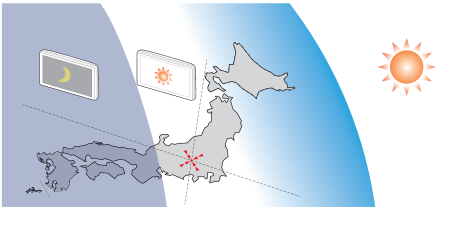




8. 画面の明るさ調整（フレックスディマー）

夜間やトンネルなど周囲が暗いときは、画面表示の明るさを抑え、眩しさを防ぎます。GPS情報等により、それぞれの地域および季節などに応じ自動的に画面表示の明るさを調整します。また、照度センサーを搭載しているので、トンネルなどの急激な照度の変化にも対応しています。

また、OBDⅡアダプター（OBD12-MⅢ、OBD-HVTM）を接続し、イルミ信号を取得すると、本機の設定がイルミ連動になり、トンネルなどの急激な明るさの変化にも対応できます。※ すべての車両でイルミ信号を受信することはできません。あらかじめご了承ください。



※ 図は説明のためのイメージです。実際の画面の明るさとは異なります。

取締のミニ知識

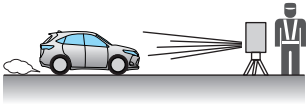
本書では取締方法について、以下を想定して説明しています。

1. スピード違反の取締方法

取締の方法や種類をよく理解して、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。スピード違反の取締は大きく分けて４つの方法があります。

■ レーザー光を使って算出する方法（レーザー方式）

レーザー光を対象の車両に向けて発射し、その反射光で速度を算出します。



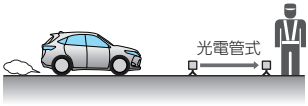
■ レーダー波を使って算出する方法（レーダー方式）

取締レーダー波を対象の車両に向けて発射し、その反射波の周波数変化（ドップラー効果）で速度を算出します。

※ 対象の車両が近くに来るまで、取締レーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。

■ 距離と時間で算出する方法（光電管・ループコイル式オービス）

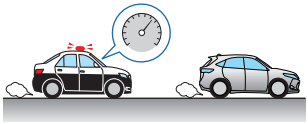
一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。



※ この方式は、取締レーダー波を発射しておりません。GPSターゲットとして登録されている場合のみ、警報することができます。

■ 追走して測定する方法（追尾方式）

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車両を追走して速度を測ります。



※ 追尾方式等で取締レーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知することができません。

2. 取締レーダー波について

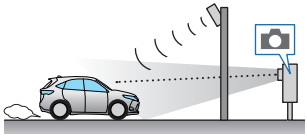
取締の方法や種類をよく理解して、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。取締レーダー波は大きく分けて３つの種類があります。

■ 定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。取締レーダー波は、直進性が強いため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。

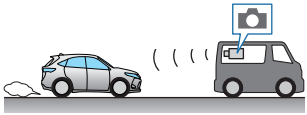
■ 自動速度取締機（新Ｈシステム、レーダー式オービス）

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



■ 移動式

測定装置を車両に搭載して、移動しながら測定を行います。

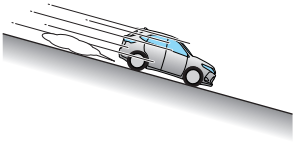


3. 取締レーダー波/レーザー光を受信しにくい場合

取締レーダー波/レーザー光の発射方法や周囲の環境、条件などにより受信しにくいことがあります。

※ 対象の車両が近くに来るまで、取締レーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締ができるステルス型のスピード測定装置があります。
※ 前方に走行している車両（とくに大型車）がある場合や、コーナー、坂道では、電波やレーザー光が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。

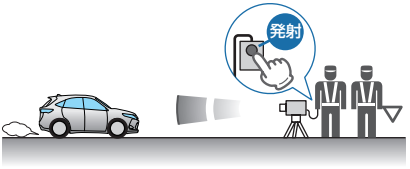
〔前方に走行中の車両がある場合〕


〔下り坂〕

〔コーナー〕

4. ステルス型取締について

他の取締機と同じ電波を使用していますが、事前に探知（受信）されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締機です。



※ ステルス型取締機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。また、取締には電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
※ 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
※ ステルス型取締機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

オービス・取締系＆コンテンツデータ更新について

パソコンによるダウンロード、microSDカードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスで本機のオービス・取締系＆コンテンツデータの更新を行っていただけます。

※ 本サービスは有料になります。詳しくは下記ホームページをご確認ください。

下記ホームページよりご利用の機種を選択のうえ、お申込み手続きを行ってください。

ity.クラブ/ POWERED BY Yupiteru https://ity.yupiteru.co.jp/

電話でのお問い合わせは下記のフリーコールにてお願いします。
◆ユピテルity.クラブ窓口
受付時間 9:00~17:00 月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

フリーコール 0120-958-955

※ 本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。

公開取締情報について

走行中の市区町村に沿った、各都道府県警察署発表の公開取締情報を、画面上に表示することができます。全国地図と連動させた独自の分かりやすい案内機能です。本機には公開取締情報のデータが入っていますが、最新のデータに無料で更新することができます。詳しくは、弊社ホームページをご覧ください。(https: //www.yupiteru.co.jp/)

※ 公開取締情報を表示している場合でも、レーダー警報や無線警報など優先度の高い警報が優先されます。
※ GPSの日時情報により、日付の過ぎたものは表示されません。また、公開取締情報が発表されていない地域では表示されません。
※ 公開取締情報でのお知らせ以外でも各都道府県にて取締を実施しております。
※ 本機の公開取締情報が最新ではない場合、正しくお知らせすることができないことがあります。本機の公開取締情報を[バージョン情報](☛ P.106)で確認し、最新の情報に更新してください。

■ 速度管理指針について

速度管理指針とは、交通事故発生状況等の交通実態や速度抑制の必要性などを基に各都道府県内における速度制限や交通取締の方針を示したものです。警察本部でまとめられた指針になります。

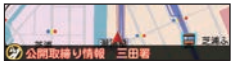
■ 速度取締り指針について

速度管理指針に示す方針のもと、各警察署管内の一般道路及び高速道路について、交通事故発生状況の分析や地域住民からの要望等を基に、速度取締を重点的に行う路線、時間帯等を明らかに示したものです。警察署単位でまとめられた指針になります。

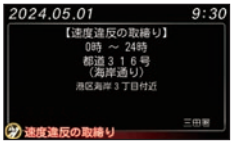
■ 取締情報の表示について

取締情報がある路線に侵入した場合、取締情報をテロップで表示します。また、画面左上をタッチでパネル表示にすることもできます。公開取締情報は赤背景、速度取締指針は青背景、その他の情報は背景色なしで表示します。

※ テロップ表示の場合、「情報種類と署轄名」⇒「道路名称」⇒「区間や大体の場所」⇒「規制速度」⇒「日時や時間」の順に表示します。
※ 取締エリアの場合は「取締ターゲット名」が表示されます。



<テロップ表示>



<パネル表示>

■ 取締路線の表示について

※ 取締路線を表示するためには、待受画面をマップにしてください。
※ 取締路線に侵入した場合、「取締路線です」と音声でお知らせします。

※1

公開取締情報の場合、取締路線を「赤点滅」で表示します。

速度取締指針の場合、取締路線を「青点滅」で表示します。

※1：地域によっては、[スーパーエクストラ]で取締路線走行中はアイコンが白字（SE）から赤字（SE）になります。

メンテナンスについて

■ 必要に応じてのメンテナンス

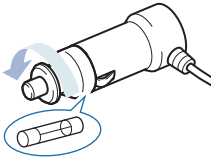
・付属のシガープラグコードのヒューズ交換

※ 交換用ヒューズ1A(30mm×6.5mm)

接続状態で車両始動(ACC ON)しても電源ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

① シガープラグコードが奥まで挿し込まれていることを確認してください。
② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズが切れていないかを確認してください。
③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

シガープラグの先端を、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、シガープラグコードの先端を図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



・別売品のヒューズ交換

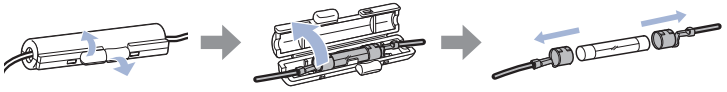
※ 電源直結コード(OP-11U):交換用ヒューズ1A(30mm×6.5mm)
※ OBDⅡアダプター:交換用ヒューズ2A(低背)

接続状態で車両始動(ACC ON)しても電源ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズが切れていないかを確認してください。
③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

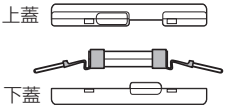
<OP-11U>

ヒューズホルダーを開け、ヒューズを取り出しコードからヒューズを取り外す。



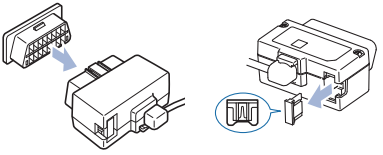
ヒューズを交換したあとは、逆の手順で元の位置へ配置しヒューズホルダーを締める。

※ ヒューズの金具は上蓋に接触しないように図の向きにしてください。
※ ヒューズの金具は必ず左右同じ方向に向けてください。



<OBDⅡアダプター>

OBDⅡアダプターを車両側コネクターから外し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、逆の手順で取り付ける。



取り付けについて

取り付けは「本体」「電源コード」「配線処理」の手順に従って説明します。

⚠ 注 意

- 取り付けにより、ダッシュボードに跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、車両への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボード取付け用ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。本体やダッシュボード取付け用ブラケット上部を持つと、破損の原因となります。
- GPS衛星から電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- レーザー光を受信しやすくするため、本体のレーザー受光部付近に障害物が入らないように取り付けてください。

本体の取り付け

下記の3通りの取り付け方法があります。いずれかの方法で取り付けてください。

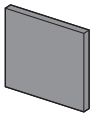
※ あらかじめ、ダッシュボードの取り付け面のホコリ・汚れをよく落とし、慎重に取り付けてください。

A. ダッシュボードに取り付ける ① (☛ P.22)

付属品

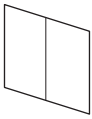
ダッシュボード
取付け用ブラケット

＋



粘着マット

＋



粘着シート
※ 必要に応じて(☛ P.23)

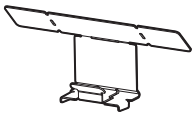
B. ダッシュボードに取り付ける ② (☛ P.23)

付属品

両面テープ

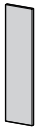
C. フロントガラスと天井のすき間に取り付ける (☛ P.24)

付属品



宙吊り取付けステー

＋



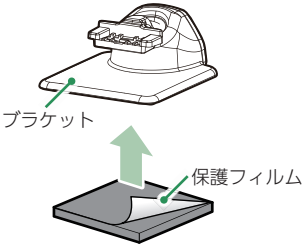
両面テープ

A. ダッシュボードに取り付ける ①

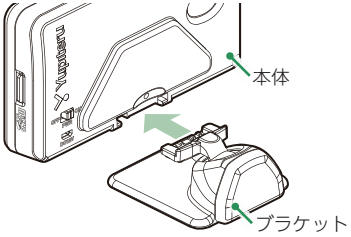
⚠ 注 意

振動によるブレ防止のためアーム部は固くなっています。取り付け/調整時は、けがやブラケットの破損に十分気をつけて行ってください。

A-1 保護フィルムを片面だけはがし、粘着マットをブラケットに貼り付ける

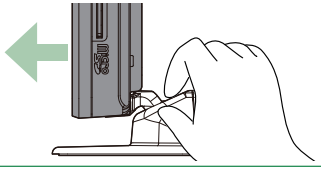


A-2 本体の溝をブラケットに合わせ取り付ける

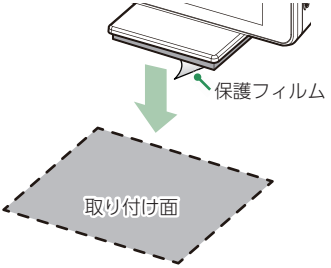


※『カチッ』と音がするまで押し込み、軽く引っ張り本体が外れないことを確認してください。

本体を取り外す場合は、ブラケットを押さえて手前に引いてください。



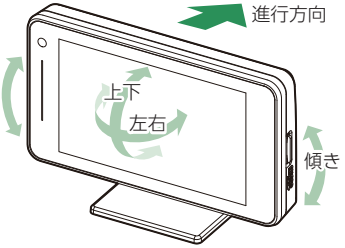
A-3 残りの保護フィルムをはがし、ダッシュボードの取り付け面に貼り付ける

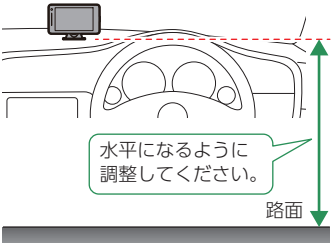


粘着マットは水洗いできます

ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。

A-4 本体の向きを調整する

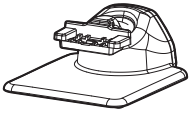




本体の背面を進行方向に向けて水平な路面と並行になるように取り付けてください。

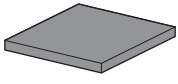
※ 本体の背面を進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。

ダッシュボード取付け用ブラケット[特許　第5196331号]
[特許　第5366231号]
[特許　第6078725号]



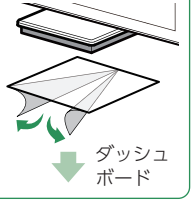
自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットです。

粘着マット



国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。

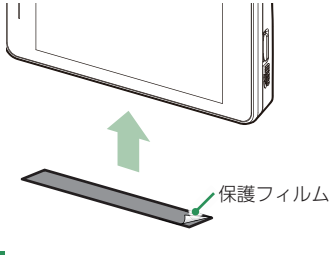
粘着シート[特許　第5958927号]



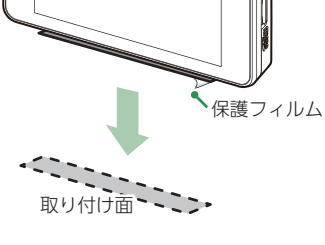
粘着マットで安定した取り付けができない場合は、付属の粘着シートを使用します。ダッシュボードに粘着シートを貼り付けた上に粘着マットを貼り付けます。粘着シートは、はがして再度貼り付けることができます。それでも安定した取り付けができない場合は市販品の強力型両面テープ(厚さ2mm以上)を使用し取り付けてください。

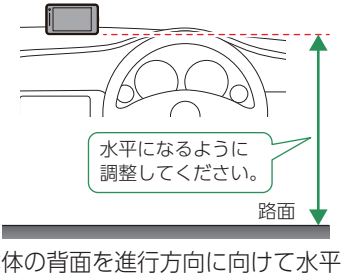
B. ダッシュボードに取り付ける ②

B-1 両面テープの保護フィルムを片側だけはがし、本体の底面に貼り付ける



B-2 残りの保護フィルムをはがし、ダッシュボードの取り付け面に貼り付ける





本体の背面を進行方向に向けて水平な路面と並行になるように取り付けてください。

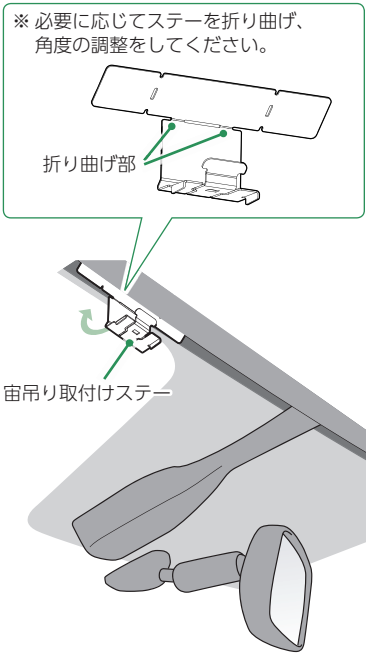
※ 取り付けたあと、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。
※ 本体の背面を進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。

C. フロントガラスと天井のすき間に取り付ける

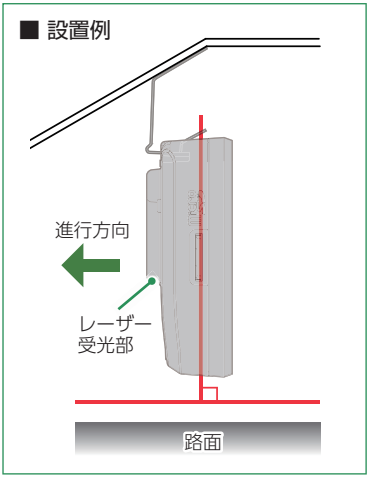
⚠ 注 意

- ステーを折り曲げるときは、いったん本体から外して調整してください。そのまま折り曲げると、本機の故障の原因となります。
- 突起部分などでケガをなさらぬよう、細心の注意をはらってゆっくりと折り曲げてください。
- 折れてしまうことがあるので、ステーは繰り返し折り曲げないでください。
- 記載以外の取り付け方法は、保安基準に適合しない場合があります。フロントガラスと天井のすき間に取り付ける場合は、記載の取り付けを確実に行ってください。
- 運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。
- フロントガラス上部の色が付いた部分や、ドット部がある箇所は透過率が低下し受信に影響が出る可能性があるため取り付けは避けてください。

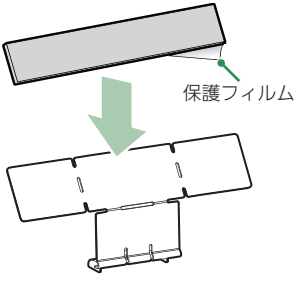
C-1 取り付け場所を確認する



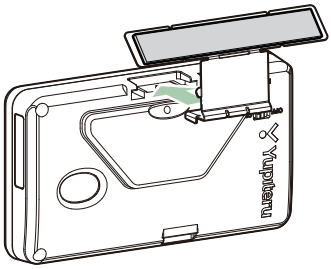
本体が路面に対して垂直になるようにステーを折り曲げて、角度を調整してください。
ステーはフロントガラスと天井のすき間に差し込んで取り付けてください。



C-2 両面テープの保護フィルムを片側だけはがし、ステーに貼り付ける

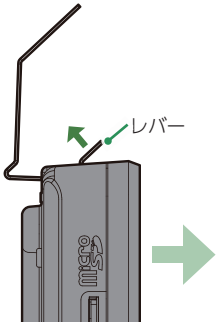


C-3 本体の溝をステーに合わせ取り付ける

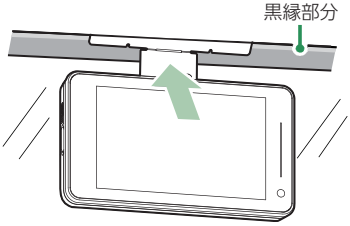


※『カチッ』と音がするまで押し込み、軽く引っ張り本体が外れないことを確認してください。

本体を取り外す場合は、ステーのレバーを軽く押し上げて手前に引いてください。



C-4 確認した位置へ貼り付ける



残りの保護フィルムをはがし、貼り付けてください。

※ 取り付けたあと、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。
※ 本体の背面を進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。

ガラス面(透明部分)には貼り付けないでください。保安基準に適合しなくなり処罰の対象となります。

設置後は本体が上下反転するため、画面反転の設定を[ON]にしてください。(☛ P.102)

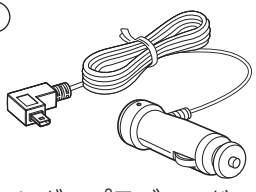
電源コードの配線

3種類の配線方法があります。いずれかの方法で配線してください。

※ 同時に複数の配線を行うことはできません。

A. シガープラグコードによる配線 (☛ P.27)

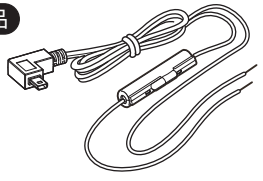
付属品



シガープラグコード

B. 電源直結コードによる配線 (☛ P.27)

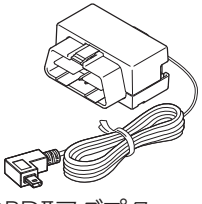
別売品



電源直結コード (OP-11U)

C. OBDⅡアダプターによる配線 (☛ P.28)

別売品



OBDⅡアダプター

⚠ 注 意

- OBDⅡアダプター使用時、車種によっては画面に表示できない情報があります。詳細については、販売店の店頭や弊社ホームページでOBDⅡアダプター適応表をご確認ください。
- OBDⅡアダプターには、適応表が指定されています。販売店の店頭や弊社ホームページでOBDⅡアダプター適応表をご確認いただいてからお求めください。

■ ご注意ください

特定の配線経路はありませんが、運転中の視界や操作の邪魔になったり、ドアやペダルなどの可動部に本機やコードが挟み込まれたり、当たったりしないようにしてください。

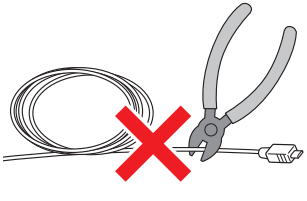
シフトレバー操作の邪魔

ハンドル操作の邪魔

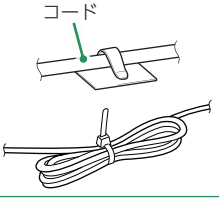
ペダル操作の邪魔

コードの挟み込み

- コードが長くても、切って短くしないでください。



市販品のコード固定クリップでコードをダッシュボードに固定したり、結束バンドでコードを束ねることができます。

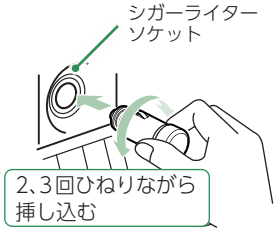


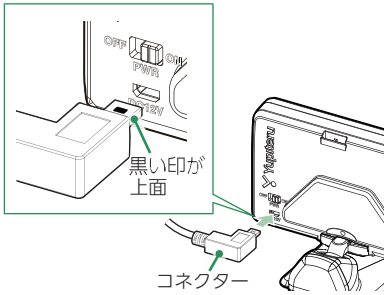
A. シガープラグコードによる配線

⚠ 注 意

一部の車種において、シガーライターソケットの形状が合わないことがあります。その場合は、別売品の電源直結コード(OP-11U)、またはOBDⅡアダプターをご使用ください。(☛ P.12)

A-1 シガープラグコードを接続する





付属のシガープラグコードを本体のDCジャックと車両のシガーライターソケットに接続します。

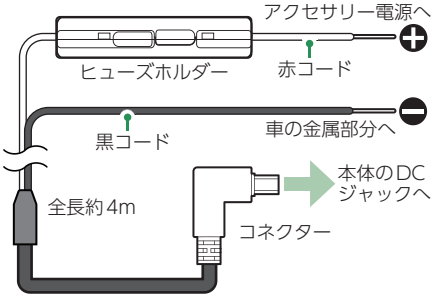
※ シガープラグコードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

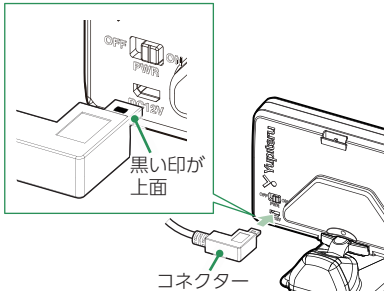
B. 電源直結コード(OP-11U)による配線 別売品

⚠ 警 告

・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

B-1 電源直結コードを接続する





⊕ コードは、必ず<u>車両の始動/停止(ACC ON/OFF)に連動する電源</u>に接続してください。

別売品の電源直結コードを本体のDCジャックと車両に接続します。

※ 電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

C. OBDⅡアダプターによる配線 別売品

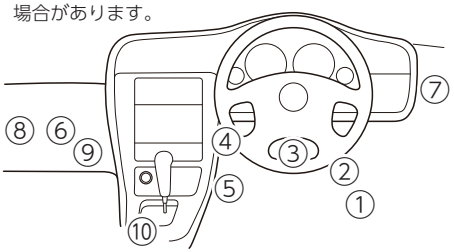
OBDⅡアダプターのディップスイッチの設定が必要です。ディップスイッチの設定方法は、OBDⅡアダプターの取扱説明書をご確認ください。また、OBD対応車種については、店頭もしくは弊社ホームページより最新のOBD適応表を必ずご確認ください。

⚠ 警 告

故障の原因となりますので、必ず車両が停止(ACC OFF)していることを確認してから、配線を行ってください。

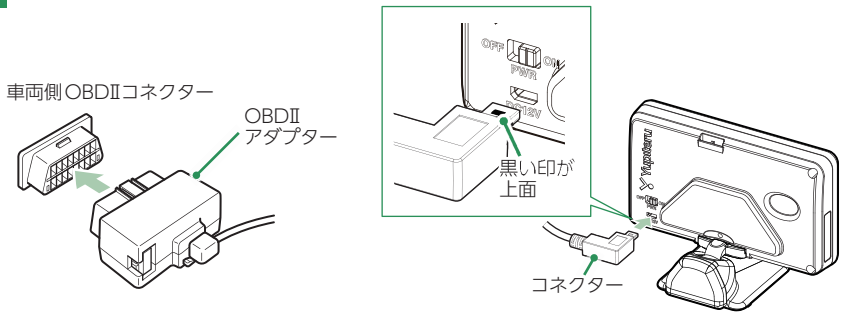
■ OBDⅡアダプター設置個所

※ カバーやコンソールなどの内側になっている場合があります。



① アクセルペダル脇
② 運転席足元右側
③ 運転席足元中央
④ 運転席足元左側
⑤ センターコンソール右側
⑥ 助手席足元右側
⑦ ステアリング右脇パネル裏側
⑧ 助手席足元左側
⑨ センターコンソール左側
⑩ センターコンソール下

C-1 OBDⅡアダプターを接続する



別売品のOBDⅡアダプターを本体のDCジャックと車両のOBDⅡコネクターに接続してください。

※ OBDⅡアダプターのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

配線処理について

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。

正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- 運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 不安定な場所。
- 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- 車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

安全運転支援機器

別売品

顔の向き、まぶたの開閉を検出してお知らせするなど安全運転をサポートします。必要に応じて別途ご購入ください。

1. わき見・居眠り運転警報器(OP-EWS2)

本機能は、顔の向きやまぶたの開閉を検出して各種危険を警告します。アダプターには、電源直結コードかOBDⅡアダプターのいずれかを使用します。
わき見・居眠り運転警報器が検知すると、本機で警告を行います。

※ 本機と接続時は本機のみで警告します。わき見・居眠り運転警報器(OP-EWS2)では警告しません。
※ 設定メニュー内(☛ P.96)では、警告を行いません。あらかじめご了承ください。

■ わき見警告

時速10km/h以上で運転中に約3秒以上わき見をしている場合に、警告します。

※ GPS非測位時は、速度に関係なく警告します。
※ 別売品のOBDⅡアダプターで接続している場合、GPS非測位時でも速度情報を得ることができるので、時速10km/h以上で警告します。

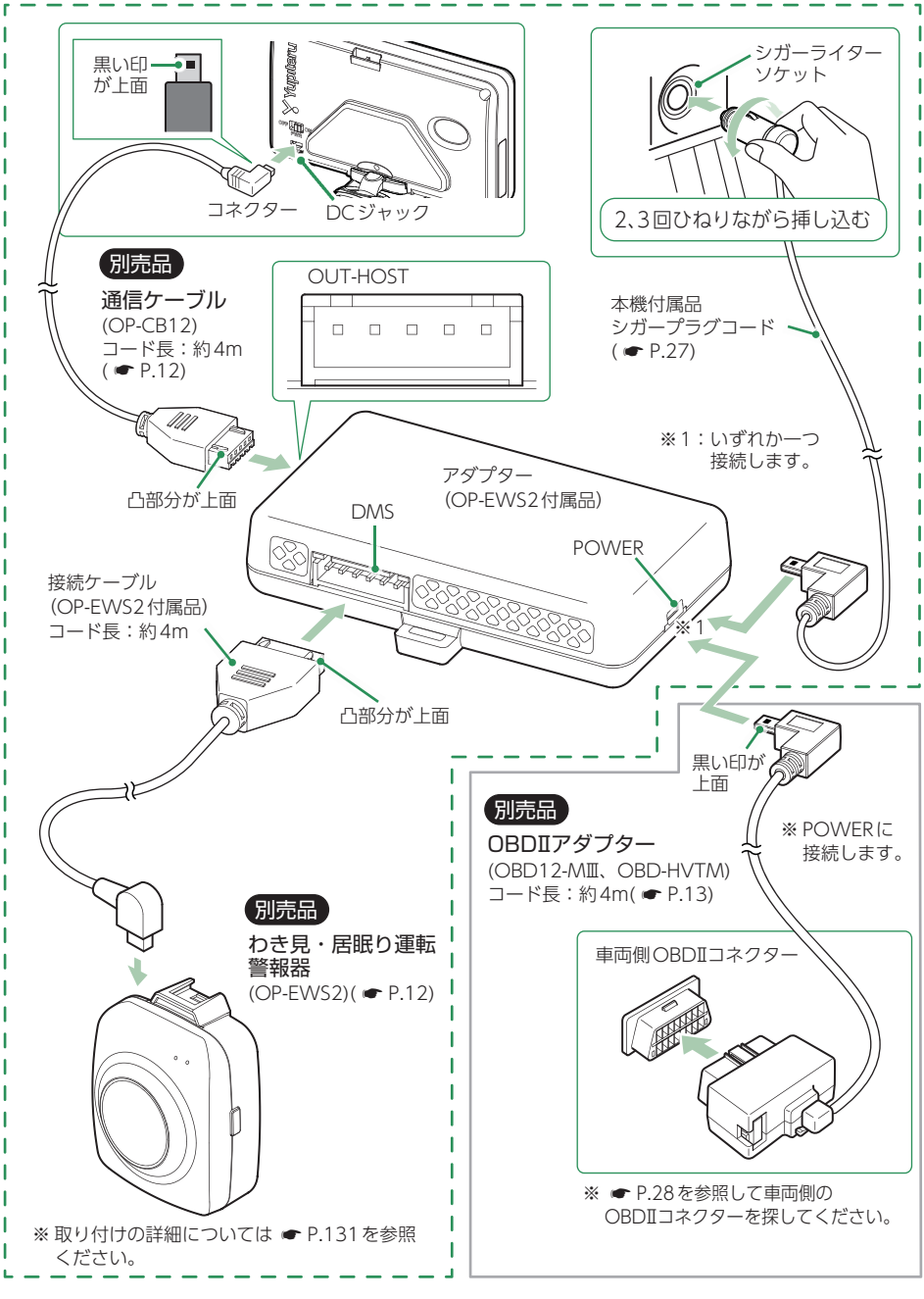
■ 居眠り警告(1回目)

時速10km/h以上で運転中にまぶたを閉じている(両目を約1秒以上閉じている状態)場合に、警告します。

本機のブザー音	
わき見警告	ピピ 「注意してください」
居眠り警告(1回目)	ピピピピピ 「注意してください」
居眠り警告(2回目)	「危険です」
居眠り警告(3回目)	「危険・危険」
居眠り警告(4回目)	ピピピピピ、 ピピピピピ…

■ 居眠り警告(2回目以降)

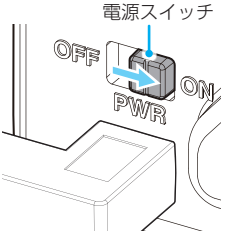
1回目の居眠り警告後も両目を閉じている場合に、警告します。

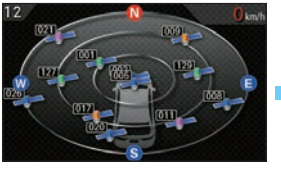

必ず接続してください。
必要に応じて接続してください。
黒い印が上面
コネクター
DCジャック
シガーライターソケット
2、3回ひねりながら挿し込む
別売品
通信ケーブル
(OP-CB12)
コード長：約4m
(☛ P.12)
OUT-HOST
本機付属品
シガープラグコード
(☛ P.27)
※1：いずれか一つ接続します。
凸部分が上面
アダプター
(OP-EWS2付属品)
DMS
POWER
※1
接続ケーブル
(OP-EWS2付属品)
コード長：約4m
凸部分が上面
黒い印が上面
別売品
OBDⅡアダプター
(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)
コード長：約4m(☛ P.13)
※POWERに接続します。
別売品
わき見・居眠り運転警報器
(OP-EWS2)(☛ P.12)
車両側OBDⅡコネクター
※ ☛ P.28を参照して車両側のOBDⅡコネクターを探してください。
※取り付けの詳細については ☛ P.131を参照ください。

電源ON/OFFについて

1. 電源ONする

1-1 本体の電源スイッチをONにし、車両を始動(ACC ON)する





衛星情報
<GPS非測位時>

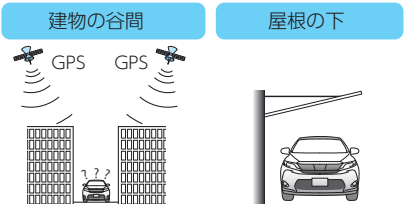
<GPS測位時>

車両始動(ACC ON)に連動して電源ONになります。
必ず『測位しました』のボイスを確認してから走行してください。

※ 本体の電源スイッチがOFFの場合、車両始動(ACC ON)に連動して電源ONしません。
※ GPSの測位状況や無線の受信によっては待受画面が表示されず、いきなり警報画面が表示される場合があります。
※ GPSが非測位時は測位するまで衛星情報を表示します。
※ 初めてOBDⅡアダプターを車両に取り付けた場合、本体の起動に数分かかることがあります。
※ 起動時の音（起動音)、画面（オープニング)、測位時の音声(測位アナウンス)は変更できます。(☛ P.47、104)

■ 次のような場合、電源ONしてから『測位しました』と音声が流れるまでに、時間がかかる、もしくは測位できない場合があります。

その場合は、障害物や遮へい物のない視界のよい場所へ移動し、車両を停車してください。



2. 電源OFFする

2-1 車両を停止(ACC OFF)する

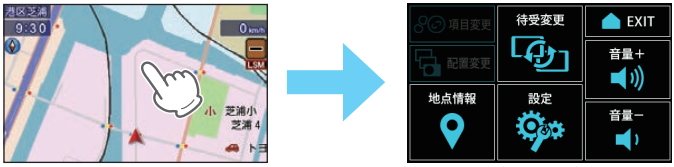
車両停止(ACC OFF)に連動して電源OFFになります。

※ 車種によっては車両停止(ACC OFF)しても、電源OFFにならない場合があります。その場合は、本体の電源スイッチを操作して電源OFFしてください。
※ OBDⅡアダプターで配線を行った場合、車両停止(ACC OFF)したあと、電源OFFになるまで車種によって数秒から数十秒かかります。また、OBDⅡアダプターで接続した場合は、本体の電源スイッチで電源OFFしないでください。

操作方法

1. ジャンプウィンドウ

待受画面にタッチすることでジャンプウィンドウが表示されます。各操作はこの画面から行います。



＜ジャンプウィンドウ＞

※ 無操作時、数秒で待受画面に戻ります。

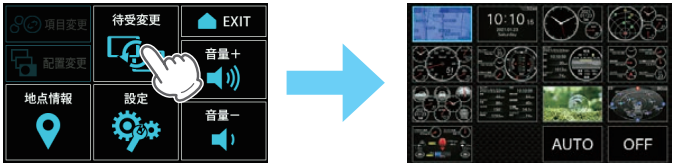
2. 音量の調整

ジャンプウィンドウの[音量＋]、[音量－]にタッチで音量を調整できます。『ピッ』という確認音で音量を確認してください。

※ 音量は0(－)~7の8段階で調整できます。初期値は「5」です。
※ 0(－)にした場合、音声による警報は行いません。
※ 音量7(最大)からさらに[音量＋]にタッチすると『ブブッ』と鳴ります。

3. 待受変更

待受変更にタッチすることでいつでも待受画面を変更できます。(☛ P.51)



＜待受変更画面＞

4. 警報音のミュートについて

レーダー / レーザー警報中に待受画面にタッチすることで、受信中の信号を受信しなくなるまで警報音を一時的に消す(ミュートする)ことができます。ミュートを解除する場合は、再度待受画面にタッチしてください。

※ ミュートされます。再度タッチするとミュート解除されます。
※ タッチするたびにジャンプウィンドウを表示しますが、数秒で待受画面に戻ります。

SDカードの取り外し/装着のしかた

付属のmicroSDカードには本機を起動するためのデータが保存されています。パソコンなどでフォーマットしないようにしてください。

※ 本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

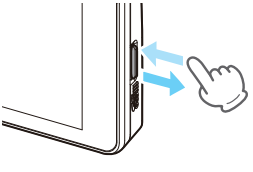
⚠ 注 意

- 誤ってデータを削除した場合は、有償での対応となります。お買い上げの販売店、またはity.クラブ窓口(0120-958-955)にご相談ください。
- SDカードの出し入れは、必ず電源OFFの状態で行ってください。
- SDカードは一方方向にしか入りません。下図の向きで挿入してください。無理に押し込むと、本体やSDカードが壊れることがあります。
- 本体に付属のSDカードが装着されていないと、本機は起動しません。必ず付属品を装着してお使いください。
- SDカードをパソコン等でフォーマットしないでください。
- SDカードは本機専用でお使いください。他の機器には使用しないでください。

1. SDカードを本体から取り外す

1-1 車両を停止(ACC OFF)、または本体背面の電源スイッチをOFFする

1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く

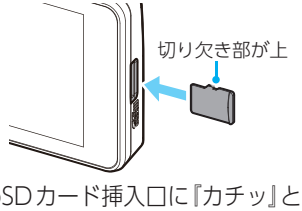


※ SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※ 取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SDカードを本体へ装着する

2-1 車両を停止(ACC OFF)、または本体背面の電源スイッチをOFFする

2-2 SDカードを挿入する



microSDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

地点情報について

任意の場所を登録や投稿、オービス通過履歴を確認することができます。

1. 登録画面を表示する

1-1 待受画面にタッチする

1-2 [地点情報]にタッチする

登録画面を表示します。

＜登録画面＞

※ 無操作時、約10秒で待受画面に戻ります。

項　目		説　明
M（黄）	マイエリア登録/解除	• 移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。 • 手前約1kmに近づくと登録画面のボタンが「マイエリア解除」に変わり、対象のマイエリアを解除（削除）できます。エリア内に複数のマイエリアが登録されている場合は、そのエリア内のマイエリアは全て解除されます。 ※ 登録数は、マイエリア/マイキャンセルエリア/iキャンセルの合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。
CAN（黄）	マイキャンセルエリア登録/解除	• 自動ドアなど、取締機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点やGPSターゲットを警告させたくない地点を登録することができ、通過時にレーダー波の受信警報/GPSターゲットをキャンセルします。 • 手前約200mに近づくと登録画面のボタンが「キャンセルエリア解除」に変わり、対象のマイキャンセルエリアを解除（削除）できます。エリア内に複数のマイキャンセルエリアが登録されている場合は、そのエリア内のマイキャンセルエリアは全て解除されます。 ※ 登録数は、マイエリア/マイキャンセルエリア/iキャンセルの合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。 ※ マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報/GPSターゲットをキャンセルするもので、レーザー光/無線14バンド識別/ベストパートナー6識別の警報はキャンセルできません。
―	ピン投稿	ピン登録で登録した投稿ピンを確認/投稿/削除することができます。 ※ [確認]⇒[登録投稿]にタッチしてターゲットの種類などを選択していきQRコードから投稿してください。
📌	ピン登録	「ここで取締をやっている」、「ここに新しいオービスが設置された」などのポイントを投稿ピンとして登録することができます。 ※ 登録数は、最大4箇所ピンを登録できます。
―	通過履歴	過去に通過したオービスの詳細情報を確認できます。

※ マイエリア/マイキャンセルエリア/投稿ピン/オービス通過履歴の一括削除は[システム]⇒[消去]（☛ P.106）を参照ください。
※ GPS非測位時、マイエリア/マイキャンセルエリア/ピン登録は行うことができません。
※ 方向未確定の場合、ピン登録を行うことはできません。GPSを測位してから一度は走行し方位を確定してください。

マイエリアについて

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、２回目以降通過時に警告させることができます。

※ 登録数は、マイエリア/マイキャンセルエリア/iキャンセルの合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

A：登録する

A-1 登録したい地点で登録画面を表示する（☛ P.35）

A-2 約10秒以内に［マイエリア登録］にタッチする

「マイエリアをセットしました」とお知らせし、登録します。

※ GPS非測位時、マイエリアは登録できません。

B：解除する

B-1 登録した地点で登録画面を表示する（☛ P.35）

B-2 約10秒以内に［マイエリア解除］にタッチする

「マイエリアを解除しました」とお知らせし解除します。

- 登録後は地図上にアイコンを表示します。
- マイエリアに近づくと手前約1km/500mと通過時の３段階で警告します。

〈手前約1km（500m）のとき…〉

『右（左）方向 1km（500m）先 マイエリアです』とお知らせします。

※ GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知（『1km先』、『500m先』）を『この先』や『300m先／200m先／ 100m先／すぐ先』とお知らせすることがあります。

- マイエリア手前約1kmに近づくと登録画面のボタンが「マイエリア解除」に変わり、対象のマイエリアを解除（削除）できます。エリア内に複数のマイエリアが登録されている場合は、そのエリア内のマイエリアは全て解除されます。
- 全てのマイエリアを消去する場合は、［消去］⇒［マイエリア］（☛ P.106）を参照ください。

マイキャンセルエリアについて

自動ドアなど取締機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点やGPSターゲットを警告させたくない地点を登録することができます。

※ 登録数は、マイエリア/マイキャンセルエリア/iキャンセルの合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

※ マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報/GPSターゲットをキャンセルするもので、レーザー光/無線14バンド識別/ベストパートナー6識別の警報はキャンセルできません。またマップ上にアイコンが表示されないGPSターゲットはキャンセルできません。(☛ P.85)

A：登録する

A-1 登録したい地点で登録画面を表示する(☛ P.35)

A-2 約10秒以内に[キャンセルエリア登録]にタッチする

「マイキャンセルエリアにセットしました」とお知らせし登録します。

※ GPS非測位時、マイキャンセルエリアは登録できません。

B：解除する

B-1 登録した地点で登録画面を表示する(☛ P.35)

B-2 約10秒以内に[キャンセルエリア解除]にタッチする

「マイキャンセルエリアを解除しました」とお知らせし解除します。

- 登録後は地図上にアイコンを表示します。
- マイキャンセルエリア登録したポイントから半径約200mでレーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。マイキャンセルエリアに近づくと登録時に警告していたGPSターゲットをキャンセルします。

※ レーダーキャンセルサウンド(☛ P.103)の設定がONの場合は、『キャンセル中です』とお知らせします。

- マイキャンセルエリア手前約200mに近づくと登録画面のキャンセルエリア解除ボタンが有効になり、対象のマイキャンセルエリアを解除(削除)できます。エリア内に複数のマイキャンセルエリアが登録されている場合は、そのエリア内のマイキャンセルエリアは全て解除されます。
- 全てのマイキャンセルエリアを消去する場合は、[消去]⇒[キャンセルエリア](☛ P.106)を参照ください。

ピン登録について

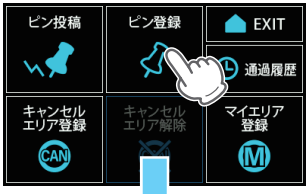
「ここで取締をやっている」、「ここに新しいオービスが設置された」などのポイントを投稿ピンとして登録することができます。

※ 登録数は、最大4箇所ピンを登録できます。

A：登録する

A-1 登録したい地点で登録画面を表示する（☛ P.35）

A-2 約10秒以内に［ピン登録］にタッチする



ピンを登録します。

※ すでに4箇所のピンが登録されている場合は「ピンが一杯です」と画面表示されて登録ができません。

※ GPS非測位時、投稿ピンは登録できません。

※ 方向未確定の場合、ピン登録を行うことはできません。GPSを測位してから一度は走行し方位を確定してください。

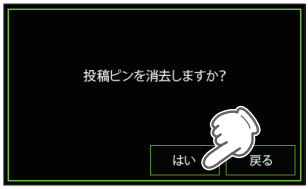
B：削除する

B-1 登録画面を表示する（☛ P.35）

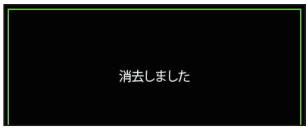
B-2 約10秒以内に［ピン投稿］にタッチする

B-3 ［ピン１消去］にタッチする

B-4 ［はい］にタッチする



ピンを削除します。



全てのピン登録を消去する場合は、［消去］⇒［投稿ピン］（☛ P.106）を参照ください。

ピン投稿について

ピン登録で登録した投稿ピンを確認/投稿/削除することができます。
※ 投稿されたデータはリアルタイム配信データとして集計されます。

1. ピンを投稿する

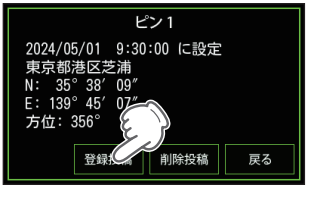
例：ピン1をオービスで投稿する

1-1 登録画面を表示する
（☛ P.35）

1-2 約10秒以内に[ピン投稿]にタッチする

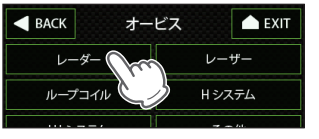
1-3 [ピン1確認]にタッチする

1-4 [登録投稿]にタッチする



1-5 [オービス]にタッチする

1-6 オービスの種類にタッチする



1-7 対象方向にタッチする

1-8 表示にタッチする

1-9 QRコードを読み取り投稿する

※ 失敗した場合は、再度QRコードを読み取り投稿してください。

■ ターゲット種類

投稿するターゲットの種類を選び、項目にタッチします。

オービス	道路脇や道路上にカメラが固定・設置されている自動速度違反取締装置。
Nシステム	道路上に設置されている「自動車ナンバー自動読取装置」を指します。
取締	人が道路脇などに測定装置を設置して行う取締や、車両に測定装置を積載しての取締、車両による追走、現場で人による一時停止違反や交差点での信号無視などの取締。
検問	すべての通行車両を停止させての検問や、特定の車両を停止させる検問など。

●オービス

オービスの種類を選択します。

レーダー	車両に向けてレーダー波を発射し、その反射波の周波数変化で速度を算出します。本機ではレーダー波を受信すると、「レーダー」と表示されます。
レーザー	車両に向けてレーザー光を発射し、その反射光で速度を検出します。本機ではレーザー光を受信すると、「レーザー」と表示されます。
ループコイル	道路の中にループコイルが埋められていてその上を車両が通過する時間から速度を測定します。
Hシステム	車両に向けてレーダー波を発射し、その反射波の周波数変化で速度を算出します。レーダー波を発信する四角いアンテナが車線上に設置されています。
LHシステム	道路の中にループコイルが埋められていてその上を車両が通過する時間から速度を測定します。 測定装置付近にパトランプが設置されています。
その他	上記に当てはまらない、またはよく分からない場合。

●対象方向の選択（複数可）

投稿するターゲットがどの方向に設置されていたかを選択します。

進行方向	自車の進行方向に向かって設置されています。
反対車線	自車の進行方向と反対方向（反対車線）に設置されています。
右方向	自車に対して右方向の道路に設置されています。
左方向	自車に対して左方向の道路に設置されています。

●取締

取締の種類を選択します。

速度取締	歩道や道路脇などに測定装置を設置し、走行する車両に向けてレーダー波を発射し速度を測定する取締。道路脇にパトカーを停車し、測定する場合もあります。
移動オービス	ワンボックス車などの車両に設置された測定装置により写真を撮影する取締。
追尾式取締	車両により、走行中の自車を追尾しての取締。
一時停止取締	一時停止違反の取締。
交差点取締	信号無視などの取締。
その他取締	上記に当てはまらない場合。

●速度取締、移動オービス

レーダー	レーダー波を用いた取締。
ステルス	計測する瞬間だけ電波を発射する取締。
レーザー	レーザー光を用いた取締。
光電管	道路の一定間隔に測定装置を設置し、通過時間により速度を算出する取締。
その他	上記以外の手法による取締。

●追尾式取締

追尾が行われた手法を「パトカー」「覆面(パトカー)」「白バイ」「その他」から選択します。

●取締日時

取締が行われていた時期を選択します。「現在実施中」「1週間以内」「1か月以内」から選択します。

●検問

検問の種類を選択します。

シートベルト	シートベルト検問。
飲酒	飲酒運転検問。
携帯電話	携帯電話検問。
その他	上記以外の検問。

■ 投稿データのアイコンについて

取締・検問レベルによって、アイコンの色が決まっています。

・レベル4・5金色アイコン

・レベル1~3銀色アイコン

種　類(取締)	
	速度取締
	移動オービス
	一時停止
	交差点
	追尾
	その他

種　類(検問)	
	シートベルト
	飲酒
	携帯
	その他

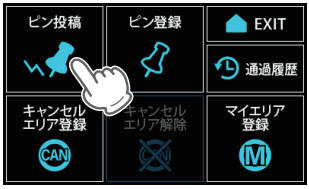
2. ピンを削除投稿する

削除投稿は、以前取締機があったが撤去された場合などに使用します。

例：ピン１を削除投稿する

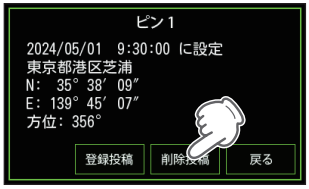
2-1 登録画面を表示する
（☛ P.35）

2-2 約10秒以内に［ピン投稿］にタッチする



2-3 ［ピン１確認］にタッチする

2-4 ［削除投稿］にタッチする



2-5 QRコードを読み取り削除投稿する

※ 失敗した場合は、再度QRコードを読み取り削除投稿してください。

通過履歴について

過去に通過したオービスの詳細情報を確認できます。

※ オービス通過履歴は設定でON(記録する)/OFF(記録しない)できます。(☛ P.97「オービス通過履歴」)
※ GPS非測位時(トンネル内など)では通過速度を記録できないため空欄になります。(OBDⅡアダプター接続時は除く)
※ 最大16件記録します。16件を超えた場合は古い通過履歴から削除し、新しい履歴を記録します。

1. オービス通過履歴を表示する

1-1 登録画面を表示する (☛ P.35)

1-2 [通過履歴]にタッチする

※ オービス通過履歴がない場合、[通過履歴]ボタンは無効になります。

1-3 確認したい履歴にタッチする

オービス通過履歴を表示します。

※ 場所、通過日時、通過速度(進行方向)、オービスの種別、制限速度、カメラ位置、道路種類を表示します。
※ QRコードを読み込むと、オービス周辺の地図が表示されます。
※ 制限速度を超えていた場合、通過速度が赤字になります。

全てのオービス通過履歴を消去する場合は、[消去]⇒[オービス通過履歴](☛ P.106)を参照ください。

ログ機能について

ログ機能をONにすると、走行データ(約18時間分)を本機に記録します。記録したデータは、付属(本体に装着済み)のSDカードにコピーし、パソコンで走行軌跡を確認することができます。

※ 下記以外のパソコン環境や地図ソフト、市販品のデータロガーでの動作確認は行っておりません。
※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形とずれることがあります。
※ 測位状況および走行の状況によりログ記録時間は異なります。
※ 非測位時、時速10km/h未満の場合は記録されません。
※ ログの残量表示は[システム]⇒[ログ]⇒[ログ機能]にパーセント表示されます。
※ 記録容量が100%になった場合は、自動的にログ機能をOFFにし、100%の表示を残します。
※ 記録容量が100%になっている場合は、ログ機能をONにすることはできません。
※ ログ機能ON中は常に走行データを記録します。日時別の保存や管理は行っておりません。
※ 記録容量が100%になりログ機能がOFFになっても消去を行うまで100%の表示は残ります。走行記録を消去する場合は、[消去]⇒[ログデータ](☛ P.106)を行ってください。

下記の条件を満たしたインターネットに接続が可能なパソコン

OS : Microsoft Windows 11、10、8、7

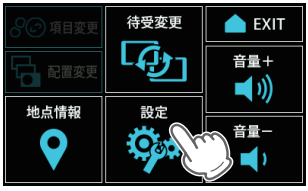
ご用意いただくもの

- カードリーダー(使用中のSDカードに対応のもの)
- GoogleよりGoogle Earthをダウンロードしてください。
- 弊社ホームページ(https://www.yupiteru.co.jp)をご覧の上、オリジナルログデータ変換ソフト(YP_LogDataConverter_setup.exe)をダウンロードしてください。

1. 走行データを記録する

1-1 待受画面にタッチする

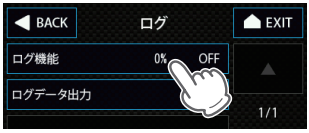
1-2 [設定]にタッチする



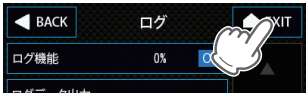
1-3 [システム]にタッチする

1-4 [ログ]にタッチする

1-5 [ログ機能]にタッチしONにする



1-6 [EXIT]にタッチし走行して走行データを記録する



※ 記録容量が100%になった場合は、自動的にログ機能が[OFF]になります。

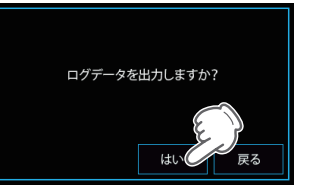
2. 走行データをコピーする

※ ログデータを出力しても、ログデータは消去されません。消去する場合は、[消去]⇒[ログデータ](☛ P.106)を行ってください。

2-1 ☛ P.45手順「1-1 ～ 1-4」を行う

2-2 [ログデータ出力]にタッチする

2-3 [はい]にタッチする

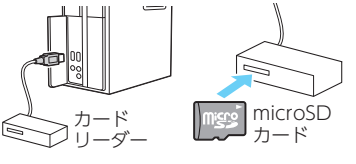


付属のSDカード(本体に装着済み)に走行データ(※.log)がコピーされます。

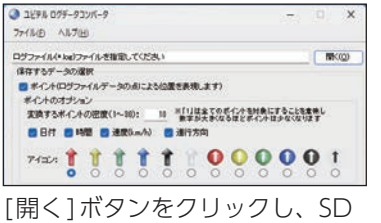
※ ファイル名は出力した日付になります。24050100.log⇒2024年5月1日の00番のデータ。

3. 走行軌跡を確認する

3-1 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



3-2 ユピテルログデータコンバータを起動する



[開く]ボタンをクリックし、SDカードの走行データ(※.log)を選択してください。

3-3 保存する

[変換]ボタンをクリックし、お好みのファイル名と保存先を指定して保存してください。

※ アイコンなどの詳細な設定は弊社ホームページ(https://www.yupiteru.co.jp)をご覧ください。

3-4 保存したファイルを開く

Google Earthの画面上に走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形と必ずしも一致しません。ズレて表示されることがありますのでご了承ください。

※ 走行軌跡確認後は、SDカードを本体に装着してご使用ください。

※ 必要に応じて、SDカード内にコピーした走行データ(※.log)を削除する場合は、他のデータを削除しないようにご注意ください。

カスタムについて

本機能は、警報音やフォトフレームをお好みの音声や画像に変更することができます。

※ あらかじめ本体に装着されているSDカードの所定のフォルダに、パソコンなどで音声・画像データを保存しておいてください。
※ 本体に装着されていたSDカードには本機の機能に必要なデータが入っています。ファイルの保存時などに、誤ってSDカード内のデータを消去しないようにご注意ください。
※ 対応形式のデータであっても、エンコードソフトの設定や記録状態によっては本機の動作が不安定になる場合があります。あらかじめご了承ください。

1. お好みの音源でお知らせする

SDカードの「user」⇒「sound」フォルダにmp3ファイルを保存してください。

※ 再生できないファイルの場合は、ファイルが存在していても通常音がなります。その場合は違うファイルでお試しください。
※ 保存するファイルは下記のファイル名、拡張子のルールに従ってください。下記以外のファイル名、拡張子では対応しません。ファイル名、拡張子はすべて半角文字にしてください。全角文字では再生できません。
例(起動音)：1.mp3(「1」がファイル名、「.mp3」が拡張子になります)
※ ステレオのファイルでもモノラルで再生されます。
※ 起動音で設定した音声ファイルは、起動時に最後まで再生した後、通常のレーダー探知機の音声が始まります。

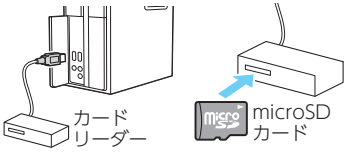
音声データ対応形式

・拡張子：MP3(.mp3)

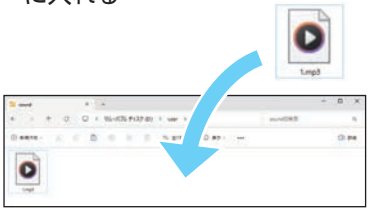
保存名の記載

・起動音：1.mp3(再生時間上限なし)
・オービスジングル：2.mp3(再生時間上限15秒)
・GPS警報ジングル：3.mp3(再生時間上限15秒)
・GPS告知ジングル：4.mp3(再生時間上限15秒)
・無線警報ジングル：5.mp3(再生時間上限15秒)
・測位アナウンス：6.mp3(再生時間上限15秒)
・レーダーメロディ1：7.mp3(再生時間上限なし)
・レーザーメロディ：8.mp3(再生時間上限なし)

1-1 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



1-2 音声データを「sound」フォルダに入れる



音声データをSDカードの「user」⇒「sound」フォルダに入れます。

保存した音源への変更は、[音声]⇒[サウンドカスタム]にタッチし、変更する音声を選択して「カスタム」を選択してください。

※ タッチするたびに、音源を再生します。
※ [カスタム]に該当ファイルがない場合は、[サウンド1]が再生されます。

2. お好みの画像を表示する

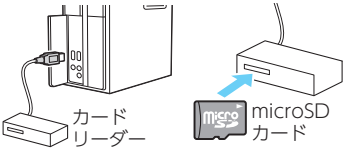
SDカードの「user」⇒「photo」フォルダにJPEGファイルを保存してください。

※ 画面に100%で表示される画像サイズは400×240ピクセルです。再生される写真の順番はファイル名の順になります。写真の削除・追加を繰り返すと再生する順序が入れ替わる場合があります。

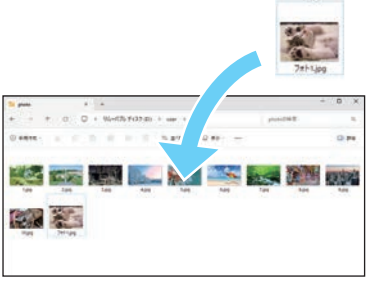
画像データ対応形式

- 拡張子：JPEG(.jpg)
- 最大画像サイズ：1920×1080ピクセル 程度
- 最大保存ファイル数：最大100ファイル(SDカード容量を超えない範囲)
- 最大ファイル容量：約3MB(1ファイル)

2-1 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



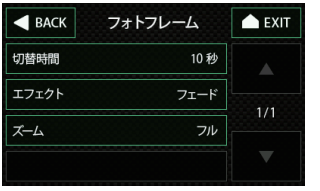
2-2 画像データを「photo」フォルダに入れる



画像データをSDカードの「user」⇒「photo」フォルダに入れます。

※ あらかじめ1.jpg~10.jpgの画像データが入っています。

フォトフレームの設定は、[マップ・待受]⇒[フォトフレーム]にタッチして行ってください。
切替時間/エフェクト/ズームの設定ができます。
(☛ P.100)

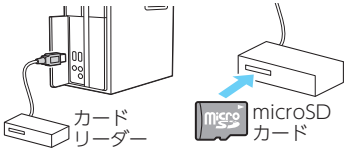


3. お好みの画像をオープニングで表示する

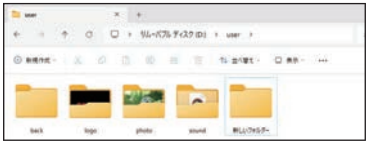
SDカードの「user」⇒「logo」フォルダにJPEGファイルを保存してください。
※ 画面に100%で表示される画像サイズは400×240ピクセルです。

画像データ対応形式
・拡張子：JPEG(.jpg)
・最大画像サイズ：1920×1080ピクセル 程度
・最大ファイル容量：約3MB(1ファイル)

3-1 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



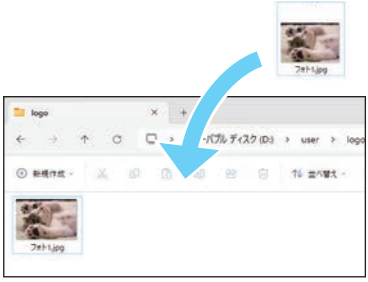
3-2 あらかじめ入っている「user」フォルダに新しいフォルダを作成する



3-3 「logo」フォルダのファイル[1.jpg]を新しいフォルダに移動する

あらかじめ入っている[1.jpg]ファイルを別の位置に保存します。
※ ファイルを削除すると復元できませんのでご注意ください。

3-4 「logo」フォルダにお好みの画像データを入れる



「logo」フォルダには表示させるファイルのみを入れてください。
※ ファイル名の指定はありません。
※ 複数ファイルを入れないようにしてください。

オープニングの設定は、[画面・LED]⇒[オープニング]にタッチし、静止画を選択してください。
(☛ P.102)

4. 待受画面に背景を表示する

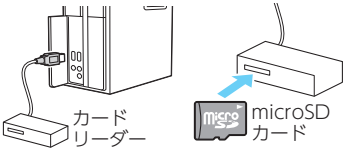
SDカードの「user」⇒「back」フォルダにJPEGファイルを保存してください。

※ 画面に100%で表示される画像サイズは400×240ピクセルです。
※ 待受画面が[マップ][フォトフレーム]の場合、背景は表示されません。

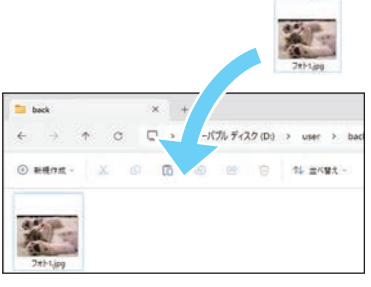
画像データ対応形式

・拡張子：JPEG(.jpg)
・最大画像サイズ：1920×1080ピクセル 程度
・最大ファイル容量：約3MB(1ファイル)

4-1 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



4-2 画像データを「back」フォルダに入れる



画像データをSDカードの「user」⇒「back」フォルダに入れます。

※ ファイル名の指定はありません。
※ 複数ファイルを入れないようにしてください。

待受背景の設定は、[マップ・待受]⇒[待受背景カスタム]⇒[待受背景カスタム]にタッチしてONにしてください。(☛ P.100)

例

<デジタル時計>

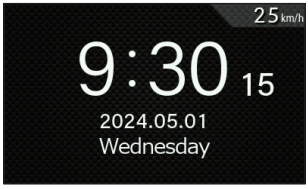
<プリセットE>

<プリセットH>

待受画面について

警報やお知らせがない時に、運転に役立ついろいろな情報を表示するのが待受画面です。待受画面は13種類と待受画面を順番に表示する[AUTO]、待受画面を表示しない[OFF]があります。

＜マップ＞



＜デジタル時計＞

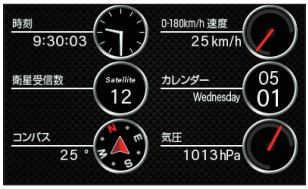
＜プリセットA※1＞

＜プリセットB※1＞

＜プリセットC※1＞

＜プリセットD※1＞

＜プリセットE※1＞

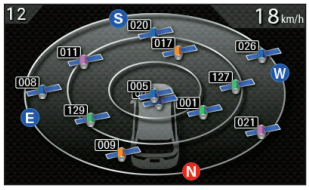


＜プリセットF※1＞

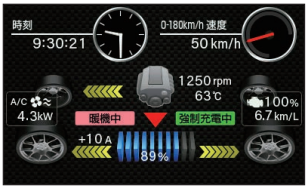
＜プリセットG※1＞

＜プリセットH※1＞

＜フォトフレーム＞



＜衛星情報＞



＜ハイブリッド※2※3＞

※1：表示項目/配置を変更して、お好みの情報を表示できます。
※2：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着した場合に表示します。
※3：ミニメーターの表示項目のみ変更できます。

1. 待受画面の変更方法

例：デジタル時計に変更する

1-1 待受画面にタッチする

1-2 [待受変更]にタッチする

1-3 [デジタル時計]にタッチする

デジタル時計を表示します。

待受画面の種類について

1. マップ

全国版の地図上を自車アイコンが移動します。

①コンパス
②時刻
③地名
④道路名
⑤速度※1
⑥レーダー受信感度アイコン(☛ P.92)
⑦可搬式オービス名称アイコン※2(☛ P.92)
⑧自車アイコン

※1：GPS非測位時は走行速度は表示しません。(OBDⅡアダプター接続時除く)
※2：Kバンド警報タイプ[自動切替]時に表示します。

■ メッセージウィンドウについて(☛ P.83)

警報時やお知らせ時に画面下に各種警報を表示し、必要な情報を確認できます。

警報(赤)　警告(黄)　告知(青)　情報(緑)

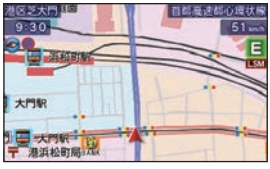
■ 駐車禁止・車上狙い多発アイコンについて

画面左上に駐車禁止エリアアイコン、車上狙い多発エリアアイコンを表示します。
駐車禁止エリア、車上狙い多発エリアではアイコンを表示し、エリア外では表示しません。

※ 警報モードによっては駐車禁止エリアアイコン/車上狙い多発エリアアイコンは表示されません。（☛ P.108）

■ マップ表示形式について

マップ表示を常に進行方向が上の状態の「ヘディングアップ」、または常に北が上の状態の「ノースアップ」の２種類から選択できます。（☛ P.100）



＜ヘディングアップ＞

＜ノースアップ＞

■ マップ配色について

マップ配色には、[AUTO][昼配色][夜配色]があります。[AUTO]の場合、衛星情報により夜と判断された場合や、照度センサーにより暗いと判断された場合には[夜配色]に切り替わります。設定により、どちらかの配色に固定することができます。（☛ P.100）

＜昼配色＞(白基調)

＜夜配色＞(黒基調)

■ マップズームについて

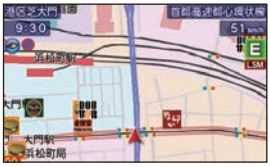
地図縮尺を４種類から選択できます。（☛ P.100）

<ZOOM1＞　<ZOOM2＞　<ZOOM3＞　<ZOOM4＞

■ マップアイコンについて

地図に表示するアイコンを選択できます。(複数選択可)(☛ P.100)

<コンビニ>



<ファストフード>

<ファミレス>

<ガソリンスタンド>

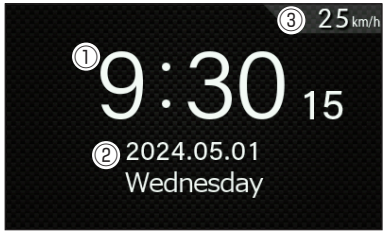
<その他>

2. デジタル時計

デジタル時計、カレンダー(年/月/日/曜日)、速度を表示します。

※ 時計は24時間表示です。
※ 項目/配置の変更はできません。

①デジタル時計
②カレンダー
③速度



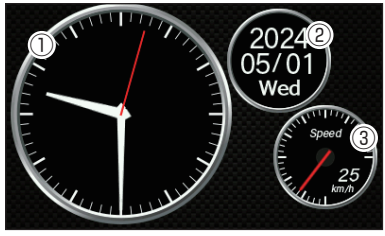
3. プリセットA

大メーター1個(①)、小メーター2個(②③)を表示します。

※ 項目/配置を変更できます。(☛ P.58)

①★アナログ時計
②★カレンダー2
③★0-180km/h速度

初期値:★

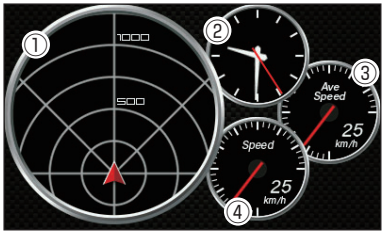


4. プリセットB

大メーター１個(①)、小メーター３個(②③④)を表示します。

※ 項目/配置を変更できます。(☛ P.58)

①★レーダースコープ　　初期値：★
②★アナログ時計
③★平均速度
④★0-180km /h速度



5. プリセットC

大メーター１個(③)、小メーター４個(①②④⑤)を表示します。

※ 項目/配置を変更できます。(☛ P.58)

①★アナログ時計　　初期値：★
②★平均速度
③★0-180km /h速度
④★気圧
⑤★最高速度

6. プリセットD

大メーター１個(④)、ミニメーター３個(①②③)を表示します。

※ 項目/配置を変更できます。(☛ P.58)

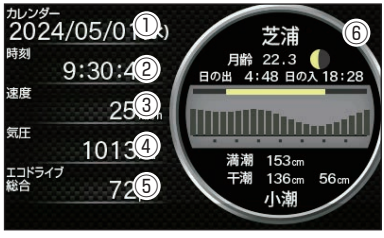
①★カレンダー　　初期値：★
②★時刻
③★0-180km /h速度
④★傾斜・方位

7. プリセットE

大メーター１個(⑥)、文字メーター５個(①②③④⑤)を表示します。

※ 項目/配置を変更できます。(☛ P.58)

①★カレンダー　　初期値：★
②★時刻
③★速度
④★気圧
⑤★エコドライブ総合
⑥★潮汐情報



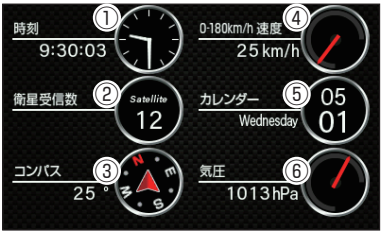
8. プリセットF

ミニメーター６個を表示します。

※ 項目/配置を変更できます。(☛ P.58)

①★時刻
②★衛星受信数
③★コンパス
④★0-180km /h速度
⑤★カレンダー
⑥★気圧

初期値：★



9. プリセットG

小メーター８個を表示します。

※ 項目/配置を変更できます。(☛ P.58)

①★ピッチ
②★ロール
③★コンパス
④★0-180km /h速度
⑤★アナログ時計
⑥★カレンダー２
⑦★気圧
⑧★エコドライブ

初期値：★

10. プリセットH

文字メーター１０個を表示します。

※ 項目/配置を変更できます。(☛ P.58)

①★カレンダー
②★速度
③★最高速度
④★前後加速度
⑤★エコドライブ総合
⑥★時刻
⑦★平均速度
⑧★衛星受信数
⑨★左右加速度
⑩★気圧

初期値：★

11. フォトフレーム

写真を表示します。自動マップ切替が[待受固定]の場合、警報は表示せず音声による警報のみでお知らせします。

※ お好みの画像を表示するには装着されているSDカードのuser⇒photoフォルダにパソコンなどで保存する必要があります。(☛ P.48)

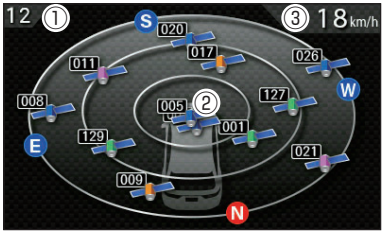
※ 写真の切替時間、切替時の表示方法（エフェクト）、写真の表示範囲(ズーム)の設定ができます。(☛ P.100「フォトフレーム」)

12. 衛星情報

進行方向を上とした衛星位置、番号を表示します。

※ 項目/配置の変更はできません。

①衛星受信数
②衛星位置・方位
　衛星の仰角と方位角を位置として表示します。外周に方位を示します。
③速度



緑色(みちびき、GAGAN、SDCM、KASS)、オレンジ色(グロナス)、青色(GPS)、紫色(GALILEO)

13. ハイブリッド

ハイブリッド情報とミニメーターを2つ(①②)表示します。

※ トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着した場合に表示します。表示項目の詳細はバッテリ/ハイブリッドを参照ください。(☛ P.59)
※ ミニメーター(①②)の項目は変更できます。(☛ P.58)
※ ④⑥⑦⑧⑨⑩⑪はハイブリッド情報が取得できない場合は表示しない、または数値が正常に表示されません。

①★時刻
②★0-180km/h速度
③エンジン回転数/エンジン水温
④HVエアコン消費電力
⑤今回エンジン走行比率/瞬間燃費
⑥緑：エンジンブレーキ
　黄：エンジン駆動
⑦赤(▼)：ジェネレーター発電
⑧緑：フロントモーター回生
　黄：フロントモーター駆動
⑨HV全電池容量
⑩緑：リアモーター回生※1
　黄：リアモーター駆動※1
⑪HVバッテリ電流

※1：四輪駆動でない車両の場合は表示しません。

初期値：★

※ エンジンの色は状態により変化します。(白色:停止、緑色:アイドリング、赤色:駆動、水色:エンジンブレーキ)

14. AUTO

デジタル時計～ハイブリッド※1の12種類の待受画面を1分ごとに順番に切り替えて表示します。

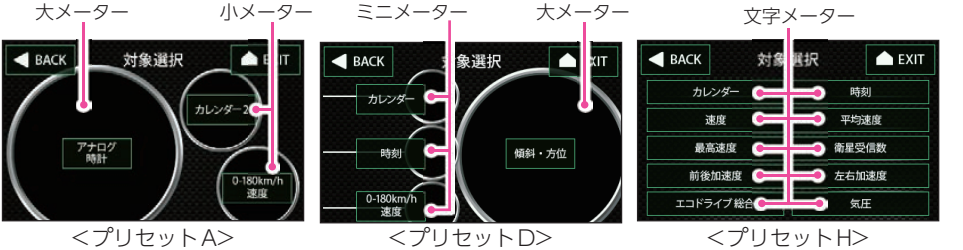
※1：ハイブリッド待受画面は、トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着した場合に表示します。
※ 切替時間/表示待受は変更できます。(☛ P.100「AUTO」)

15. OFF

待受画面を表示しません。自動マップ切替が[待受固定]の場合、警報や公開取締情報は表示せず音声による警報のみでお知らせします。

項目/配置変更のしかた

待受画面の[プリセットA/B/C/D/E/F/G/H]は表示項目と配置、[ハイブリッド]は表示項目を変更することができます。変更できる項目の詳細は ☛ P.59を参照ください。

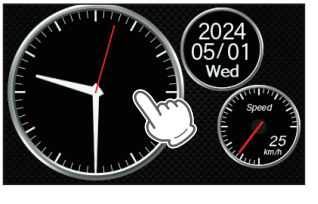


<プリセットA>　<プリセットD>　<プリセットH>

1. 表示項目を変更する

例：待受画面[プリセットA]の大メーターを変更する

1-1 待受画面にタッチする



1-2 [項目変更]にタッチする

1-3 大メーターにタッチする

1-4 表示したい項目にタッチする

1-5 [EXIT]にタッチする

大メーターが変更されます。

2. 項目設定一覧

※ OBDⅡアダプターで接続していない場合や項目を取得できない車両の場合など、項目を選択することはできますが動作することはできません。あらかじめご了承ください。

■ 大メーター(76項目)

●：[OBD]⇒[平均クリア]でリセットされます。
▲：[OBD]⇒[OBD情報オールクリア]でのみリセットされます。[平均クリア]ではリセットされません。

大メーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
時計・カレンダー	アナログ時計	―	―	時:分:秒	時刻をアナログで表示します。
	デジタル時計		0:00 ～ 23:59	時:分 秒(円形リング)	時刻(デジタル)と年/月/日/曜日を表示します。(24時間制)
速度	0-180km/h速度	―	0 ～ 255	km/h	速度を表示します。(メーター最大値が180km/hまたは240km/h)
	0-240km/h速度				
	平均速度(●)				今回の速度の平均値を表示します。
	5秒速度				発車から5秒後の速度を表示します。
走行時間	運転時間	要	0 ～ 100	%	今回の運転時間を表示します。 運転時間の秒：左半円バー 運転時間の分：長針 運転時間の時：短針 走行時間/停車時間比率：右バー
	走行時間				今回の停車していない時間を表示します。 走行時間の秒：左半円バー 走行時間の分：長針 走行時間の時：短針 走行時間/停車時間比率：右バー
	停車時間				今回の停車時間を表示します。 停車時間の秒：左半円バー 停車時間の分：長針 停車時間の時：短針 停車時間/走行時間比率：右バー
区間走行時間	ラップタイム	要	0:00 ～ 99:59	分:秒	電源ONから各走行距離ごとにかかった時間を表示します。
	0-400m時間				発車から各走行距離にかかった時間を表示します。
	0-1000m時間				
走行比率	走行比率	要	0.0 ～ 100.0	%	運転時間に対して走行/停止している時間の比率を表示します。
	停車比率				
	走行時間比率		0:00:00 ～ 99:59:59	時(h):分(m):秒(s)	右下に走行時間/走行距離、各速度での走行時間の比率を円グラフ(%)で表示します。
	速度別走行比率		0.0 ～ 9999.9	km	
	エンジン走行比率(●)		0.0 ～ 100.0	%	今回走行した距離に対して今回エンジンで走行した比率を表示します。

大メーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
走行距離	走行距離	要	今回走行距離 0.0 ～ 9999.9	km	今回走行距離(●)/走行距離(●) /生涯走行距離(▲)を表示します。
			走行距離 /生涯走行距離 0 ～ 999999		
	生涯エンジン 走行距離(▲)		生涯エンジン 走行距離 /生涯走行距離 0 ～ 999999		生涯エンジン走行距離/生涯エンジン 走行比率/生涯走行距離を表示します。
			生涯エンジン 走行比率 0.0 ～ 100.0	%	
加速度	加速度	―	－ 2.00 ～ 2.00	G	前後左右方向の加速度を表示します。 ※ 加速度の情報は、しばらく使用すると自動的に補正されます。 ※ 中央のボールが移動しなくなった場合は、内部で加速度の補正をしています。しばらくすると加速度に合わせて移動しますのでお待ちください。
	前後加速度				前後/左右方向の加速度をアナログと数値で表示します。
	左右加速度				
加速時間	加速時間	要	0:00 ～ 99:59	分:秒	各範囲速度での走行時間を表示します。
	平均加速時間				発車から各走行距離にかかった時間の平均/最短加速時間を表示します。
	最短加速時間				
傾斜 ・方位 ※9	傾斜・方位	―	－ 39.9 ～ 39.9	°(度)	前後左右の傾斜角と方位を表示します。
	ピッチレート		－ 99.9 ～ 99.9	deg/s	ピッチ角速度を表示します。
	ロールレート				ロール角速度を表示します。
	ヨーレート				ヨー角速度を表示します。
燃費※2	瞬間燃費	要	0.0 ～ 99.9	km/l	瞬間の燃費を表示します。
	平均燃費(●)				燃費の平均値を表示します。
	生涯燃費(▲)				OBD情報オールクリアするまでの燃費の平均値を表示します。
	移動平均燃費(●)				直近16km区間での燃費を表示し、2kmごとに更新されます。
燃料	燃料流量	要	0 ～ 999	ml/min	燃料の流量を表示します。
	残燃料・燃料レベル		残燃料 0.0 ～ 999.9	L	残りの燃料/燃料レベル(割合)を表示します。
			燃料レベル 0 ～ 100	%	
	消費燃料		今回消費燃料 0.00 ～ 999.99	L	今回消費燃料(●)/消費燃料(●) /生涯消費燃料(▲)を表示します。
			消費燃料 /生涯消費燃料 0 ～ 999999		

大メーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
圧力 ※1	気圧	ー	0 ～ 1999	hPa	現在の気圧を表示します。
	インマニ圧(相対)	要	− 1.01 ～ 1.54	× 100kPa	インテークマニホールド内の圧力を表示します。
	インマニ圧(絶対)		0.00 ～ 2.55		
	ブースト圧		− 1.01 ～ 1.54		ブースト圧を表示します。(相対圧)
温度	エンジン水温	要	− 40 ～ 215	℃	各温度を表示します。
	吸気温度				
	外気温 ※3				
	エンジン油温				
エンジン	スロットル開度 ※4	要	0 ～ 100	%	スロットルバルブの開度を表示します。
	エンジン負荷 ※4				エンジンにかかる負荷を表示します。
	MAF		0.0 ～ 655.3	g/s	エンジンに吸気される空気量を表示します。
	INJ		0.00 ～ 32.64	ms	インジェクション噴射時間を表示します。
	点火時期		− 64.0 ～ 63.5	deg	エンジン点火プラグの点火時期を表示します。
	エンジン回転数(4000)		0 ～ 9999	rpm	エンジン回転数を表示します。(メーター最大値が4000rpm、6000rpmまたは8000rpm)
	エンジン回転数(6000)				
	エンジン回転数(8000)				
	HVエンジンパワー	要 ※5	− 204 ～ 999	kW	エンジンの出力を表示します。
	HVアクセル開度 ※7		0 ～ 100	%	アクセルの踏みこみ量を表示します。
バッテリ	バッテリ電圧	要	0.0 ～ 25.5	V	各バッテリーの電圧/電流値、充電率を表示します。
	バッテリ電流		− 204 ～ 204	A	
	HVバッテリ電圧	要 ※5	0 ～ 999	V	
	HV補機バッテリ電圧		0.0 ～ 99.9		
	HV全電池容量		0 ～ 100	%	
	HVバッテリ電流		− 204 ～ 999	A	
	HV補機バッテリ電流	要 ※6	− 204 ～ 204		
	HV昇圧後電圧	要 ※5	0 ～ 999	V	
ハイブリッド	ハイブリッド情報	要 ※5	平均燃費 0.0 ～ 99.9	km/l	エンジン・モーター等の出力を表示します。 上部バー：今回エンジン走行比率 電池：HV全電池容量(8分割) 矢印：モーター駆動/回生/充電 暖機：強制暖機 充電：強制充電
			エンジン回転数 0 ～ 9999	rpm	
			HVバッテリ電流 − 204 ～ 999	A	
			エンジン水温 − 40 ～ 215	℃	
			HV全容量電池 0 ～ 100	%	

大メーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
ハイブリッド（つづき）	HVシステムパワー	要※5	－204～999	kW	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	HV Frモーターパワー				フロントモーターの出力を表示します。
	HV Rrモーターパワー				リヤモーターの出力を表示します。
	HV Rrトルク配分比		0～100	%	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	HV A/C消費電力		0.0～10.0	kW	現在のエアコン消費電力を表示します。
	HV ジェネレータ発電量		－204～999		充電用発電機の発電量を表示します。
	HV滑空		－12.8～12.8	―	モーター/エンジンで駆動している時は「＋」、電力を回生している時は「－」を表示します。
衛星	衛星情報	―	0～99	衛星	衛星の受信状態を表示します。衛星の種類により、色が4色に変わります。進行方向が上方向です。
その他	潮汐情報	―	―	―	検潮地点名、月齢、潮名を表示します。周期的に、満潮・干潮時刻と潮位を表示します。
	高度		－100～9999	m	現在地の高度を表示します。
	エコドライブ※8		0～100	pt	エコドライブポイントを表示します。(100pt満点)
	レーダースコープ		―	―	レーダースコープを表示します。
	OFF				大メーターを表示しません。

※1：この数値は1気圧に対しての相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は0を超えません。
※2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費と一致しない場合があります。数値の補正はできません。
※3：車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。
※4：アイドリング中でも0%にならない場合があります。
※5：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ選択できます。
※6：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ)を装着時のみ選択できます。
※7：アクセルペダルを踏み込んでいなくても0%にならない場合があります。
※8：エコドライブのポイント(pt)は弊社独自の採点方法で、「急加速(Accel)」、「急減速(Brake)」、「アイドリング(Idling)」、「経済速度(Speed)」、から算出した総合点(Total)です。
※9：本体の向きを変えた場合など傾斜表示が現状とずれた場合は、一定距離走行することで自動的に補正されます。

■ 小メーター（138項目）

●：[OBD]⇒[平均クリア]でリセットされます。
▲：[OBD]⇒[OBD情報オールクリア]でのみリセットされます。[平均クリア]ではリセットされません。

小メーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
時計 ・カレンダー	アナログ時計	—	—	時:分:秒	時刻をアナログで表示します。
	デジタル時計		0:00 ～ 23:59	時:分 秒(円形リング)	時刻をデジタルで表示します。(24時間制)
	カレンダー 1		—	—	月/日を表示します。
	カレンダー 2				年/月/日/曜日を表示します。
速度	0-180km /h 速度	—	0 ～ 255	km/h	速度を表示します。（メーター最大値が180km/hまたは240km/h）
	0-240km /h 速度				
	平均速度(●)				各速度を表示します。
	一般道平均速度(●)				
	高速道平均速度(●)				
	最高速度				
	5秒速度				発車から5秒後の速度を表示します。
	平均5秒速度				
	最高5秒速度				
走行時間	運転時間	要	—	—	今回の運転時間を表示します。 運転時間の秒：左半円バー 運転時間の分：長針 運転時間の時：短針 走行時間/停車時間比率：右バー
	走行時間				今回の停車していない時間を表示します。 走行時間の秒：左半円バー 走行時間の分：長針 走行時間の時：短針 走行時間/停車時間比率：右バー
	停車時間				今回の停車時間を表示します。 停車時間の秒：左半円バー 停車時間の分：長針 停車時間の時：短針 停車時間/走行時間比率：右バー
区間走行時間	1000mラップタイム	要	0:00 ～ 99:59	分:秒	電源ONから各走行距離ごとにかかった時間を表示します。
	5000mラップタイム				
	10000mラップタイム				
	0-400m時間				発車から各走行距離にかかった時間/平均時間/最短時間を表示します。
	0-400m平均時間				
	0-400m最短時間				
	0-1000m時間				
	0-1000m平均時間				
	0-1000m最短時間				

小メーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
走行比率	走行比率	要	0.0 ～ 100.0	%	運転時間に対して走行 / 停止している時間の比率を表示します。
	停車比率				
	走行時間比率		0 ～ 100	min	右下に走行時間 / 走行距離、各速度での走行時間の比率を円グラフ (%) で表示します。
	速度別走行比率		0 ～ 999	km	
	今回エンジン走行比率 (●)		0.0 ～ 100.0	%	今回走行した距離に対して今回エンジンで走行した比率を表示します。
	生涯エンジン走行比率 (▲)				生涯走行した距離に対して生涯エンジンで走行した比率を表示します。
走行距離	今回走行距離 (●)	要	0.0 ～ 9999.9	km	今回走行時での走行距離を表示します。
	走行距離 (●)		0 ～ 999999		走行距離を表示します。
	生涯走行距離 (▲)				OBD 情報オールクリアするまでの走行距離を表示します。
	今回エンジン走行距離 (●)		0.0 ～ 9999.9		今回エンジンで走行した距離を表示します。
	生涯エンジン走行距離 (▲)		0 ～ 999999		OBD 情報オールクリアするまでのエンジンで走行した距離を表示します。
加速度	前後加速度	—	－ 2.00 ～ 2.00	G	各加速度を表示します。
	最大前後加速度				
	最大前後減速度				
	左右加速度				
	最大左右加速度				
加速時間	0-20km /h 加速時間	要	0:00 ～ 99:59	分 : 秒	発車から各速度に達するまでにかかった時間を表示します。
	0-40km /h 加速時間				
	0-60km /h 加速時間				
	0-80km /h 加速時間				
	0-100km /h 加速時間				
	0-20km /h 平均加速時間				発車から各速度に達するまでにかかった時間の平均時間を表示します。
	0-40km /h 平均加速時間				
	0-60km /h 平均加速時間				
	0-80km /h 平均加速時間				
	0-100km /h 平均加速時間				
	0-20km /h 最短加速時間				発車から各速度に達するまでにかかった時間の最短時間を表示します。
	0-40km /h 最短加速時間				
	0-60km /h 最短加速時間				
	0-80km /h 最短加速時間				
	0-100km /h 最短加速時間				

小メーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
傾斜・方位 ※9	ピッチ	―	―	―	前後方向の回転を表示します。
	ロール				左右方向の回転を表示します。
	コンパス				進行方向を表示します。
	ピッチレート		－99.9～99.9	deg/s	ピッチ角速度を表示します。
	最大ピッチレート				
	ロールレート				ロール角速度を表示します。
	最大ロールレート				
	ヨーレート				ヨー角速度を表示します。
	最大ヨーレート				
燃費 ※2	瞬間燃費	要	0.0～99.9	km/L	瞬間の燃費を表示します。
	今回燃費(●)				今回走行での燃費の平均値を表示します。 ※電源ONごとにリセットされます。
	最大今回燃費(●)				今回走行時の燃費の最大値を表示します。
	平均燃費(●)				燃費の平均値を表示します。
	一般道平均燃費(●)				一般道での燃費の平均値を表示します。
	高速道平均燃費(●)				高速道での燃費の平均値を表示します。
	生涯燃費(▲)				OBD情報オールクリアするまでの燃費の平均値を表示します。
	移動平均燃費(●)				直近16km区間での燃費を表示します。
	最大移動平均燃費(●)				16km区間での移動平均燃費の最大値を表示します。
燃料	燃料流量	要	0～999	ml/min	燃料の流量を表示します。
	平均燃料流量				
	最大燃料流量				
	残燃料・燃料レベル		0.0～999.9	L	残りの燃料/燃料レベル(割合)を表示します。
	今回消費燃料(●)		0.00～999.99		今回走行時の消費燃料を表示します。
	消費燃料(●)		0～999999		消費燃料を表示します。
	生涯消費燃料(▲)				OBD情報オールクリアするまでの消費燃料を表示します。
圧力 ※1	気圧	―	0～1999	hPa	現在の気圧を表示します。
	インマニ圧(相対)	要	－1.01～1.54	×100kPa	インテークマニホールド内の圧力を表示します。
	最大インマニ圧(相対)				
	インマニ圧(絶対)		0.00～2.55		
	最大インマニ圧(絶対)				
	ブースト圧		－1.01～1.54		ブースト圧を表示します。
	最大ブースト圧				

小メーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
温度	エンジン水温	要	− 40 ～ 215	℃	各温度を表示します。
	最高エンジン水温				
	吸気温度				
	最高吸気温度				
	外気温 ※3				
	最高外気温 ※3				
	エンジン油温				
	最高エンジン油温				
エンジン	スロットル開度 ※4	要	0 ～ 100	%	スロットルバルブの開度を表示します。
	平均スロットル開度				
	最大スロットル開度				
	エンジン負荷 ※4				エンジンにかかる負荷を表示します。
	平均エンジン負荷				
	最大エンジン負荷				
	MAF		0.0 ～ 655.3	g/s	エンジンに吸気される空気量を表示します。
	INJ		0.00 ～ 32.64	ms	インジェクション噴射時間を表示します。
	点火時期		− 64.0 ～ 63.5	deg	エンジン点火プラグの点火時期を表示します。
	エンジン回転数 (4000)		0 ～ 9999	rpm	エンジンの回転数を表示します。(メーターの最大値が4000rpm、6000rpmまたは8000rpm)
	エンジン回転数 (6000)				
	エンジン回転数 (8000)				
	平均回転数				今回走行時の回転数の平均/最高値を表示します。
	最高回転数				
	HVエンジンパワー	要 ※5	− 204 ～ 999	kW	エンジンの出力を表示します。
	HVアクセル開度 ※7		0 ～ 100	%	アクセルの踏みこみ量を表示します。
バッテリ	バッテリ電圧	要	0.0 ～ 25.5	V	各バッテリーの電圧/電流値、充電率を表示します。
	バッテリ電流		− 204 ～ 204	A	
	HVバッテリ電圧	要 ※5	0 ～ 999	V	
	HV補機バッテリ電圧		0.0 ～ 99.9		
	HV全電池容量		0 ～ 100	%	
	HVバッテリ電流		− 204 ～ 999	A	
	HV補機バッテリ電流	要 ※6	− 204 ～ 204		
	HV昇圧後電圧	要 ※5	0 ～ 999	V	

小メーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
ハイブリッド	HVシステムパワー	要 ※5	－204～999	kW	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	HV Frモーターパワー				フロントモーターの出力を表示します。
	HV Rrモーターパワー				リヤモーターの出力を表示します。
	HV Rrトルク配分比		0～100	%	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	HV A/C消費電力		0.0～10.0	kW	現在のエアコン消費電力を表示します。
	HVジェネレータ発電量		－204～999		充電用発電機の発電量を表示します。
	HV滑空		－12.8～12.8	―	モーター/エンジンで駆動している時は「＋」、電力を回生している時は「－」を表示します。
衛星	衛星受信数	―	0～99	衛星	衛星の総受信数を表示します。
	GPS受信数				各衛星の個別受信数を表示します。
	GLONASS受信数				
	QZSS受信数				
	SBAS受信数				
	GALILEO受信数				
その他	潮汐情報	―	―	―	検潮地点名、月齢、潮名を表示します。 ※ 周期的に、満潮・干潮時刻と潮位を表示します。
	高度		－100～9999	m	現在地の高度を表示します。
	エコドライブ ※8		0～100	pt	エコドライブポイントを表示します。(100pt満点)
	レーダースコープ		―	―	レーダースコープを表示します。
	OFF				小メーターを表示しません。

※1：この数値は1気圧に対しての相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は0を超えません。
※2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費と一致しない場合があります。数値の補正はできません。
※3：車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。
※4：アイドリング中でも0%にならない場合があります。
※5：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ選択できます。
※6：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ)を装着時のみ選択できます。
※7：アクセルペダルを踏み込んでいなくても0%にならない場合があります。
※8：エコドライブのポイント(pt)は弊社独自の採点方法で、「急加速(Accel)」、「急減速(Brake)」、「アイドリング(Idling)」、「経済速度(Speed)」、から算出した総合点(Total)です。
※9：本体の向きを変えた場合など傾斜表示が現状とずれた場合は、一定距離走行することで自動的に補正されます。

■ ミニメーター（146項目）

●：[OBD]⇒[平均クリア]でリセットされます。
▲：[OBD]⇒[OBD情報オールクリア]でのみリセットされます。[平均クリア]ではリセットされません。

ミニメーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
時計・カレンダー	時刻	—	0:00:00 ～ 23:59:59	時:分:秒	時計をアナログとデジタルで表示します。(24時間制)
	カレンダー		—	—	月/日/曜日を表示します。
速度	0-180km/h速度	—	0 ～ 255	km/h	速度を表示します。(メーター最大値が180km/hまたは240km/h)
	0-240km/h速度				
	平均速度(●)				各速度を表示します。
	一般道平均速度(●)				
	高速道平均速度(●)				
	最高速度				
	5秒速度				発車から5秒後の速度を表示します。
	平均5秒速度				
	最高5秒速度				
走行時間	運転時間	要	0:00:00 ～ 99:59:59	時:分:秒	今回の運転/走行/停止時間を表示します。
	走行時間				
	停車時間				
	1-20km/h走行時間				各範囲速度での走行時間を表示します。
	20-40km/h走行時間				
	40-60km/h走行時間				
	60-80km/h走行時間				
	80-100km/h走行時間				
	100km/h以上走行時間				
区間走行時間	1000mラップタイム	要	0:00 ～ 99:59	分:秒	電源ONから各走行距離ごとにかかった時間を表示します。
	5000mラップタイム				
	10000mラップタイム				
	0-400m時間				発車から各走行距離にかかった時間/平均時間/最短時間を表示します。
	0-400m平均時間				
	0-400m最短時間				
	0-1000m時間				
	0-1000m平均時間				
	0-1000m最短時間				
走行比率	走行比率	要	0.0 ～ 100.0	%	運転時間に対して走行/停止している時間の比率を表示します。
	停車比率				

ミニメーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
走行比率 (つづき)	1-20km /h走行比率	要	0.0 ～ 100.0	%	各範囲の速度で走行している比率を表示します。
	20-40km /h走行比率				
	40-60km /h走行比率				
	60-80km /h走行比率				
	80-100km /h走行比率				
	100km /h以上走行比率				
	今回エンジン 走行比率(●)				今回走行した距離に対して今回エンジンで走行した比率を表示します。
	生涯エンジン 走行比率(▲)				生涯走行した距離に対して生涯エンジンで走行した比率を表示します。
走行距離	今回走行距離(●)	要	0.0 ～ 9999.9	km	今回走行時での走行距離を表示します。
	走行距離(●)		0 ～ 999999		走行距離を表示します。
	生涯走行距離(▲)				OBD情報オールクリアするまでの走行距離を表示します。
	今回エンジン 走行距離(●)		0.0 ～ 9999.9		エンジンで走行した距離を表示します。
	生涯エンジン 走行距離(▲)		0 ～ 999999		OBD情報オールクリアするまでのエンジンで走行した距離を表示します。
加速度	前後加速度	―	－ 2.00 ～ 2.00	G	各加速度を表示します。
	最大前後加速度				
	最大前後減速度				
	左右加速度				
	最大左右加速度				
加速時間	0-20km /h加速時間	要	0:00 ～ 99:59	分:秒	発車から各速度に達するまでにかかった時間を表示します。
	0-40km /h加速時間				
	0-60km /h加速時間				
	0-80km /h加速時間				
	0-100km /h加速時間				
	0-20km /h平均加速時間				発車から各速度に達するまでにかかった時間の平均時間を表示します。
	0-40km /h平均加速時間				
	0-60km /h平均加速時間				
	0-80km /h平均加速時間				
	0-100km /h平均加速時間				
	0-20km /h最短加速時間				発車から各速度に達するまでにかかった時間の最短時間を表示します。
	0-40km /h最短加速時間				
	0-60km /h最短加速時間				
	0-80km /h最短加速時間				
	0-100km /h最短加速時間				

ミニメーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
傾斜・方位 ※9	ピッチ	―	－39.9～39.9	°（度）	前後方向の回転を表示します。
	ロール				左右方向の回転を表示します。
	コンパス		0～359		北を0°とし時計回りに359°の範囲で進行方向を表示します。
	ピッチレート		－99.9～99.9	deg/s	ピッチ角速度を表示します。
	最大ピッチレート				
	ロールレート				ロール角速度を表示します。
	最大ロールレート				
	ヨーレート				ヨー角速度を表示します。
	最大ヨーレート				
燃費 ※2	瞬間燃費	要	0.0～99.9	km/l	瞬間の燃費を表示します。
	今回燃費（●）				今回走行での燃費の平均値を表示します。 ※電源ONごとにリセットされます。
	最大今回燃費（●）				今回走行時の燃費の最大値を表示します。
	平均燃費（●）				燃費の平均値を表示します。
	一般道平均燃費（●）				一般道での燃費の平均値を表示します。
	高速道平均燃費（●）				高速道での燃費の平均値を表示します。
	生涯燃費（▲）				OBD情報オールクリアするまでの燃費の平均値を表示します。
	移動平均燃費（●）				直近16km区間での燃費を表示します。
	最大移動平均燃費（●）				16km区間での移動平均燃費の最大値を表示します。
燃料	燃料流量	要	0～999	ml/min	燃料の流量を表示します。
	平均燃料流量				
	最大燃料流量				
	残燃料		0.0～999.9	L	残りの燃料を表示します。
	燃料レベル		0～100	%	残りの燃料レベル（割合）を表示します。
	今回消費燃料（●）		0.00～999.99	L	今回走行時の消費燃料を表示します。
	消費燃料（●）		0～999999		消費燃料を表示します。
	生涯消費燃料（▲）				OBD情報オールクリアするまでの消費燃料を表示します。
圧力 ※1	気圧	―	0～1999	hPa	現在の気圧を表示します。
	インマニ圧（相対）	要	－1.01～1.54	×100kPa	インテークマニホールド内の圧力を表示します。
	最大インマニ圧（相対）				
	インマニ圧（絶対）		0～255	kPa	
	最大インマニ圧（絶対）				
	ブースト圧		－1.01～1.54	×100kPa	ブースト圧を表示します。
	最大ブースト圧				

ミニメーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
温度	エンジン水温	要	－40～215	℃	各温度を表示します。
	最高エンジン水温				
	吸気温度				
	最高吸気温度				
	外気温 ※3				
	最高外気温 ※3				
	エンジン油温				
	最高エンジン油温				
エンジン	スロットル開度 ※4	要	0～100	%	スロットルバルブの開度を表示します。
	平均スロットル開度				
	最大スロットル開度				
	エンジン負荷 ※4				エンジンにかかる負荷を表示します。
	平均エンジン負荷				
	最大エンジン負荷				
	MAF		0.00～655.35	g/s	エンジンに吸気される空気量を表示します。
	INJ		0.000～32.640	ms	インジェクション噴射時間を表示します。
	点火時期		－64.0～63.5	°(度)	エンジン点火プラグの点火時期を表示します。
	エンジン回転数(4000)		0～9999	rpm	エンジンの回転数を表示します。(メーターの最大値が4000rpm、6000rpmまたは8000rpm)
	エンジン回転数(6000)				
	エンジン回転数(8000)				
	平均回転数				今回走行時の回転数の平均/最高値を表示します。
	最高回転数				
	HVエンジンパワー	要 ※5	－204～999	kW	エンジンの出力を表示します。
	HVアクセル開度 ※7		0～100	%	アクセルの踏みこみ量を表示します。
バッテリ	バッテリ電圧	要	0.0～25.5	V	各バッテリーの電圧/電流値、充電率を表示します。
	バッテリ電流		－204～204	A	
	HVバッテリ電圧	要 ※5	0～999	V	
	HV補機バッテリ電圧		0.0～99.9		
	HV全電池容量		0～100	%	
	HVバッテリ電流		－204.8～999.9	A	
	HV補機バッテリ電流	要 ※6	－204～204		
	HV昇圧後電圧	要 ※5	0～999	V	

ミニメーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
ハイブリッド	HVシステムパワー	要 ※5	－204～999	kW	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	HV Frモーターパワー				フロントモーターの出力を表示します。
	HV Rrモーターパワー				リヤモーターの出力を表示します。
	HV Rrトルク配分比		0～100	%	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	HV A/C消費電力		0.0～10.0	kW	現在のエアコン消費電力を表示します。
	HVジェネレータ発電量		－204～999		充電用発電機の発電量を表示します。
	HV滑空		－12.8～12.8	―	モーター/エンジンで駆動している時は「＋」、電力を回生している時は「－」を表示します。
衛星	衛星受信数	―	0～99	衛星	衛星の総受信数を表示します。
	GPS受信数				各衛星の個別受信数を表示します。
	GLONASS受信数				
	QZSS受信数				
	SBAS受信数				
	GALILEO受信数				
その他	潮汐情報	―	―	―	検潮地点名、月齢、潮名を表示します。 ※ 周期的に、満潮・干潮時刻と潮位を表示します。
	高度		－100～9999	m	現在地の高度を表示します。
	エコドライブ ※8		0～100	pt	エコドライブ総合ポイントを表示します。(100pt満点)
	OFF		―	―	ミニメーターを表示しません。

※1：この数値は1気圧に対しての相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は0を超えません。
※2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費と一致しない場合があります。数値の補正はできません。
※3：車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。
※4：アイドリング中でも0%にならない場合があります。
※5：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ選択できます。
※6：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ)を装着時のみ選択できます。
※7：アクセルペダルを踏み込んでいなくても0%にならない場合があります。
※8：エコドライブのポイント(pt)は弊社独自の採点方法で、「急加速(Accel)」、「急減速(Brake)」、「アイドリング(Idling)」、「経済速度(Speed)」、から算出した総合点(Total)です。
※9：本体の向きを変えた場合など傾斜表示が現状とずれた場合は、一定距離走行することで自動的に補正されます。

■ 文字メーター（161項目）

●：[OBD]⇒[平均クリア]でリセットされます。
▲：[OBD]⇒[OBD情報オールクリア]でのみリセットされます。[平均クリア]ではリセットされません。

文字メーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
時計・カレンダー	時刻	—	0:00:00 ～ 23:59:59	時:分:秒	時刻をデジタルで表示します。(24時間制)
	カレンダー		—	—	年/月/日/曜日を表示します。
速度	速度	—	0 ～ 255	km/h	各速度を表示します。
	平均速度(●)				
	一般道平均速度(●)				
	高速道平均速度(●)				
	最高速度				
	5秒速度				発車から5秒後の速度を表示します。
	平均5秒速度				
	最高5秒速度				
走行時間	運転時間	要	0:00:00 ～ 99:59:59	時:分:秒	今回の運転/走行/停止時間を表示します。
	走行時間				
	停車時間				
	1-20㎞/h走行時間				各範囲速度での走行時間を表示します。
	20-40㎞/h走行時間				
	40-60㎞/h走行時間				
	60-80㎞/h走行時間				
	80-100㎞/h走行時間				
	100㎞/h以上走行時間				
区間走行時間	1000mラップタイム	要	0:00 ～ 99:59	分:秒	電源ONから各走行距離ごとにかかった時間を表示します。
	5000mラップタイム				
	10000mラップタイム				
	0-400m時間				発車から各走行距離にかかった時間/平均時間/最短時間を表示します。
	0-400m平均時間				
	0-400m最短時間				
	0-1000m時間				
	0-1000m平均時間				
	0-1000m最短時間				
走行比率	走行比率	要	0.0 ～ 100.0	%	運転時間に対して走行/停止している時間の比率を表示します。
	停車比率				
	1-20㎞/h走行比率				各範囲の速度で走行している比率を表示します。
	20-40㎞/h走行比率				
	40-60㎞/h走行比率				
	60-80㎞/h走行比率				
	80-100㎞/h走行比率				
	100㎞/h以上走行比率				

文字メーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
走行比率（つづき）	今回エンジン走行比率（●）	要	0.0 ～ 100.0	%	今回走行した距離に対して今回エンジンで走行した比率を表示します。
	生涯エンジン走行比率（▲）				生涯走行した距離に対して生涯エンジンで走行した比率を表示します。
走行距離	今回走行距離（●）	要	0.0 ～ 9999.9	km	今回走行時での走行距離を表示します。
	走行距離（●）		0 ～ 999999		走行距離を表示します。
	生涯走行距離（▲）				OBD情報オールクリアするまでの走行距離を表示します。
	今回エンジン走行距離（●）		0.0 ～ 9999.9		今回エンジン走行時での走行距離を表示します。
	生涯エンジン走行距離（▲）		0 ～ 999999		OBD情報オールクリアするまでのエンジンで走行した距離を表示します。
加速度	前後加速度	―	－ 2.00 ～ 2.00	G	各加速度を表示します。
	最大前後加速度				
	最大前後減速度				
	左右加速度				
	最大左右加速度				
加速時間	0-20km /h加速時間	要	0:00 ～ 99:59	分：秒	発車から各速度に達するまでにかかった時間を表示します。
	0-40km /h加速時間				
	0-60km /h加速時間				
	0-80km /h加速時間				
	0-100km /h加速時間				
	0-20km /h平均加速時間				発車から各速度に達するまでにかかった時間の平均時間を表示します。
	0-40km /h平均加速時間				
	0-60km /h平均加速時間				
	0-80km /h平均加速時間				
	0-100km /h平均加速時間				
	0-20km /h最短加速時間				発車から各速度に達するまでにかかった時間の最短時間を表示します。
	0-40km /h最短加速時間				
	0-60km /h最短加速時間				
	0-80km /h最短加速時間				
	0-100km /h最短加速時間				
傾斜・方位 ※9	ピッチ	―	－ 39.9 ～ 39.9	°（度）	前後方向の回転を表示します。
	ロール				左右方向の回転を表示します。
	コンパス		0 ～ 359		北を0°とし時計回りに359°の範囲で進行方向を表示します。
	ピッチレート		－ 99.9 ～ 99.9	deg/s	ピッチ角速度を表示します。
	最大ピッチレート				
	ロールレート				ロール角速度を表示します。
	最大ロールレート				
	ヨーレート				ヨー角速度を表示します。
	最大ヨーレート				

文字メーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
燃費 ※2	瞬間燃費	要	0.0 ～ 99.9	km/l	瞬間の燃費を表示します。
	今回燃費(●)				今回走行での燃費の平均値を表示します。 ※電源ONごとにリセットされます。
	最大今回燃費(●)				今回走行時の燃費の最大値を表示します。
	平均燃費(●)				燃費の平均値を表示します。
	一般道平均燃費(●)				一般道での燃費の平均値を表示します。
	高速道平均燃費(●)				高速道での燃費の平均値を表示します。
	生涯燃費(▲)				OBD情報オールクリアするまでの燃費の平均値を表示します。
	移動平均燃費(●)				直近16km区間での燃費を表示します。
	最大移動平均燃費(●)				16km区間での移動平均燃費の最大値を表示します。
燃料	燃料流量	要	0 ～ 999	ml/min	燃料の流量を表示します。
	平均燃料流量				
	最大燃料流量				
	残燃料		0.0 ～ 999.9	L	残りの燃料を表示します。
	燃料レベル		0 ～ 100	%	残りの燃料レベル(割合)を表示します。
	今回消費燃料(●)		0.00～999.99	L	今回走行時の消費燃料を表示します。
	消費燃料(●)		0 ～ 999999		消費燃料を表示します。
	生涯消費燃料(▲)				OBD情報オールクリアするまでの消費燃料を表示します。
圧力	気圧	―	0 ～ 1999	hPa	現在の気圧を表示します。
	インマニ圧(相対)	要	－ 1.01 ～ 1.54	× 100kPa	インテークマニホールド内の圧力を表示します。
	最大インマニ圧(相対)				
	インマニ圧(絶対)		0 ～ 255	kPa	
	最大インマニ圧(絶対)				
	ブースト圧		－ 1.01 ～ 1.54	× 100kPa	ブースト圧を表示します。
	最大ブースト圧				
温度	エンジン水温	要	－ 40 ～ 215	℃	各温度を表示します。
	最高エンジン水温				
	吸気温度				
	最高吸気温度				
	外気温 ※3				
	最高外気温 ※3				
	エンジン油温				
	最高エンジン油温				

文字メーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
エンジン	スロットル開度 ※4	要	0 ～ 100	%	スロットルバルブの開度を表示します。
	平均スロットル開度				
	最大スロットル開度				
	エンジン負荷 ※4				エンジンにかかる負荷を表示します。
	平均エンジン負荷				
	最大エンジン負荷				
	MAF		0.00～655.35	g/s	エンジンに吸気される空気量を表示します。
	INJ		0.000～32.640	ms	インジェクション噴射時間を表示します。
	点火時期		－64.0～63.5	°(度)	エンジン点火プラグの点火時期を表示します。
	エンジン回転数		0 ～ 9999	rpm	エンジンの回転数を表示します。
	平均回転数				
	最高回転数				
	HVエンジンパワー	要 ※5	－204 ～ 999	kW	エンジンの出力を表示します。
	HVアクセル開度 ※7		0 ～ 100	%	アクセルの踏みこみ量を表示します。
始動・停止	エンジン停止時間	要	0:00 ～ 99:59	分:秒	今回アイドリングストップ/エンジン停止した時間の累積値を表示します。
	最小エンジン停止時間				
	最大エンジン停止時間				
	アイドリング時間				車速0でエンジンがかかっていた時間を表示します。
	エンジン始動回数		0 ～ 999	回	今回エンジン始動/アイドリングストップ/エンジン停止した回数を表示します。
	エンジン停止回数				
	0-10秒停止回数				
	10-20秒停止回数				
	20-30秒停止回数				
	30秒以上停止回数				
	0-10秒停止比率		0.0 ～ 100.0	%	アイドリングストップ/エンジン停止時間の各範囲の比率を表示します。
	10-20秒停止比率				
	20-30秒停止比率				
	30秒以上停止比率				
バッテリ	バッテリ電圧	要	0.0 ～ 25.5	V	各バッテリーの電圧/電流値、充電率を表示します。
	バッテリ電流		－204 ～ 204	A	
	HVバッテリ電圧	要 ※5	0 ～ 999	V	
	HV補機バッテリ電圧		0.0 ～ 99.9		
	HV全電池容量		0 ～ 100	%	
	HVバッテリ電流		－204.8～999.9	A	
	HV補機バッテリ電流	要 ※6	－204 ～ 204		
	HV昇圧後電圧	要 ※5	0 ～ 999	V	

文字メーター項目		OBD	表示範囲	単 位	説　明
ハイブリッド	HVシステムパワー	要 ※5	－204～999	kW	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	HV Frモーターパワー				フロントモーターの出力を表示します。
	HV Rrモーターパワー				リヤモーターの出力を表示します。
	HV Rrトルク配分比		0～100	%	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	HV A/C消費電力		0.0～10.0	kW	現在のエアコン消費電力を表示します。
	HVジェネレータ発電量		－204～999		充電用発電機の発電量を表示します。
	HV滑空		－12.8～12.8	―	モーター/エンジンで駆動している時は「＋」、電力を回生している時は「－」を表示します。
衛星	衛星受信数	―	0～99	衛星	衛星の総受信数を表示します。
	GPS受信数				各衛星の個別受信数を表示します。
	GLONASS受信数				
	QZSS受信数				
	SBAS受信数				
	GALILEO受信数				
その他	潮汐情報	―	―	―	検潮地点名、月齢、潮名を表示します。周期的に、満潮・干潮時刻と潮位を表示します。
	高度		－100～9999	m	現在地の高度を表示します。
	エコドライブ総合 ※8		0～100	pt	各エコドライブポイントを表示します。(100pt満点)
	エコドライブ加速 ※8				
	エコドライブ減速 ※8				
	エコドライブ経済速度 ※8				
	エコドライブアイドリング ※8				
	OFF		―	―	文字メーターを表示しません。

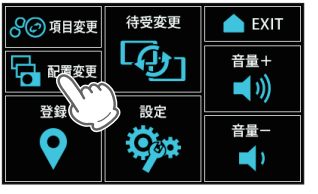
※1：この数値は1気圧に対しての相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は0を超えません。
※2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費と一致しない場合があります。数値の補正はできません。
※3：車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。
※4：アイドリング中でも0%にならない場合があります。
※5：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ選択できます。
※6：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ)を装着時のみ選択できます。
※7：アクセルペダルを踏み込んでいなくても0%にならない場合があります。
※8：エコドライブのポイント(pt)は弊社独自の採点方法で、「急加速(Accel)」、「急減速(Brake)」、「アイドリング(Idling)」、「経済速度(Speed)」、から算出した総合点(Total)です。
※9：本体の向きを変えた場合など傾斜表示が現状とずれた場合は、一定距離走行することで自動的に補正されます。

3. 配置を変更する

例：待受画面[プリセットA]の配置を変更する

3-1 待受画面にタッチする

3-2 [配置変更]にタッチする



3-3 お好みの配置にタッチする

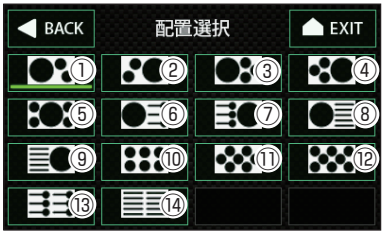
3-4 [EXIT]にタッチする

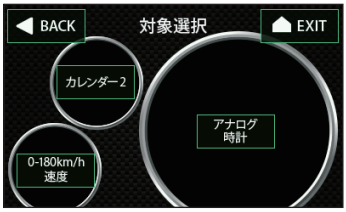
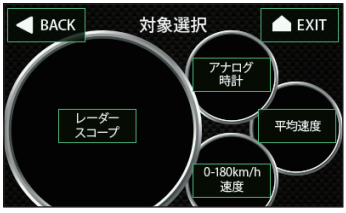
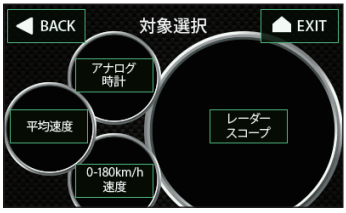
※ 表示項目を変更する場合は ☛ P.58 を参照ください。

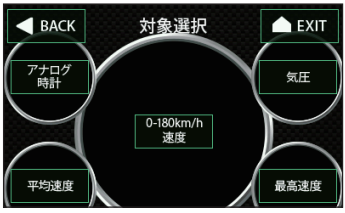
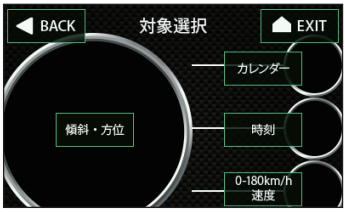
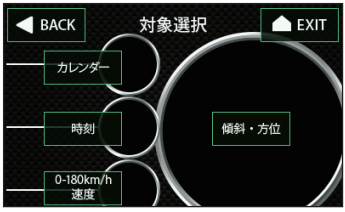
配置が変更されます。

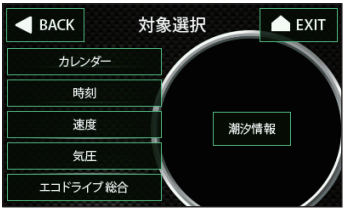
4. 配置項目一覧

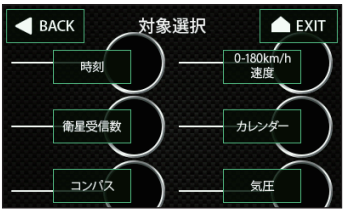
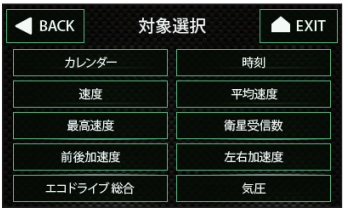
■ 配置選択画面



No.	配　置
①	
②	
③	
④	

No.	配　置
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	

No.	配　置
⑨	
⑩	
⑪	

No.	配　置
⑫	
⑬	
⑭	

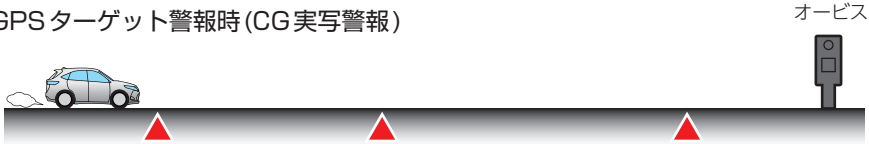
警報画面について

1. 警報画面

取締レーダー波/レーザー光を探知したり、注意度の高いオービスや取締エリアなどのGPSターゲットに近づくと、各種待受画面から警報画面(マップ)に切り替わり警報します。

※ 自動マップ切替が[待受固定]の場合、画面下にテロップ表示(☛ P.82)で警報します。([フォトフレーム][OFF]は除く)

■ GPSターゲット警報時(CG実写警報)



待受画面(例:プリセットA)

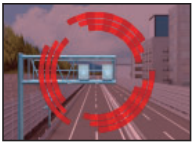
[マップ]に切り替わります。

警報画面(例:LHシステム)

※ GPSターゲットが登録されていない場合は、警報画面に表示されません。

CG & 実写警報

CG実写警報例



- ●実写の前にCGでお知らせします。
- ●高速道路のみ約2km手前でも表示されます。(制限速度を超えている場合のみ)
- ●実写内にオービスの位置を矢印で表示します。
- ●実写データが登録されていないポイントでは、実写は表示されません。

取締エリア実写例

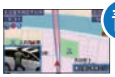
- ●実写データがない取締エリアでは、イメージ写真で表示します。

警報画面　警告ムービー　4色識別アラーム

レベル高

赤 警報　「厳重注意ターゲット」

黄 警告　「要注意ターゲット」



青 告知　「少し注意ターゲット」

緑 情報　「安全運転のための情報」

レベル低

赤 ループコイルなど「厳重注意」ターゲットを赤色の背景で警報。ターゲット名はもちろん、ステルス波やレーダー波は電波受信をレベル表示します。

黄 取締エリアなど「要注意」ターゲットを黄色の背景で警告。ターゲット名とターゲットまでの距離をカウントダウン表示します。

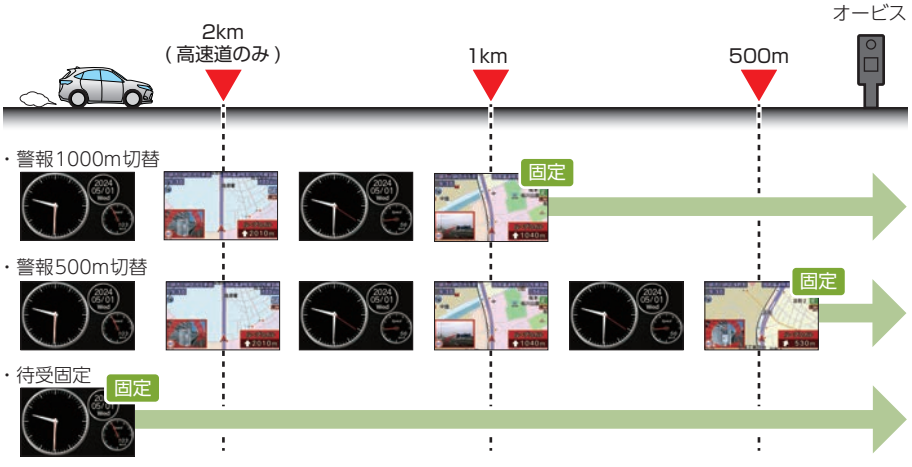
青 連続カーブなど「少し注意」ターゲットを青色の背景で告知。

緑 ETCレーンなど「安全運転のための情報」を緑色の背景でお知らせします。

■ 自動マップ切替（☛ P.100）

警報画面（マップ）に固定され警報する距離を選択できます。

例：GPSターゲット警報時



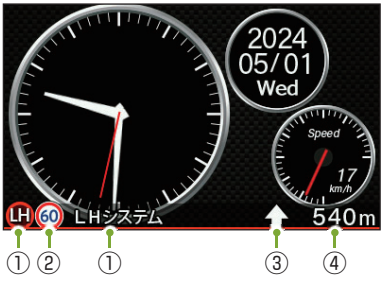
警報1000m切替※1（初期値）	ターゲットの手前1kmから警報画面（マップ）に固定され警報します。
警報500m切替※1	ターゲットの手前500mから警報画面（マップ）に固定され警報します。
待受固定	待受画面で固定され、画面下にテロップ表示で警報します。（テロップ警報）

※1：警報する距離が短いターゲットの場合は、「お知らせするタイミング（距離の目安）☛ P.85」の距離で警報画面（マップ）に切り替わります。

※ ターゲット通過後は待受画面に戻ります。

■ テロップ警報

自動マップ切替が［待受固定］の場合、画面下にテロップ表示で警報します。（［フォトフレーム］［OFF］は除く）



①GPSターゲットの種類
②制限速度※2
③GPSターゲットの方向※3
④GPSターゲットまでの距離※3

※2：制限速度表示は、オービス（ループコイル／LHシステム／新Hシステム／レーダー式オービス／レーザー式オービス）と一部の取締エリア警報時に表示します。

※3：GPSターゲットによっては表示されません。

※ 待受画面［マップ］は［待受固定］に設定してもCGと実写、メッセージウィンドウで警報します。

■ レーダースコープ

自動マップ切替が[待受固定]で項目が[レーダースコープ]の場合、現在地周辺のターゲットに近づくと現在地との位置関係をイメージで表示します。

レーダースコープ

2. メッセージウィンドウ

警報時やお知らせ時に画面下に各種警報を表示し、必要な情報を確認できます。

※ 表示される時刻・速度・距離は、GPSの受信状況により、誤差を生じることがあります。
※ 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやGセンサー、ジャイロセンサー、気圧センサー、マップマッチングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
※ GPS非測位時、走行速度は表示しません。
※ OBDⅡアダプターを接続するとGPS非測位時でも走行速度が表示されます。

■ メッセージウィンドウ（取締レーダー波）

①取締レーダー波の種類
②受信レベル1(低)~5(高)

■ メッセージウィンドウ（取締レーザー光）

①取締レーザー光の種類

■ メッセージウィンドウ（無線）

①無線の種類

■ メッセージウィンドウ（GPSターゲット）

①GPSターゲットの種類
②GPSターゲットの方向
③GPSターゲットまでの距離
④制限速度※1

※1：制限速度表示は、オービス(ループコイル／LHシステム／新Hシステム／レーダー式オービス/レーザー式オービス)と一部の取締エリア警報時に表示します。

3. ジングル

本機が警報やお知らせをする際に、お知らせする項目の前に鳴る注意喚起音のことです。

例：GPSターゲット警報時

4. Wアラーム（ダブルアラーム）

音（電子音/ボイス/クワイアットボイス/メロディ）と画面表示のダブルで警報します。

※ 警報音はお好みの音声にカスタムできます。（☛ P.47）

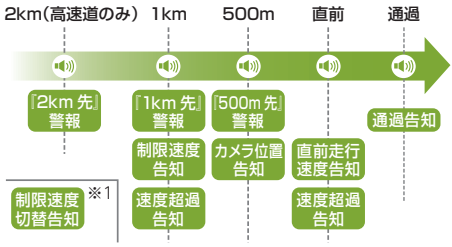
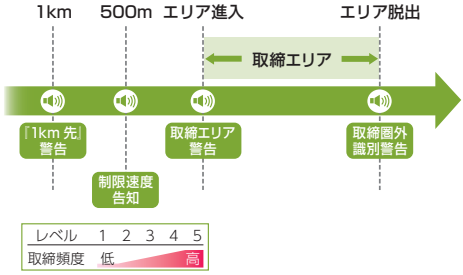
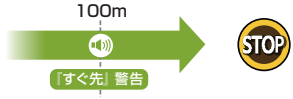
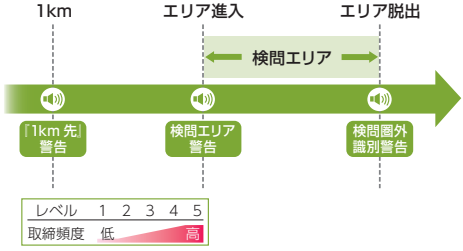
5. オートクワイアット

レーダー波/レーザー光の受信が約30秒以上続くと、自動的に警報音の音量が小さくなります。

警報ボイスについて

1. GPSターゲット58識別

※ GPSの受信状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。
※ オービス警報時の音(オービスジングル)、GPS警報/告知時の音(GPS警報ジングル/GPS告知ジングル)はお好みの音声にカスタムできます。(☛ P.47)

ターゲットの種類		お知らせするタイミング(距離の目安)	LED
LC	ループコイル	 ※1:制限速度切替告知は、高速道路の制限速度切替ポイントでお知らせします。LED色は黄色になります。	赤 黄 ※1
H	新Hシステム		
LH	LHシステム		
RD	レーダー式オービス(小型オービス含む)		
La	レーザー式オービス		
	移動オービスエリア	 ※ 1km手前では左右方向もお知らせします。 ※「トンネル内追尾式取締エリア」、「トンネル出口直後速度取締エリア」から脱出した場合は、取締圏外識別警告は行いません。	
	速度取締エリア		
	追尾式取締エリア		
	交差点取締エリア		
	その他取締エリア		
STOP	一時停止取締エリア		黄
	シートベルト検問	 ※ 1km手前では左右方向もお知らせします。	
	携帯電話検問		
	飲酒検問		
	その他の検問		

ターゲットの種類		お知らせするタイミング（距離の目安）	LED
	交差点監視ポイント	300m 『すぐ先』告知	黄
	信号無視抑止システム		
	高速交通警察隊	500m 『500m先』告知	
	駐禁最重点エリア /駐禁重点エリア マップ上には表示されません。	駐禁監視エリア内で停車 駐車監視エリア 駐禁最重点(重点)エリア 告知	
	一時停止注意ポイント	100m 『すぐ先』警告 ※ 東京都23区内、名古屋市内、大阪市内の一時停止注意ポイントが登録されています。	
	マイエリア	1km　500m　通過 『1km 先』警告　『500m先』警告　通過告知	
	ゾーン30エリア マップ上には表示されません。	エリア告知	
	ラウンドアバウト	300m 『すぐ先』告知	
	要注意踏切 ・事故多発踏切 ・通学路注意踏切 ・歩道狭隘踏切 ・歩行者ボトルネック踏切 ・自動車ボトルネック踏切 ・開かずの踏切	500m 『500m先』告知	
	逆走注意ポイント マップ上には表示されません。	『すぐ先』告知 ※ 状況により『すぐ先』は省略されます。	

ターゲットの種類		お知らせするタイミング（距離の目安）	LED
	Nシステム	300m 「すぐ先」告知	青
	交通監視システム		
	事故多発エリア		
	警察署	500m 「500m先」告知	
	交番		
	車上狙い多発エリア マップ上には表示されません。	車上狙い多発エリア内で停車 車上狙い多発エリア 車上狙い多発エリア 告知	
	踏切	200m 「すぐ先」告知	
	高速道 急カーブ/ 連続カーブ マップ上には表示されません。	カーブにさしかかったら 「この先」告知	
	高速道 分岐 /合流ポイント マップ上には表示されません。	分岐にさしかかったら 「この先」分岐告知 合流にさしかかったら 「この先」合流告知	
	ETCレーン	ETCレーンにさしかかったら ETCレーン お知らせ ※ETCレーンの位置によって「右側/左側/中央/両サイド」でお知らせします。 ※交通量や時間によるETCレーンの位置変更には対応しておりません。目安としてお考えください。	緑
	サービスエリア	1km 「1km先」お知らせ 「スマートインターチェンジ」お知らせ 「ガスステーション」お知らせ	
	パーキングエリア		
	ハイウェイオアシス		

ターゲットの種類		お知らせするタイミング（距離の目安）	LED
	高速道 長／連続トンネル	1km 500m 「1km 先」お知らせ 「500m先」お知らせ	緑
	道の駅		
	ビューポイントパーキング		
	ハイウェイラジオ受信エリア	受信エリアお知らせ 受信エリア	
	県境告知 マップ上には表示されません。	県境お知らせ ○○県 □□県	
	（駐車禁止エリア付近）駐車場	ターゲットに近づくとマップに切り替わり、メッセージウィンドウとマップ上でのアイコンで表示します。 ※ 音声や警報音ではお知らせしません。	
	消防署	300m 「すぐ先」告知	
	公衆トイレ	100m 「すぐ先」告知	
	充電ステーション	ターゲットに近づくとマップに切り替わり、マップ上でのアイコンで表示します。 ※ 音声や警報音ではお知らせしません。	

※ 普通自動車の制限速度でお知らせします。
※ トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスは直前走行速度告知を行いません。
※ トンネル出口ターゲットと制限速度が登録されていない場合は制限速度告知を行いません。
※ トンネル出口ターゲットはカメラ位置告知を行いません。
※ 事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。
※ 本機に登録されている検問エリア／取締エリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。

2. 左右方位認識ボイス

GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、「左方向」または「右方向」のボイスを付加して、その方向をお知らせします。

※『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
※ターゲットまでの距離が非常に近い場合は、左右方向識別ボイスをお知らせしないこともあります。

3. オービスロケーションガイド

オービスの手前500mで目標物(交差点・バス停・陸橋・高速のキロポストなど)と、オービスの種類などのアナウンスをより安全でわかりやすく行います。

取締レーザー光について

1. レーザー光２識別

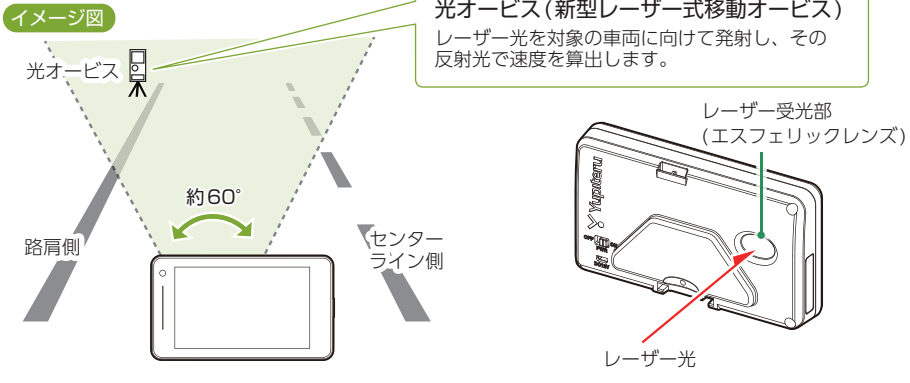
本機はレーザー式オービスを、固定式と可搬式で識別してお知らせします。

※ レーザー受光部に受信しないと警報しません。取り付け位置や環境などによって受信できない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

⚠ 注 意

- 一部の車種に採用されているUV、IRカットガラスのなかに、レーザー光の透過率が低く取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。
- レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの周辺では取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。
- 取締レーザー光以外でも以下の周辺では反応する場合がありますが、これは誤動作ではありませんのでご了承ください。(レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの一部)
- 本体の背面は進行方向に向けてください。進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。

■ 探知範囲：水平約60°



レーザー光発信源の位置を表示することはできません。

レーザー光の受信を警報する画面は、レーザー光を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締に関係するレーザー光が発信されていることを警報します。

■ レーザー光２識別

種　類	
半固定式レーザー（固定式）	半固定式レーザー
レーザー LSM（可搬式）	レーザー LSM

＜レーザー光受信時警報＞

取締レーダー波について

1. レーダー波６識別(iDSP)

本機は、iDSP/統合的デジタル信号処理技術（integrated Digital Signal Processing Technology）により、ステルス型取締機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、iキャンセル（☛ P.110）により取締波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

※ iDSPはステルス型の取締機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
※ 新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。
※ ステルス波はレーダー波を基にして識別します。

■ レーダー波６識別

種　類	
ステルス波	ステルス LEVEL 5
レーダー（Xバンド）	レーダー(Xバンド) LEVEL 5
レーダー（Kバンド）	レーダー(Kバンド) LEVEL 5

種　類	
可搬式オービスMSSS	可搬式オービスMSSS LEVEL 5
固定式オービスSSS	固定式オービスSSS LEVEL 5
キャンセル告知	キャンセル LEVEL 5

2. 後方受信

iDSPによる超高精度識別およびスーパーエクストラの超高感度受信により、後方からの取締レーダー波も受信が可能です。

3. 接近テンポアップ(電子音選択時のみ)

取締レーダー波発信源への接近に伴う電波強度の変化に合わせて電子音のテンポが上がっていきます。

発信源との距離	遠い	近い
電子音	『ピロ・ピロ』	『ピーーーー』断続音から連続音
LED	赤	
受信レベル(1～5)	レーダー(Kバンド) LEVEL 1 ▶ レーダー(Kバンド) LEVEL 2 ▶ レーダー(Kバンド) LEVEL 3 ▶ レーダー(Kバンド) LEVEL 4 ▶ レーダー(Kバンド) LEVEL 5	

4. レーダー受信感度/可搬式オービス名称アイコン

マップ上にレーダー受信感度/可搬式オービス名称をアイコンで表示します。
※ 待受画面[マップ]以外では表示しません。

■ レーダー受信感度アイコン

アイコン		受信感度設定(☛ P.98)
OFF(黒字)	OFF ※ レーダー受信警報を行いません。	【OFF】
C(赤字)	シティ ※ 市街地(低感度)	【シティ】
C(白字)		【AAC/ASS】
E(緑字)	エクストラ ※ 郊外や高速道路(中感度)	【エクストラ】
E(白字)		【AAC/ASS】
SE(青字)	スーパーエクストラ ※ 高速道路(高感度)	【スーパーエクストラ】
SE(白字)		【AAC/ASS】、【AAC/SE】、【AAC/CUSTOM】
SE(赤字)※2		【Kバンド警報タイプ[自動切替]】 +【AAC/ASS】、【AAC/SE】、【AAC/CUSTOM】 +【取締り路線走行】
—	※ 不要警報カット中(警報しません)	【AAC/ASS】、【AAC/SE】、【AAC/CUSTOM】

■ 可搬式オービス名称アイコン※1

アイコン	可搬式オービス種類
MSSS(青背景)	MSSS
SSS(青背景)	固定式オービス(埼玉、岐阜)※3
LSM(赤背景)	LSM-300、LSM-310 など
JMA(青背景)	JMA-520、JMA-401 など

※1:Kバンド警報タイプ[自動切替]時に表示します。
※2:地域によっては表示しない場合があります。
※3:2024年5月現在

無線について

無線発信源の位置を表示することはできません。
無線の受信を警報する画面は、無線を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締に関係する無線が発信されていることを警報します。

1. 無線14バンド受信機能

※ 無線受信時の音(無線警報ジングル)は変更できます。(☛ P.47「カスタムについて」)

種　類	LED	説　明
カーロケ無線(カーロケーターシステム) 『カーロケ近接受信です』 『カーロケ遠方受信です』 『カーロケ圏外です』 ※ カーロケ無線の発信元が遠ざかった可能性が高いとき	桃 黄 水色	「無線自動車動態表示システム」のことで、警察の通信司令本部がパトカーなどの移動局の現在位置をリアルタイムで地図上に表示し、把握するためのシステムです。カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、それを407.7MHz帯の周波数でデータ伝送しています。本機は、それを受信することにより、移動局が近くにいることを警報します。 ※ カーロケーターシステム搭載車であっても、カーロケ無線が使用されていない場合は、受信できないことがあります。 ※ カーロケーターシステムは全国的に新システムへと移行しています。現在は受信できる地域でも、新システム移行後は受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムに移行した地域では、カーロケ無線の警報ができません。 ※ 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と警報にズレが生じる場合があります。
取締無線 『取締無線です』	桃	スピード違反やシートベルト着用義務違反の取締現場では、350.1MHzの電波で無線連絡が行われることがあります。これが取締無線です。本機は、それを受信することにより、近くで取締が行われていることを警報します。 ※ 無線を使わず、有線で通信が行われる場合があります。この場合は警報されません。
デジタル無線 『デジタル無線です』	黄	各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。事前に察知することにより、緊急車両の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。
取締特小無線 『特小無線です』	水色	取締現場では、取締無線(350.1MHz)の他に、特定小電力無線が用いられる場合があります。 ※ 取締をしていても、この無線を使用していない場合があります。この場合は警報されません。

種　類	LED	説　明
署活系無線 『署活系無線です』	水色	パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使われる無線が署活系無線です。
警察電話 『警察電話です』	水色	移動警察電話（移動警電）ともいい、警察専用の自動車携帯電話システムのことです。
警察活動無線 『警察活動無線です』	水色	主に機動隊の連絡用無線で、行事などの警備用として、限られた範囲で使用されている無線です。
レッカー無線 『レッカー無線です』	水色	主に関東／東海／阪神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用しています。 ※ 他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがあります。
ヘリテレ無線 『ヘリテレ無線です』	黄緑	ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締を行うときなどに地上との連絡用として使用します。 ※ 一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や、使用されていない場合は受信できないことがあります。
消防ヘリテレ無線 『消防ヘリテレ無線です』	黄緑	ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われます。 ※ 一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や、使用されていない場合は受信できないことがあります。
消防無線 『消防無線です』	黄緑	災害・救助活動で使用する消防用署活系無線（携帯用400MHz帯）です。 ※ 消防本部等で広域に使用されているVHF帯（150MHz帯）の通信は受信できませんので、ご了承ください。
新救急無線 『救急無線です』	黄緑	救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。
高速道路無線 『高速道路無線です』	黄緑	NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本の業務連絡用無線で、主に渋滞や工事・事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用されています。
警備無線 『警備無線です』	黄緑	主に警備会社が使用する無線です。

2. ベストパートナー６識別

カーロケ無線、取締無線、デジタル無線などの無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベストパートナーとして、安全走行のためのタイムリーな情報をお知らせします。

また、カーロケ無線（407.7MHz帯の電波）を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

※ カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたらきます。

[検問注意：特許 第4119855 号]

[並走追尾注意/すれ違い/圏外識別：特許 第3780262 号]

■「カーロケ無線」「取締無線」「デジタル無線」の設定（☛ P.110）をすべて「ON」にする

※ いずれかの無線がOFFの状態では、一部のベストパートナー機能がはたらきません。

種　類	LED	説　明
並走注意 『スピード注意』(2回くり返し)	桃	緊急車両が近くにいる可能性が高いときにお知らせします。
すれ違い注意 『遠ざかりました』(2回くり返し)	桃	近くにいたと思われる緊急車両などが、遠ざかった可能性が高いときにお知らせします。
取締注意 『取締注意』(2回くり返し)	桃	比較的近くで取締などが行われている可能性が高いときにお知らせします。
検問注意 『検問注意』(2回繰り返し)	桃	比較的近くで検問などが行われている可能性が高いときにお知らせします。
カーロケ遠近識別 『カーロケ近接受信です』 『カーロケ遠方受信です』	桃 黄	緊急車両などが近接している時や、遠方にいる可能性が高いときにお知らせします。
カーロケ圏外識別 『カーロケ圏外です』	水色	カーロケ受信の発信元が遠ざかった可能性が高いときにお知らせします。

ベストパートナー＋(プラス)機能

レーダー波や無線の受信とGPSデータ情報をリンクさせ、エリア内で実際に取締が行われている可能性が高い事をお知らせします。

3. 無線警報音

各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルを音声でお知らせします。

※ 30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、音声によるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。
※ 無線を音声受信している場合に、取締レーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。
※ カーロケ無線（☛ P.93）とベストパートナー６識別は、復調を行わず、音声によるお知らせのみとなります。

交信音声受信機能[特許出願中]

受信した音声を聞くことができる交信音声受信機能(復調)を搭載しておりますが、デジタル方式や、デジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。また、各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。

設定変更のしかた

本機は、大きく分けて６つの設定を行うことができます。

警報に関わる機能に関する設定を行う「警報」、マップや待受画面に関する設定を行う「マップ・待受」、画面の明るさやLEDの設定を行う「画面・LED」、音声アナウンスや警報音の設定を行う「音声」、設定の初期化など本機に関わる設定を行う「システム」、OBDⅡアダプターなど別売品の設定を行う「外部機器」があります。

1. 設定を変更する

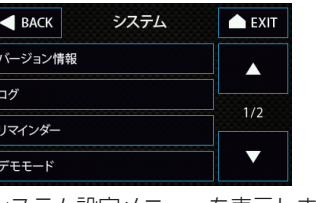
例：システム設定を変更する

1-1 待受画面にタッチする

1-2 [設定]にタッチする

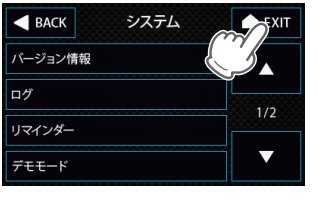
※ 無操作時、数秒で待受画面に戻ります。

1-3 [システム]にタッチする



システム設定メニューを表示します。変更したい項目にタッチして変更してください。

設定時、[EXIT]ボタンにタッチすることで待受画面に戻ることができます。



設定項目について

1. 警報設定

■ 警報

★：初期値

設　定	設定値	説　明
警報モード (☛ P.108)	★ノーマル ミニマム スペシャル オールオン マニュアル (レーダー・無線詳細) (GPS詳細)	本機の警報モードを選択します。 ※ [マニュアル] に設定すると個別に設定内容を変更できます。(☛ P.110)
レーダー	受信感度 (★AAC/ASS)	レーダーの受信感度を選択します。(☛ P.98) ※ [AAC/CUSTOM] に設定すると個別に設定内容を変更できます。
	Kバンド警報タイプ (★自動切替)	オービス配備状況に応じた警報タイプを選択します。(☛ P.99)
レーザー受信 (☛ P.99)	ON/AAC有効 ★ON/AAC無効 OFF	レーザー受信時の警報条件を選択します。
無線受信感度	OFF ★LO HI	無線の受信感度を選択します。
道路選択 (☛ P.99)	一般道 高速道 オール オート気圧なし ★オート気圧あり	GPS警報する道路を選択します。
テロップ設定 (☛ P.99)	★テロップ1周 テロップ連続 OFF	公開取締情報の表示方法を選択します。 ※ [OFF] にした場合、取締路線 (☛ P.19) は表示しません。
公開取締り (☛ P.19)	★ON OFF	[ON] にすると公開取締情報を表示できます。
オービス通過履歴 (☛ P.44)	★ON OFF	[ON] にすると通過したオービスの詳細情報を記録します。

受信感度

※ 受信感度が高いほど遠くの電波を受信できますが、取締レーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて受信感度をお選びください。

OFF	レーダー受信警報を行いません。
シティ	市街地(低感度)
エクストラ	郊外や高速道路(中感度)
スーパーエクストラ	高速道路(高感度)
AAC/ASS	走行速度によって受信感度が変化します。
	0km/h~19km/h …… 警報しません。 20km/h~39km/h …… [シティ]になります。 40km/h~79km/h …… [エクストラ]になります。 80km/h~ …… [スーパーエクストラ]になります。 ※ 電源ON後、GPS測位するまでの間はスーパーエクストラになります。 ※ 走行中にGPS測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でスーパーエクストラに変化します。(別売品のOBDⅡアダプター(☛ P.13)で接続されている場合を除く。) ※ ゾーン30エリア内では、走行速度に関係なくスーパーエクストラになります。 ※ Kバンド警報タイプ[自動切替]設定時は、都道府県によっては取締り路線走行中は、走行速度に関係なくスーパーエクストラになります。
AAC/SE	走行速度によって受信感度が変化します。
	0km/h~19km/h …… 警報しません。 20km/h~ …… [スーパーエクストラ]になります。 ※ GPS測位できない状態では、走行速度に関係なくスーパーエクストラに固定されます。(別売品のOBDⅡアダプター(☛ P.13)で接続されている場合を除く。) ※ ゾーン30エリア内では、走行速度に関係なくスーパーエクストラになります。
AAC/CUSTOM	警報する走行速度、受信レベルをそれぞれ設定できます。
	警報速度:レーダー受信警報を行う速度を設定します。 0km/h以上、10km/h以上、20km/h以上、30km/h以上、40km/h以上、50km/h以上、60km/h以上、70km/h以上、80km/h以上、90km/h以上、100km/h以上から設定します。 警報レベル:レーダー受信警報を行う受信レベルを設定します。 ALL …… レベル1以上(全て)で警報します。 レベル2以上 …… レベル2~5で警報します。 レベル3以上 …… レベル3~5で警報します。 レベル4以上 …… レベル4~5で警報します。 レベル5のみ …… レベル5のみで警報します。 ※ GPS測位できない状態では、走行速度に関係なく設定した受信レベル以上になると警報します。(別売品のOBDⅡアダプター(☛ P.13)で接続されている場合を除く。) ※ 受信レベルの詳細は、☛ P.91「取締レーダー波について」を参照ください。 ※ 受信感度はスーパーエクストラになります。

・AAC/不要警報カット
走行速度が時速20km/h未満はレーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても誤警報することはありません。

・ASS/最適感度選択
走行速度に合わせて最適な受信感度を自動的に選択します。
※GPS測位機能（別売品のOBDⅡアダプター（☛ P.13）で接続されている場合は、OBDⅡ車速検知）によりAAC/不要警報カットやASS/最適感度選択がはたらきます。

Kバンド警報タイプ

自動切替	都道府県ごとに［識別優先 固定］と［警報優先 固定］を自動で切り替えて警報します。
識別優先 固定	レーダー波を識別できた場合のみ警報します。警報回数は少なくなります。
警報優先 固定	レーダー波を受信したら警報します。警報回数は多くなります。

レーザー受信

ON/AAC有効 ON/AAC無効	ON/AAC有効……時速20km/h以上のときに警報を行います。 ON/AAC無効……全ての速度で警報を行います。 ※電源ON後、GPS測位するまでの間はAAC無効になります。 ※走行中にGPS測位ができなくなると、常に「警報する」状態になります。（別売品のOBDⅡアダプター（☛ P.13）で接続されている場合を除く。） ※ゾーン30エリア内では走行速度に関係なくAAC無効になります。
OFF	レーザー受信警報を行いません。

道路選択

一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道のターゲットのみ警報します。
オール	一般道および高速道のすべてのターゲットを警報します。
オート気圧なし	走行道路（一般道か高速道）をGPSの位置情報と気圧の変化で自動的に識別します。一般道と識別できたときは一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは高速道のターゲットのみ警報します。 ※一般道と高速道が並行していたり交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道／高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。 ※GPS測位が困難な状況では、正しく識別できない場合があります。 ※高速道を走行している時間が短い場合は、高速道に識別されないことがあります。 ※渋滞等により高速道で低速走行もしくは停車している場合は、高速道に識別されません。
オート気圧あり	

テロップ設定

テロップ1周	テロップで1周スクロール表示します。
テロップ連続	テロップで繰り返しスクロール表示します。
OFF	テロップは表示しません。

2. マップ・待受設定

■ マップ・待受

★：初期値

設　定	設定値	説　明
マップ	自動マップ切替 (★警報1000m切替)	警報時に待受画面を警報画面(マップ)に固定する距離を選択します。(☛ P.82)
	マップズーム (★ZOOM4)	地図縮尺を切替ます。(☛ P.53) ※ ZOOM1＞ZOOM2＞ZOOM3＞ZOOM4 (広域＞詳細)
	マップ配色(★AUTO)	地図表示の配色を選択します。(☛ 下記参照)
	マップアイコン (★その他ON)	地図に表示するアイコンを選択します。 (☛ P.101)
	マップ表示形式 (★ヘディングアップ)	マップ表示を選択します。
待受背景カスタム※1	待受背景カスタム (★OFF)	[ON]にすると待受画面に背景を表示します。 ※ [ON]で背景の明るさ/ズームを選択できます。
	背景の明るさ(★50%)	背景の透過率を選択します。(10～100%)
	ズーム(★フル)	表示サイズを選択します。(☛ P.101)
プリセット	ベースカラー(★Black)	待受画面の基本色を選択します。(☛ P.101)
	プリセットA/B/C/D/E/F/G/H/ハイブリッド※2	各プリセットの配置/項目を選択します。 (☛ P.58)
フォトフレーム	切替時間(★10秒)	待受画面[フォトフレーム]時の切替時間を選択します。(10秒/30秒/1分/5分)
	エフェクト(★フェード)	待受画面[フォトフレーム]時のエフェクトを選択します。(☛ P.101)
	ズーム(★フル)	表示サイズを選択します。(☛ P.101)
AUTO	切替時間(★1分)	待受画面[AUTO]時の切替時間を選択します。 (15秒/30秒/1分/3分/5分/10分/15分)
	項目選択(★全てON)	待受画面[AUTO]時の表示待受を選択します。

※1：あらかじめ本体に装着されているSDカードの所定のフォルダに、パソコンなどで画像データを保存しておく必要があります。(☛ P.50)
※2：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着した場合に表示します。

マップ

●マップ配色(☛ P.53)

AUTO	日の出～日没までは[昼配色]、日没～日の出と照度センサーで暗いと判断された場合は[夜配色]になります。
昼配色	常に[昼配色](白基調)の状態で地図が表示されます。
夜配色	常に[夜配色](黒基調)の状態で地図が表示されます。

●マップアイコン(☛ P.54)

コンビニ	地図にコンビニをアイコンで表示します。
ファーストフード	地図にファーストフードをアイコンで表示します。
ファミレス	地図にファミレスをアイコンで表示します。
ガソリンスタンド	地図にガソリンスタンドをアイコンで表示します。
その他	地図にスーパー/駅/銀行/図書館などをアイコンで表示します。

●マップ表示形式(☛ P.53)

ヘディングアップ	常に進行方向が上の状態で地図が表示されます。
ノースアップ	常に北が上の状態で地図が表示されます。

プリセット

●ベースカラー

<White>

<Red>

<Blue>

<Gray>

<Black>

フォトフレーム

●エフェクト:写真データの表示を切り替える際の表示方法を選択します。

なし	現在の写真が瞬時に次の写真に切り替わります。
フェード	現在の写真が徐々に消えて次の写真に切り替わります。
スライド	横から次の写真がスライドして次の写真に切り替わります。
ウィンドウ	現在の写真が画面中央に表示範囲が小さくなって次の写真に切り替わります。
ズーム	現在の写真がズームアップするとともに徐々に消えて次の写真に切り替わります。
すべて	[なし]以外のエフェクトを順番に切り替えて写真が切り替わります。

●ズーム:写真データを表示する時の表示サイズを選択できます。

フル	写真の縦横比を保ったまま、画面が写真で埋まるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合、写真の上下もしくは左右がカットされます。
ノーマル	写真の縦横比を保ったまま、縦もしくは横が画面サイズになるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合は、写真をすべて表示し、余白は黒い帯になります。
ノーマル拡大なし	写真データのサイズが画面より小さい場合は、写真の拡大を行わずに、画面に表示し、余白は黒くなります。写真データのサイズが画面より大きい場合は、縦もしくは横が画面サイズになるように縮小します。
画面サイズ強制	写真データの縦横比が画面サイズと異なる場合でも、強制的に画面サイズに拡大・縮小します。そのため、画面の縦横比に合わせて、写真が縦長や横長になります。

3. 画面・LED設定

■ 画面・LED

★：初期値

設　定	設定値	説　明
明るさ(昼)	最小 暗い ★普通 明るい	画面の明るさ(昼)を調整します。
明るさ(夜)	最小 暗い ★普通 明るい	画面の明るさ(夜)を調整します。
マルチカラー LED	OFF 音声連動 エリア連動 ★音声＋エリア連動	警報時や音声案内時のLEDの点灯方法を選択します。(☛ 下記参照)
フレックスディマー	衛星情報 ★照度＋衛星 OBDイルミ連動	画面の明るさの切り替えを選択します。 (☛ 下記参照)
画面反転	ON ★OFF	[ON]で画面表示を上下反転します。
オープニング※1	★アニメーション 静止画 静止画処理(★フル)※2	起動時の画面をアニメーション、静止画から選択します。

※1：あらかじめ本体に装着されているSDカードの所定のフォルダに、パソコンなどで画像データを保存しておく必要があります。(☛ P.49)
※2：ズームと同様になります。詳細はズームの説明を参照ください。(☛ P.101)

マルチカラー LED

OFF	警報時に一切点灯しません。
音声連動	警報の種類によって決まった色のLEDが点灯し、音声に合わせて明るさが変化します。
エリア連動	警報エリアに侵入すると警報ターゲットの種類によって決まった色のLEDが点灯します。優先度の高い警告が優先されます。警報ターゲットへ接近するにつれて点滅が速くなります。
音声＋エリア連動	音声連動とエリア連動の両方でお知らせします。音声連動が優先されます。

フレックスディマー

衛星情報	衛星情報により画面明るさを切り替えます。
照度センサー＋衛星情報	照度センサーと衛星情報による画面明るさを切り替えます。
OBDイルミ連動	イルミ信号により明るさを切り替えます。 ※[OBDイルミ連動]はOBDⅡアダプターによる接続でイルミの情報が取得できる車両にのみ有効です。

4. 音声設定

■ 音声

★：初期値

設　定	設定値	説　明
音声切替	★日本語女性1 日本語女性2 日本語女性3 日本語女性4 英語女性	ナレーションの音声を選択します。
警報音	レーダー警報音 (★メロディ1)	レーダー警報音を選択します。(☛ P.104)
	レーザー警報音 (★メロディ)	レーザー警報音を選択します。(☛ P.104)
	無線警報音(★ボイス)	無線警報音を選択します。(☛ P.105)
	レーダーキャンセル サウンド(★OFF)	[ON]でiキャンセル中、マイキャンセル中に10秒ごとに「キャンセル中です」と、お知らせします。
	オービスロケーション ガイド(★ON)	[ON]でオービス手前500mで目標物とオービスの種類などのアナウンスを行います。
	オービスカウントダウン (★OFF)	選択した距離から100mごとにオービスまでの距離をお知らせします。(☛ P.105)
	ベストパートナー＋ (★OFF)	[ON]で従来の電波受信での警報に加え、レーダー波・無線・GPSの複合で判断します。
	取締・検問レベル告知 (★ON)	[ON]で取締/検問を警報時にレベル告知でお知らせします。
	速度アラーム(★OFF)	選択した速度以上になるとお知らせします。 (☛ P.105)
その他の音	操作音(★ON)	[ON]で操作時に音が出ます。
	時報(★ON)	[ON]で毎時、正時になると時刻をお知らせします。
	測位時あいさつ (★OFF)	[ON]で衛星の初期測位時にあいさつします。
	照度低下ライト確認 (★OFF)	[ON]で周辺が暗くなったときにお知らせします。
	日没ライト確認 (★OFF)	[ON]でGPSによって計算された日没時間になるとお知らせします。
	エコドライブ告知 (★OFF)	[ON]でエコドライブのポイントが満点になったときや減点になったときにお知らせします。
	リラックスチャイム (★2時間)	休憩を促すアナウンス時間を選択します。 (☛ P.105)

設　定	設定値	説　明
サウンドカスタム	起動音(★サウンド1)	各音源を選択します。 ※ お好みの音源に変更する場合、あらかじめ本体に装着されているSDカードの所定のフォルダに、パソコンなどで音声データを保存しておく必要があります。(☛ P.47)
	オービスジングル(★サウンド1)	
	GPS警報ジングル(★サウンド1)	
	GPS告知ジングル(★サウンド1)	
	無線警報ジングル(★サウンド1)	
	測位アナウンス(★サウンド1)	
	レーダーメロディ 1(★サウンド1)	
	レーザーメロディ(★サウンド1)	

音声切替

日本語女性1～4	日本語の女性でナレーションします。
英語女性	英語の女性でナレーションします。

警報音

●レーダー警報音

電子音	『ピッピッピッ…』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
クワイアットボイス	♪効果音のあとに、『レーダーです』と約10秒に1回ボイスで警報します。
メロディ 1	オリジナルメロディ　パターン1(メロディ 1)で警報します。
メロディ 2	オリジナルメロディ　パターン2(メロディ 2)で警報します。
メロディ 3	オリジナルメロディ　パターン3(メロディ 3)で警報します。
メロディローテーション	レーダー波を受信するごとに、3曲のメロディアラーム(メロディ 1⇒メロディ 2⇒メロディ 3の順)で警報します。

●レーザー警報音

電子音	『ピッピッピッ…』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『レーザーです』とボイスで警報します。
メロディ	オリジナルメロディで警報します。

●無線警報音

ボイス	各無線を受信すると、ボイスが1フレーズ鳴ります。 ※ 30秒以内に同じ無線を受信した場合は、ボイスのお知らせはありません。 ※ ボイスが鳴っているときに、取締レーダー波/レーザー光を受信した場合、レーダー警報またはレーザー警報が優先されます。
復調	各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルをボイスでお知らせします。 ※ 30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、ボイスによるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。 ※ デジタル方式やデジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。 ※ 各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。 ※ 無線を音声受信している場合に、取締レーダー波/レーザー光を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。 ※ カーロケ無線(☛ P.93)とベストパートナー6識別(☛ P.95)は、復調を行わず、ボイスによるお知らせのみとなります。

●オービスカウントダウン

OFF	お知らせしません。
400mから /900mから	選択した距離から100mごとにオービスまでの距離をお知らせします。 ※ カウントダウン中に他の警報が発生した場合は、警報が優先されカウントダウンはスキップされます。

●速度アラーム

OFF	お知らせしません。
30～130㎞/h以上	選択した速度以上になるとお知らせします。 ※ 速度アラーム警報中に画面をタッチすると、約5分間速度アラーム警報をミュートします。

その他の音

●リラックスチャイム

OFF	休憩を促すアナウンスを行いません。
30分/1時間/2時間	設定時間おきに、『長時間運転しています。休憩しませんか？』と音声でお知らせします。

5. システム設定

■ システム

★：初期値

設　定	設定値	説　明
バージョン情報	―	本機のバージョンを表示します。 ※ 公開取締情報はデータが入っていない場合空白になります。 ※ コピーした地図データを使用した場合、地図データに「プロテクトエラー」と表示します。エラー表示中はマップ(地図)表示できません。
ログ (☛ P.45)	ログ機能(★OFF)	[ON]で走行データを約18時間分記録します。 ※ 測位および走行の状況により記録する時間は異なります。
	ログデータ出力	ログ機能で記録された走行ログをSDカードにコピーします。
リマインダー (☛ P.114)	オイル	入力した日数で通知を行います。OBDⅡアダプターを接続すると距離での通知もできます。
	オイルエレメント	
	タイヤ	
	バッテリー	
デモモード	―	レーダー受信やGPS警報などの音声や待受画面を表示します。 ※ デモモードを終了する時は画面にタッチしてください。
消去※1	ログデータ	各データを消去します。ログデータ/マイエリア/キャンセルエリア(マイキャンセルエリア、iキャンセル)、投稿ピン、オービス通過履歴を個別に消去できます。
	マイエリア	
	キャンセルエリア	
	投稿ピン	
	オービス通過履歴	
初期化※1	エコドライブ	70ポイント※2にリセットされます。
	設定	各設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。

※1：一度実行すると元に戻せませんのでご注意ください。
※2：エコドライブのポイント(pt)は弊社独自の採点方法で、「急加速(Accel)」、「急減速(Brake)」、「アイドリング(Idling)」、「経済速度(Speed)」、から算出した総合点(Total)です。

6. 外部機器設定

■ OBD 別売品

※ 別売品のOBDⅡアダプター装着時のみ表示されます。　★：初期値

設　定	設定値	説　明
満タンスタート （☛ P.116）	―	実走行による走行距離、給油量により燃費数値の精度を高めます。
満タン補正 （☛ P.117）	―	満タンスタート後の実走行による走行距離、給油量の入力により燃費数値の精度が上がり、本機内に補正係数が登録されます。
係数補正 （☛ P.118）	―	オールクリアをした場合に、以前算出した係数を入力することにより、満タンスタート・満タン補正が不要になります。
平均クリア	―	画面内の平均燃費の値をリセットします。満タン補正の直後に行うと、これまでの平均燃費がクリアされ新たに計算を開始します。 ※ 平均クリアを行っても、補正係数はクリアされません。
月間記録	ON ★OFF	月間記録をONにすると月ごとに走行履歴が保存されます。日時、距離、燃費などが月間最大2,000件保存されます。
月間記録データ	―	保存された月間記録データを表示します。
月間記録消去	―	保存された月間記録データを消去します。
OBD情報 オールクリア	―	OBDⅡアダプターで受け取った車両に関する本機内の数値をリセットします。燃費の補正係数もクリアされるので満タンスタート・満タン補正を行わないと正確な燃費が表示されません。

■ DMS 別売品

※ 別売品のわき見・居眠り運転警報器（OP-EWS2）装着時のみ表示されます。　★：初期値

設　定	設定値	説　明
居眠り検知 （☛ P.30）	★ON OFF	時速10km/h以上で目を閉じている状態を検知して警報を行います。
わき見検知 （☛ P.30）	★ON OFF	時速10km/h以上でわき見を検知したときに警報します。

警報モードについて

本機には、プリセットが４種類（「ノーマルモード」、「ミニマムモード」、「スペシャル」、「オールオンモード」）と、お好みにより機能を個別に設定できる「マニュアルモード」が用意されています。

★：初期値

種　類	説　明
★ノーマルモード	機能同士のバランスを重視したモードです。
ミニマムモード	レーダー、無線、GPSすべてにおいて最低限の項目だけをONに設定しています。
スペシャルモード	取締に関する項目を重視した内容に設定されています。
オールオンモード	すべての機能をONに設定しています。
マニュアルモード	項目別にON/OFFを設定できます。

■ 項目一覧

項　目		ノーマルモード（初期値）	ミニマムモード	スペシャルモード	オールオンモード	マニュアルモード	ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を変更できます。	
レーダー・無線詳細	Ｉキャンセル	ON	ON	OFF	ON	ON	110
	反対キャンセル	ON	ON	OFF	ON	ON	
	カーロケ無線	ON	ON	ON	ON	ON	
	取締無線	ON	ON	ON	ON	ON	
	デジタル無線	ON	OFF	ON	ON	ON	
	特小無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	署活系無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	警察電話無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	警察活動無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	レッカー無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	消防ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	消防無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	新救急無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	高速道路無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	警備無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	

項　目		ノーマルモード（初期値）	ミニマムモード	スペシャルモード	オールオンモード	マニュアルモード	ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を変更できます。	
GPS詳細	オービス	ON	ON	ON	ON	ON	112
	直前速度	ON	ON	ON	ON	ON	
	通過	ON	ON	ON	ON	ON	
	制限速度	ON	ON	ON	ON	ON	
	カメラ位置	ON	ON	ON	ON	ON	
	制限速度切替	ON	ON	ON	ON	ON	
	速度超過	ON	ON	ON	ON	ON	
	取締エリア	レベル3以上	OFF	ALL	ALL	レベル3以上	
	検問エリア	レベル3以上	OFF	ALL	ALL	レベル3以上	
	交差点監視ポイント	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	信号無視抑止	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	高速交通警察隊	ON	OFF	ON	ON	ON	
	駐禁監視エリア※1	ON	OFF	ON	ON	ON	
	一時停止注意	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	Nシステム	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	交通監視システム	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	警察署	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	交番	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	事故多発エリア	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	車上狙いエリア※2	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	急カーブ	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	分岐合流ポイント	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	踏切	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ETCレーン	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	SA	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	PA	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ハイウェイオアシス	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	スマートIC	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ガソリンスタンド	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	

※1：OFFでは駐車禁止エリアアイコンは表示されません。
※2：OFFでは車上狙い多発エリアアイコンは表示されません。

項　目		ノーマルモード（初期値）	ミニマムモード	スペシャルモード	オールオンモード	マニュアルモード	ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を変更できます。	
GPS	トンネル	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	112
	ハイウェイラジオ	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	県境	ON	ON	ON	ON	ON	
	道の駅	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ビューポイント	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	駐車場	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	消防署	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	公衆トイレ	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ゾーン30	ON	OFF	ON	ON	OFF	
	ラウンドアバウト	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	要注意踏切	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	充電ステーション	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	逆走注意ポイント	ON	OFF	ON	ON	ON	

マニュアル個別設定について

※ 警報モードの［マニュアル］（☛ P.97）選択時に表示されます。

■ レーダー・無線詳細

★：マニュアルモード初期値

設　定	設定値	説　明
Iキャンセル	★ON OFF	自動ドアなどがあり、電波を発信していて誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時に電波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。（☛ P.111）
反対キャンセル	★ON OFF	［新Hシステム］［レーダー式オービス］の反対車線で、レーダー波の受信機能をキャンセルします。（反対車線オービスキャンセル機能）
カーロケ無線	★ON OFF	緊急車両などが発信するカーロケーターシステムを受信したときに、警報します。
取締無線	★ON OFF	取締現場で使用されている可能性のある無線（350.1MHz）を受信したときに、警報します。
デジタル無線	★ON OFF	緊急車両が使用している可能性のあるデジタル無線（159 ～ 160MHz）を受信したときに、お知らせします。
特小無線	ON ★OFF	取締現場で使用される可能性のある特定小電力無線を受信したときに、お知らせします。
署活系無線	ON ★OFF	パトロール中の警察官が連絡用として使用する署活系無線を受信したときに、お知らせします。

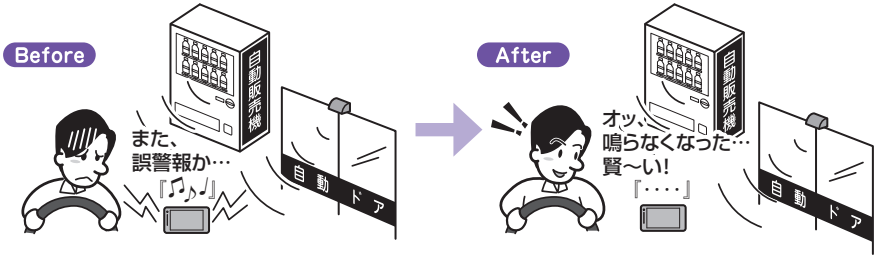
★：マニュアルモード初期値

設　定	設定値	説　明
警察電話無線	ON ★OFF	警察専用の自動車携帯電話システムを受信したときに、お知らせします。
警察活動無線	ON ★OFF	機動隊などが連絡用などで使用する無線を受信したときに、お知らせします。
レッカー無線	ON ★OFF	主にレッカー業者が駐車違反や事故処理の時に連絡用として使用する業務用無線を受信したときに、お知らせします。
ヘリテレ無線	ON ★OFF	ヘリコプターを使って事件や事故処理、取締を行うときに使用する無線を受信したときに、お知らせします。
消防ヘリテレ無線	ON ★OFF	ヘリコプターを使った火事の事故処理や火災現場との連絡用に使用する無線を受信したときに、お知らせします。
消防無線	ON ★OFF	災害、救助活動で使用する無線（400MHz）を受信したときに、お知らせします。
新救急無線	ON ★OFF	救急車が使用している無線を受信したときに、お知らせします。
高速道路無線	ON ★OFF	NEXCOが使用している業務用無線を受信したときに、お知らせします。
警備無線	ON ★OFF	主に警備会社が使用している無線を受信したときに、お知らせします。

●iキャンセル（インテリジェントキャンセル）［特許 第3902553号、第4163158号］

・iキャンセルの仕組み

①取締レーダー波と同じ電波を受信すると警報。［1回目］
②取締レーダー波かどうかを識別。
③誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
④同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。［2回目以降］



登録数は、マイエリア/マイキャンセルエリア/iキャンセルの合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

※ GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
※ iキャンセルされないエリアでは、マイキャンセルを合わせてご利用ください。
※ iキャンセルを［OFF］に設定すると、iキャンセル機能を停止させることができます。
※ 自動登録したエリアは、iキャンセルの設定や電源OFFしても記憶されています。
※ 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、［消去］⇒［キャンセルエリア］（☛ P.106）を参照ください。

■ GPS詳細

★：マニュアルモード初期値

設　定	設定値	説　明
オービス	★ON OFF	設置式の速度取締装置[ループコイル][新Hシステム][LHシステム][レーダー式オービス][レーザー式オービス]が接近したときに、警報します。
直前速度	★ON OFF	オービスに接近したときに自車速度を、お知らせします。
通過	★ON OFF	オービスを通過したときに通過を、お知らせします。
制限速度	★ON OFF	ターゲットのおよそ1km手前で制限速度を、お知らせします。
カメラ位置	★ON OFF	オービスのおよそ500m手前でカメラの位置を、お知らせします。
制限速度切替	★ON OFF	高速道路で制限速度が切り替わるポイントで、お知らせします。
速度超過	★ON OFF	制限速度に対して速度が超過しているときに、お知らせします。
取締エリア	OFF ALL レベル2以上 ★レベル3以上 レベル4以上 レベル5のみ	過去に取締が行われていた場所[移動オービス][速度取締][交差点取締][その他取締]に接近したときに、警告します。
検問エリア	OFF ALL レベル2以上 ★レベル3以上 レベル4以上 レベル5のみ	過去に検問が行われていた場所[シートベルト検問][携帯電話検問][飲酒検問][その他の検問]に接近したときに、警告します。
交差点監視ポイント	ON ★OFF	注意すべき交差点に接近したときに、お知らせします。
信号無視抑止	ON ★OFF	信号無視抑止システムが設置されている交差点に接近したときに、お知らせします。
高速交通警察隊	★ON OFF	高速交通警察隊の待機所が接近したときに、お知らせします。
駐禁監視エリア※1	★ON OFF	本機に登録されている違法駐車取締ガイドラインの最重点地域・重点地域内で停車したときに、お知らせします。
一時停止注意	ON ★OFF	東京23区、名古屋市内、大阪市内の一時停止注意ポイントに接近したときに、お知らせします。
Nシステム	ON ★OFF	自動車ナンバー読み取り装置に接近したときに、お知らせします。
交通監視システム	ON ★OFF	画像処理式交通流計測システムなどに接近した時に、お知らせします。

※1：OFFでは駐車禁止エリアアイコンは表示されません。

★：マニュアルモード初期値

設　定	設定値	説　明
警察署	ON ★OFF	警察署に接近したときに、お知らせします。
交番	ON ★OFF	交番に接近したときに、お知らせします。
事故多発エリア	ON ★OFF	本機に登録されている事故多発エリアに接近したときに、お知らせします。
車上狙いエリア※2	ON ★OFF	本機に登録されている車上狙い多発エリア内で停車したときに、お知らせします。
急カーブ	ON ★OFF	本機に登録されている高速道路の急カーブ・連続カーブにさしかかったときに、お知らせします。
分岐合流ポイント	ON ★OFF	高速道路の分岐・合流ポイントにさしかかったときに、お知らせします。
踏切	ON ★OFF	踏切に接近したときに、お知らせします。
ETCレーン	ON ★OFF	ETCレーンにさしかかったときにETCレーンの位置を、お知らせします。 ※ 交通量や時間によるETCレーンの位置変更には対応していません。実際の交通状況に従ってください。
SA	ON ★OFF	サービスエリアに接近したときに、お知らせします。
PA	ON ★OFF	パーキングエリアに接近したときに、お知らせします。
ハイウェイオアシス	ON ★OFF	ハイウェイオアシスに接近したときに、お知らせします。
スマートIC	ON ★OFF	SA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア)・ハイウェイオアシスにスマートICが併設されているときに、お知らせします。
ガソリンスタンド	ON ★OFF	SA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア)・ハイウェイオアシスにガソリンスタンドが設置されているときに石油会社名とともに、お知らせします。
トンネル	ON ★OFF	高速道路の長いトンネル、連続するトンネルに接近したときに、お知らせします。
ハイウェイラジオ	ON ★OFF	高速道路のハイウェイラジオ受信エリアに接近したときに、お知らせします。
県境	★ON OFF	県境ポイントにさしかかったときに、お知らせします。 ※ 高速道路及び主要一般道路のみ。
道の駅	ON ★OFF	道の駅に接近したときに、お知らせします。
ビューポイントパーキング	ON ★OFF	ビューポイントパーキングに接近したときに、お知らせします。

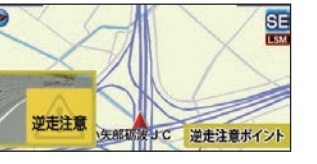
※ 2：OFFでは車上狙い多発エリアアイコンは表示されません。

★：マニュアルモード初期値

設　定	設定値	説　明
(駐車禁止エリア付近) 駐車場	ON ★OFF	駐車禁止エリア付近にある駐車場に接近したときに、お知らせします。 ※ 画面のみでお知らせし、音声でのお知らせはありません。
消防署	ON ★OFF	消防署に接近したときに、お知らせします。
公衆トイレ	ON ★OFF	公衆トイレに接近したときに、お知らせします。
ゾーン30	ON ★OFF	ゾーン30エリアに入ったときに、お知らせします。
ラウンドアバウト	ON ★OFF	ラウンドアバウトに接近したときに、お知らせします。
要注意踏切	ON ★OFF	開かずの踏切や事故多発踏切など改良すべき踏切に接近したときにお知らせします。
充電ステーション	ON ★OFF	充電ステーションに接近したときにお知らせします。
逆走注意ポイント	★ON OFF	逆走注意ポイントに接近したときにお知らせします。

●逆走注意ポイント

過去に逆走が行われた場所の手前でお知らせします。



リマインダーについて

各項目(オイル/オイルエレメント/タイヤ/バッテリー)について日数で通知、または別売品のOBDⅡアダプターで接続すると距離での通知も可能になります。
通知は指定した日数、または距離到達後の車両始動時(本機起動時)に約5秒間、最大3回通知されます。

※ 初期値は日数/距離は設定されていません。
※ トヨタハイブリッド車にOBDⅡアダプターで接続した場合、[オイル][オイルエレメント]の項目は、エンジンが始動した状態で走行した距離によってリマインダー距離が計算されます。

1. リマインダーを設定する

1-1 待受画面にタッチする

1-2 [設定]にタッチする

1-3 [システム]にタッチする

1-4 [リマインダー]にタッチする

1-5 通知したい項目にタッチする

1-6 日数入力または距離入力にタッチする

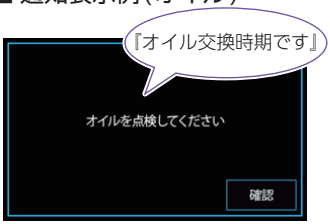
※ 距離入力は別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ有効になります。

1-7 入力し[OK]にタッチする

リマインダーが設定されます

※ 設定単位は日数：1ヶ月、距離：100km単位になります。
※ 「0ヶ月」または「0km」で通知はOFFになります。
※ システムの[初期化]で日数/距離はリセットされます。
※ 日数/距離を再設定した場合は、再設定した時点で通知前(通知中)の残り日数/距離はリセットされ、再設定後の日数/距離で通知されます。

■ 通知表示例(オイル)



※ [確認]にタッチで次回起動時に通知は表示されなくなります。

OBDについて

別売品

本機能は別売品のOBDⅡアダプターで接続することで、平均燃費の数値補正や月ごとの走行履歴を保存する月間記録(☛ P.107)を行うことができます。

1. 満タンスタートをする

1-1 満タン給油する

油面の位置を覚えておいてください。

※ 燃料タンクの構造により給油停止後に油面が低下します。燃料の油面低下が止まった位置を覚えておいてください。(車両によっては下がり方が遅く、また低下が大きい場合があります。)

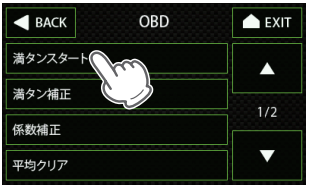
1-2 待受画面にタッチする

1-3 [設定]にタッチする

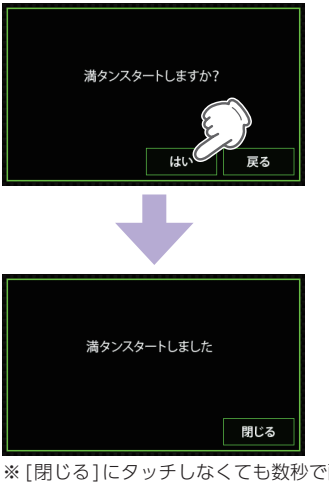
1-4 [外部機器]にタッチする

1-5 [OBD]にタッチする

1-6 [満タンスタート]にタッチする



1-7 [はい]にタッチする



※ [閉じる]にタッチしなくても数秒で画面を閉じます。

1-8 車両のトリップメーターをリセットし走行する

満タン補正進捗率が100%になるまで走行してください。

※ 200～300km程度の走行で100%になります。

※ 満タンスタートを何度も行うことで補正精度は向上します。

※ 満タン補正進捗率が100%になっても走行すれば、それだけ補正精度は向上します。

2. 満タン補正をする

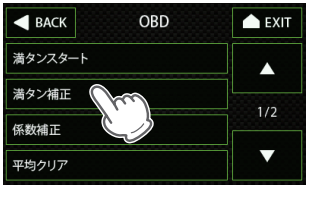
満タン補正進捗率が100%になってから満タン補正を行ってください。

2-1 満タン給油する

前回給油時の油面位置まで給油してください。

2-2 ☛ P.116手順「1-2 ～ 1-5」を行う

2-3 [満タン補正]にタッチする



2-4 [距離補正]にタッチする

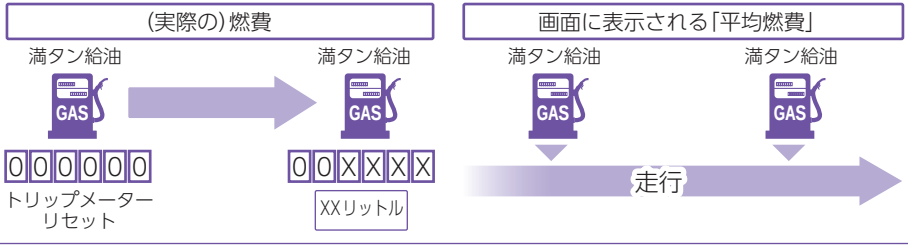
2-5 トリップメーターの走行距離を入力し[OK]にタッチする

2-6 [燃料補正]にタッチする

2-7 給油量を入力し[OK]にタッチする

※ 給油量は給油伝票で確認してください。
※ 待受画面に戻る場合は、[OK]にタッチ後、[EXIT]にタッチしてください。

実際の燃料給油量と走行距離から計算した(実際の)燃費と画面の「平均燃費」は、計算を行う方法が異なりますので、必ず一致するというものではありません。



3. 係数補正をする

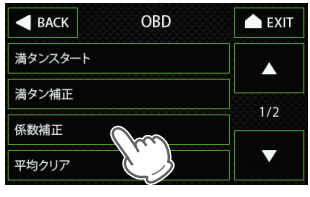
OBD情報オールクリア時や車両変更・機種変更時に行ってください。
燃費計算を行う上での本機内の係数となります。この画面に表示される「距離係数」と「燃料係数」をメモしておくことにより、これまでの燃料計算に戻すことができます。

※ 係数補正を行うことにより「満タンスタート」「満タン補正」が不要になります。（あらかじめ「満タンスタート」「満タン補正」を行って正確な補正係数を取得している場合に限る）
※ 他社製品に表示されていた、雑誌等に掲載されていた、ネットに掲載されていたなどの数値を入力した場合、正常な表示・演算がされないことがあります。

例：係数補正を行う場合

3-1 ☛ P.116手順「1-2 ～ 1-5」を行う

3-2 [係数補正] にタッチする



3-3 [距離補正] にタッチする

3-4 距離係数を入力し [OK] にタッチする

※ メモしておいた距離係数を入力してください。

3-5 [燃料補正] にタッチする

3-6 燃料係数を入力し [OK] にタッチする

※ メモしておいた燃料係数を入力してください。

より正確な数値に修正されます。

※ 待受画面に戻る場合は、[OK] にタッチ後、[EXIT] にタッチしてください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

電源がONにならない

□ 電源スイッチがONになっていますか。（☛ P.32）

□ シガープラグコードが外れていませんか。

□ シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良をおこしていませんか。
2 ～ 3 回左右にひねりながらシガーライターソケットに挿し込み直してください。

□ ヒューズが切れていないか確認してください。（☛ P.20）

□ 付属のSDカードを装着していますか、または抜けかけていませんか。
本機は付属のSDカードを装着していないと起動しません。

□ 初めてOBDⅡアダプターを車両に取り付けていませんか。
初めて起動する場合、起動に数分かかることがあります。

電源がOFFにならない

□ シガーライターソケットの電源がイグニッションのON/OFFに連動してON/OFFしない車両があります。このような車両では、車両停止（ACC OFF）しても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、本体の電源スイッチで電源OFFしてください。

□ OBDⅡアダプターを車両に取り付けていませんか。
車両停止（ACC OFF）してから本体が電源OFFするまで、数秒から数十秒かかります。
OBDⅡアダプターで接続した場合は、本体の電源スイッチで電源OFFしないでください。

OBDⅡアダプターを接続中に突然電源OFFになった

□ OBDⅡアダプターのコネクターが外れていないか確認してください。
車両の振動等によってコネクターが緩むことがあります。

マップ（地図）が表示されない / 真っ白になる

□ 市販のSDカードに本機データをコピーして使用していませんか。
本機は付属のSDカード以外では正常にマップ（地図）は表示されません。付属のSDカードの紛失、データの破損等は有償での交換となります。弊社お客様ご相談センターまでご連絡ください。

「SDカードを挿入してください」と表示される

□ 付属のSDカードが本体に挿入されているか確認してください。
付属のSDカードが挿入されていないと使用することができません。また、データ破損等は有償での交換となります。弊社お客様ご相談センターまでご連絡ください。

何も表示しない

□ 待受画面が［OFF］ではありませんか。
待受画面⇒［待受変更］にタッチして待受画面を変更してください。

GPS警報しない

□ GPS測位していましたか。

□ 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。

速度表示が車両の速度計と異なる

□ 車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
※ OBDⅡアダプター接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。
※ 補正機能はありません。

レーダー警報しない

□ 電源ONになっていますか。

□ 取締レーダー波が発射されていましたか。
計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型や、取締準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締レーダー波が発射されていないことがあります。

□ マイキャンセルエリア登録した場所ではありませんか。

□ iキャンセルしていませんか。

□ レーダー受信感度が[AAC/ASS]または[AAC/SE]の場合、時速20km/h未満のときは警報しません。

□ 周波数帯の変更を伴う取締機の仕様変更により、探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。

レーザー警報しない

□ 本体の背面に障害物はありませんか。
本体背面のレーザー受光部が隠れていると、レーザー光を受けることができず警報できません。

□ 本体の背面が進行方向を向いていますか。
進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。(☛ P.90)

□ レーザー受信感度が[AAC有効]の場合、時速20km/h未満のときは警報しません。

□ 一部の車種に採用されているUV、IRカットガラスのなかには、レーザー光の透過率が低く取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。

□ レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの周辺では取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。

ひんぱんにレーザー警報する

□ 本体の背面が進行方向を向いていますか。
進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。(☛ P.90)

□ レーザー受信感度を[AAC有効]にしてください。(☛ P.97)
時速20km/h未満のときは警報しません。

□ レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの周辺では受信する場合があります。

ひんぱんに無線警報する

□ 放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車両やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。

取締もしていないのに警報機能がはたらく

□ 取締レーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。

取締レーダー波と同じ電波を使用している主な機器

マイクロ波のドップラー式自動ドア/防犯センサー/自動販売機の人感センサー/自動車用先進運転支援システム/信号機の近くに設置されている車両通過計測器/NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部/気象用レーダー/航空レーダーの一部/他のレーダー探知機の一部/まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。

一般道を走行中に高速道路のターゲットをGPS警報する

□ 道路選択の設定を[オール]でご使用の場合は、一般道と高速道の両方のターゲットを警報します。(☛ P.108)

□ 一般道と高速道が並行していたり、交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道/ 高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。

□ ハイウェイオアシスは、[一般道]に設定された場合もGPS告知されます。

取締現場なのに350.1MHzを受信しない

□ 取締無線を[ON]に設定していましたか。

□ 取締現場での連絡が無線方式で行われていましたか。
連絡には350.1MHz の電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。

誤警報がキャンセルされない

□ GPS測位していましたか。

□ 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。

□ 取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。

地図がズレる

□ GPS測位していましたか。障害物や遮へい物の無い、視界の良い場所へ移動してみてください。

□ マーク･名称が重なって表示されることがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。

音が出ない

□ 音量[0]になっていませんか。
待受画面⇒[音量+]にタッチして音量を調整してください。

警報の途中で警報音が小さくなる

□ レーダー波/レーザー光の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。
(☛ P.84「オートクワイアット」)

OBDⅡアダプター接続時に表示される待受画面の一部が表示されない

□ 車種によって、待受画面の一部の項目が表示されない場合があります。(車種別の適応については、販売店または弊社ホームページでご確認ください。)

OBDⅡアダプター接続時にスロットル開度が、アイドリング中でも0%にならない

□ 車種によって、「スロットル開度」はエンジンがアイドリング状態でも表示が0%にならないことがあります。

OBDⅡアダプター接続時に待受画面の項目の内容が、車両のメーターと異なる

□ 車種によって、表示する内容は純正メーターの数値やタイミングと異なる場合があります。

画面が常に暗い

□ フレックスディマーの設定で[照度センサー+衛星情報]に設定すると、設置場所によっては常にフレックスディマーが動作する場合があります。その場合は、取付場所を変更するか設定を[衛星情報]にしてご使用ください。

わき見・居眠り運転警報器が警告しない

□ ケーブルが外れていませんか。

□ 顔検出(ドライバーモニタリング)していますか。(☛ P.128)

□ 運転者が顔検知範囲内にいますか。

□ キャリブレーションをしましたか。
キャリブレーションを行っていない場合警報しません。

□ 片目だけ閉じていませんか。(☛ P.130)
居眠り警報は両目を約1秒以上閉じている状態を検知します。

□ メガネやサングラスをかけていませんか。
近赤外線カットが強いメガネをかけている場合や、特殊なコーティングのメガネやサングラスをかけている場合は正しく警報しない場合があります。

□ マスク、眼帯などをしていませんか。
目、鼻、口のいずれかが常に隠れていると正しく警報しない場合があります。

わき見・居眠り運転警報器が警告しない（つづき）

□ 本体のカメラに結露はありませんか。

本体のカメラに結露があるとキャリブレーションできない場合があります。水滴が付いた場合は拭き取ってください。

□ １台の車両を複数人で使用していませんか。

運転者が代わる場合はその都度本体の向きを調整し、キャリブレーションを行ってください。（☛ P.129）

□ 駐停車中、または約10km/h以下で走行中ではありませんか。

駐停車中、または約10km/h以下での走行中は、本機のフィルタリング機能がはたらき警告を行いません。

わき見・居眠り運転警報器の誤報が多い

□ キャリブレーション範囲内に本体を取り付けていますか。

□ あくび、または笑っていませんか。

あくびをしたときや笑っているときなど、目が小さくなっているのを検知してしまう場合があります。

□ 右左折時や駐車時による顔の動きを検知し、警告する場合があります。あらかじめご了承ください。

□ メガネやサングラスをかけていませんか。

近赤外線カットが強いメガネをかけている場合や、特殊なコーティングのメガネやサングラスをかけている場合は誤報の原因となる場合があります。

□ １台の車両を複数人で使用していませんか。

運転者が代わる場合はその都度本体の向きを調整し、キャリブレーションを行ってください。（☛ P.129）

□ マスクや眼帯、髪の毛などで目、鼻、口のいずれかが隠れていませんか。

目、鼻、口のいずれかが常に隠れていると正しく警報しない場合があります。

地図データ

背景地図(Top,Middle,Base)

・この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。©2017　一般財団法人日本デジタル道路地図協会(測量法第44条に基づく成果使用承認)[2025年3月発行データ使用]

・©2025 GeoTechnologies, Inc.

詳細背景地図(City)

・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号　国地企調第180号　平成22年9月28日)

・測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 4JHs 117-55号)

・測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 4JHs 164-55号)

・©2025 GeoTechnologies, Inc.

道路ネットワーク

・この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。©2017　一般財団法人日本デジタル道路地図協会(測量法第44条に基づく成果使用承認)[2025年3月発行データ使用]

・©2025 GeoTechnologies, Inc.

仕 様

電源電圧	DC12V(マイナスアース車専用)	
消費電流	待機時	：230mA以下
	最大時	：420mA以下（※OP-EWS2(別売品)併用時 640mA以下）
受信方式	GPS部	：32チャンネル/パラレル受信方式
	レーダー部	：スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式
測位更新時間	最短0.5秒	
表示部	フルカラー液晶ディスプレイ ワイド3.6インチ	
受信周波数	GPS部	：1.6GHz帯
	レーダー部	：Xバンド/Kバンド
	UHF部	：336～470MHz帯
	VHF部	：154～163MHz帯
動作温度範囲	－20℃～＋85℃(UHF/VHF部：－10℃～＋60℃)	
外形寸法	本機	：106(幅)×60(高さ)×21(奥行) mm(突起部除く)
	OP-EWS2(別売品)	：51(幅)×68(高さ)×32(奥行) mm(突起部除く)
本体重量	本機	：約115g(microSDカード含む)
	OP-EWS2(別売品)	：約45g
製品保証期間	3年(消耗品は除く)	

・Google、Googleカレンダー、Google Earthは、Google LLCの商標または登録商標です。
・「microSD™」は、SD Card Associationの商標または登録商標です。
・「Windows®」、「Microsoft®Windows®」は、Microsoft Corporationの、商標または登録商標です。
・QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
・その他の各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

・オープンソースソフトウェア
zlib
本製品はZIPファイルのデコードに「zlib」を使用しています。

・ゾーン30のデータについて
本機で使用している交通規制データは、公益財団法人 日本道路交通情報センター(JARTIC)の交通規制情報を使用しています。
本機で使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター(JARTIC)の交通規制情報を、株式会社トヨタマップマスターが加工して作成したものを使用しています。

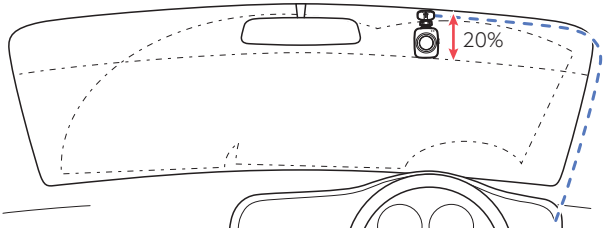
(C)TOYOTA MAPMASTER INC.

安全上のご注意（OP-EWS2）

●本機の取り付けについて

⚠ 警 告

❗ 取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。



●本機のお手入れについて

⚠ 注 意

⚠ カメラが汚れている場合は、柔らかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。
乾いた布などで拭くと傷の原因となります。

使用上のご注意（OP-EWS2）

■ 取り扱いに関する注意

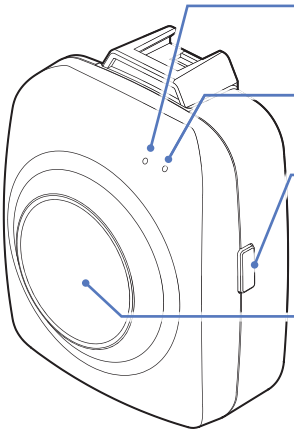
・本機は運転者の顔の向きと、まぶたの開閉を検知し警告を行う装置です。
・装置に頼った運転は行わないでください。
・疲れや眠気を感じたら休憩を取るようにしてください。
・周辺状況、個人差によりキャリブレーション範囲が低下する場合があります。
・安全運転のために、走行中は本機の位置調整を行わないでください。
・本機は精密電子機器のため、分解や改造は絶対に行わないでください。
・右左折時や駐車時の顔の動きを検知して、警告を行う場合があります。あらかじめご了承ください。

■ フィルタリング機能に関する注意

・本機はGPSで車速を測定し、車速が約10km/h未満の場合、警告しないようにフィルタリングする機能を搭載しております。車速が約10km/h以上になるとフィルタリングを解除します。
・ただし、本機の電源ON後GPSが補足されるまでの間や、GPSを受信できない場所ではフィルタリング機能は働かないため、車速に関わらず警告を行う場合があります。

各部名称と働き (OP-EWS2)

正 面



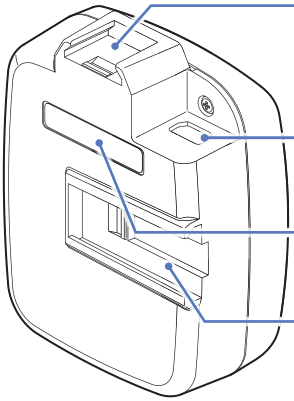
電源ランプ(赤)
本体の動作状態をランプでお知らせします。

ステータスランプ(青・緑)
本体の動作状態をランプでお知らせします。

キャリブレーションボタン
運転者の位置を補正する際に使用します。
※ キャリブレーションには条件があります。詳細は(☛ P.128)をご覧ください。

カメラ
顔を検知します。
※ ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にはがしてください

裏 面



フロントガラス取付け用ジョイントレール
付属のフロントガラス取付け用ブラケットを取り付けます。

DC ジャック
付属の接続ケーブルを接続します。

シリアルナンバーシール
製造番号が印刷されています。

ルームミラー取付け用ジョイントレール
付属のルームミラー取付け用ブラケットを取り付けます。

1. 付属品のご確認

ご使用前に付属品をお確かめください。

- ■ フロントガラス取付け用ブラケット ……1
- ■ ルームミラー取付け用ブラケット ……1
- ■ アダプター ……1
- ■ 接続ケーブル ……1
- ■ 六角レンチ ……1
- ■ 両面テープ ……1
- ■ 結束バンド ……2
- ■ 保証書 ……1

ドライバーモニタリングについて (OP-EWS2)

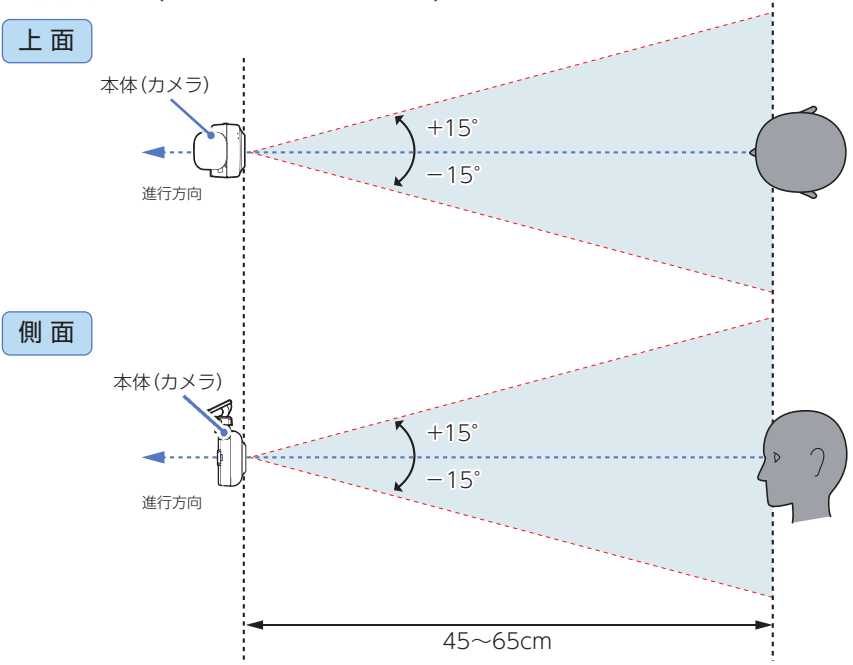
本機はドライバーモニタリング中(ステータスランプ：緑色)に、フロントガラスなどに設置した本体 (カメラ) で撮影した映像を画像処理し、顔の向きとまぶたの開閉を検知し警告します。

※ レーダー探知機本体より警告を行います。自車の動作(自動ブレーキなど)とは連動しません。
※ 検知感度の設定はできません。あらかじめご了承ください。

⚠ 注 意

- 本機の機能を過信しないでください。すべての条件において検知、警告を保証するものではありません。
- 疲れや眠気を感じたら休憩を取るようにしてください。

■ 顔検知範囲(キャリブレーション範囲)



以下の場合、正しく警報できない場合があります。

- 日の出や日没の前後や顔が外光に照らされている場合。
- 目を細めている場合。
- あくびをしたときや笑っているときなど、目が小さくなっている場合。
- 近赤外線カットが強いメガネ、特殊なコーティングのメガネやサングラスをしている場合。
- カメラに結露がある場合。
- マスクや眼帯、髪の毛などで目、鼻、口のいずれかが常に隠れている場合。

1. キャリブレーション

キャリブレーションとは、表情の変化を正しく認識できるよう顔までの距離や目の位置などを調整する機能になります。一度キャリブレーションを行えば毎回行う必要はありません。

⚠ 注 意

下記の条件が発生した場合はキャリブレーションを行ってください。

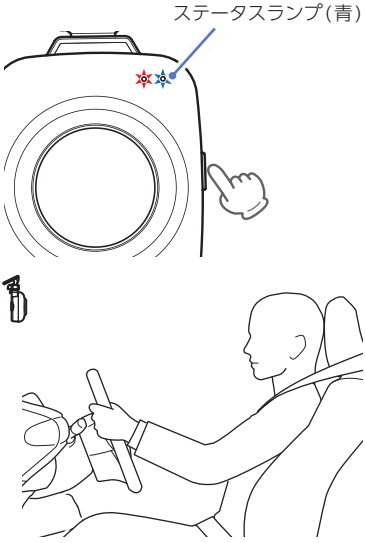
- 本機を初めて取り付けた場合。
- 本機の向きや取り付け位置を変えた場合。
- 運転席のシートの位置を変えた場合。
- 運転者が変わった場合。

※ キャリブレーションを行う際は、車両を停車させてから行ってください。
※ マスクを着用しているとキャリブレーションに失敗します。マスクを外してからキャリブレーションを行ってください。

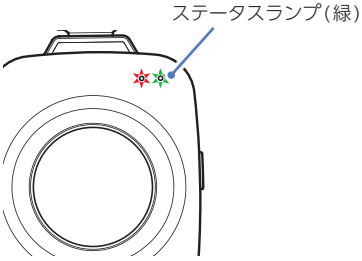
1-1 車両を始動(ACC ON)する

車両始動(ACC ON)に連動して電源ONします。

1-2 キャリブレーションボタンを押し、運転姿勢をとる



※ キャリブレーション中はステータスランプが青色に点灯し、完了するとステータスランプが緑色に点灯します。
※ キャリブレーションに失敗した場合、ステータスランプが青色の点灯のまま再度キャリブレーションを行います。
※ 運転姿勢を保ち、本体(カメラ)ではなく進行方向を向いてください。
※ 本体(カメラ)に近づくと正しくキャリブレーションできない場合があります。
※ キャリブレーションが完了しない場合は、本体の角度があっていない可能性があるため、角度の調整を行い、再度キャリブレーションを行ってください。



1-3 車両を停止(ACC OFF)する

車両停止(ACC OFF)に連動して電源OFFします。

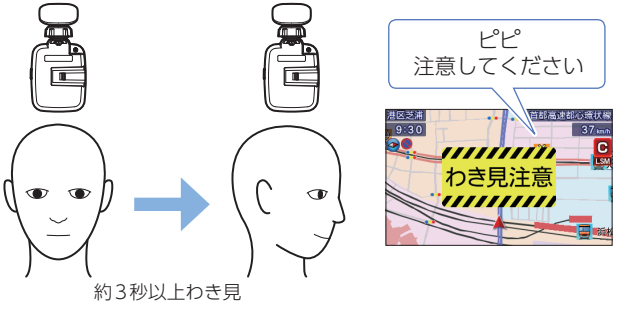
別売品(OP-EWS2)

2. わき見警告

ドライバーモニタリング中（ステータスランプ：緑色）に、約３秒以上わき見を検知した場合に警告を行います。

※ 時速10km/h以下では警告しません。
※ 正面を向くと警告は止まります。
※ 誤動作が多いと感じた場合は本体の向きを調整し、再度キャリブレーションを行ってください。（☛ P.129）

■ わき見をした場合

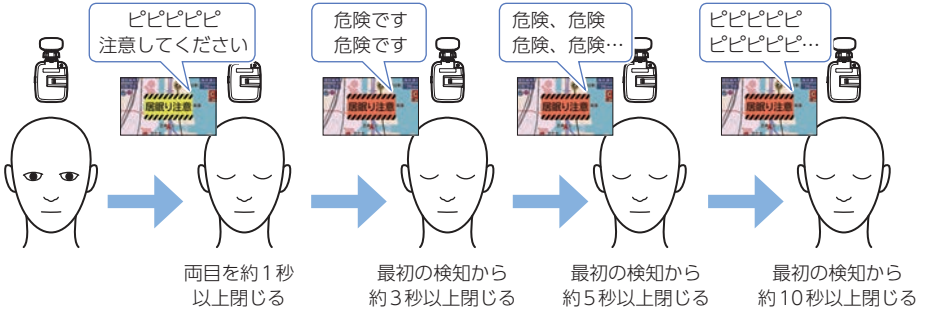


3. 居眠り警告

ドライバーモニタリング中（ステータスランプ：緑色）に、まぶたを閉じていること（両目を１秒以上閉じる、目線を下に落とす）を検知した場合に警告を行います。

※ 時速10km/h以下では警告しません。
※ まぶたを開く（両目を１秒以上開ける）と警告は止まります。
※ 誤動作が多いと感じた場合は本体の向きを調整し、再度キャリブレーションを行ってください。（☛ P.129）
※ 片目だけ閉じた状態では警告しません。

■ 居眠りをした場合

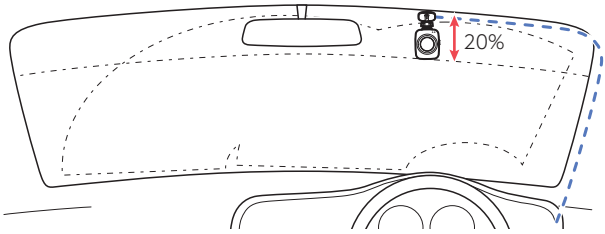


取り付けについて(OP-EWS2)

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

①フロントガラス取付け用ブラケットで取り付ける場合は、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。



②本機は運転者の顔に対して正面に取り付けてください。

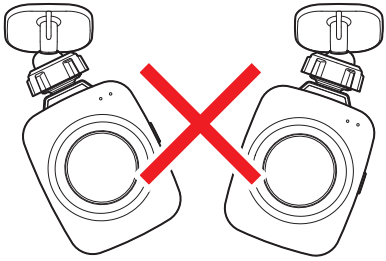
※運転者の顔に対して正面に取り付けない場合は正しく警告しない場合があります。

③運転者の顔と本機の距離が顔検知範囲内(45 ～ 65cm)になるように取り付けてください。

④運転者の顔と本機の距離が65cmを超える場合は付属のルームミラー取付け用ブラケットを使用してください。

※運転者から見て左側へのわき見が警告されにくくなり、右側へのわき見が警告されやすくなります。

⑤取り付け角度が水平であること。(右図参照)



・両面テープは所定の位置にしっかりと取り付けてください。

・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。

・本機の周囲に物を配置しないでください。動作に影響を受ける場合があります。

・ルームミラーに取り付けるとサンバイザーが使用できない場合があります。

・ルームミラーに取り付ける際は、しっかりと装着されていることを確認のうえ、走行してください。

・本機は純正ルームミラーに取り付けるため、振動によりミラーが振れてしまうことやミラー自体が傾いてしまう場合があります。

・取り付け前に、取り付け位置で接続ケーブルが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。

・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。

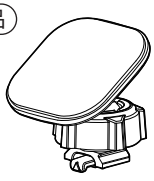
・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。

・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両の取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。

下記の2通りの取り付け方法があります。いずれかの方法で取り付けてください。
※ あらかじめ取り付け位置のホコリ・汚れをよく落とし、慎重に取り付けてください。

A. フロントガラスに取り付ける（☛ P.133）

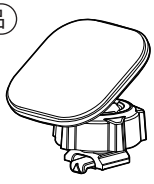
付属品



フロントガラス
取付け用ブラケット

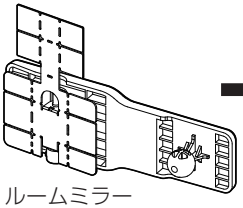
B. 純正ルームミラーに取り付ける（☛ P.135）

付属品



フロントガラス
取付け用ブラケット
※ ボールジョイントと
ナットのみ使用します。

＋



ルームミラー
取付け用ブラケット

＋

六角レンチ

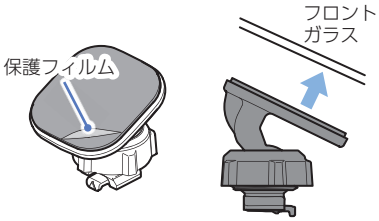
電源コードを接続後にキャリブレーションを行ってください。（☛ P.129）

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- フロントガラス、ルームミラーの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナーなどは絶対に使用しないでください。
- サンシェードなどの日よけを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因になります。
- 極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を温めてから貼り付けをしてください。
- 固定力を強くするために本体を取り付けず、24時間以上放置してください。
- 貼り直しはテープの粘着力を弱め、脱落するおそれがあります。
- 両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープが接着面に貼り付いていないとはがれることがあります。

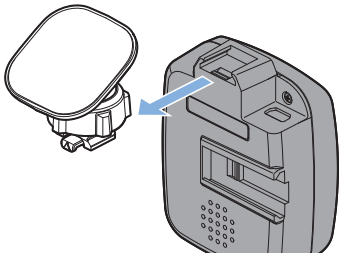
A. フロントガラスに取り付ける

A-1 フロントガラスにブラケットを貼り付ける



両面テープの保護フィルムをはがし、フロントガラスに貼り付けます。

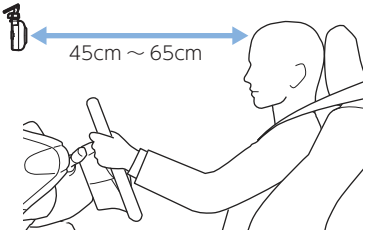
A-2 ブラケットに本体を取り付ける



フロントガラス取付け用ジョイントレールをスライドさせ取り付けます。

※ 奥までスライドさせ、軽く引っ張り本体が外れないことを確認してください。走行中に落下するおそれがあります。
※ カメラに触れないように取り付けてください。カメラに触れるとカメラが曇りキャリブレーションできなくなるおそれがあります。

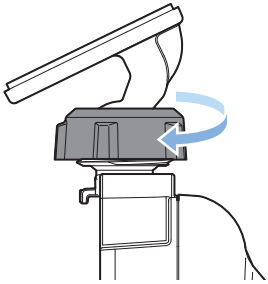
A-3 本体の向きを調整する



運転姿勢で、本体（カメラ）が運転者の顔（両目）の中心を向くように本体の向きを調整します。

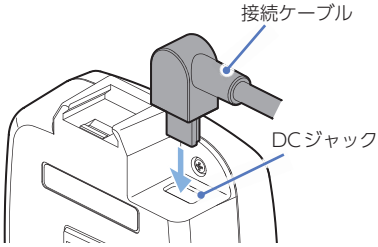
※ 向きの調整は本体ではなくブラケットで行ってください。本体で調整すると、両面テープのはがれや、本体が破損することがあります。

A-4 ナットを締めて固定する



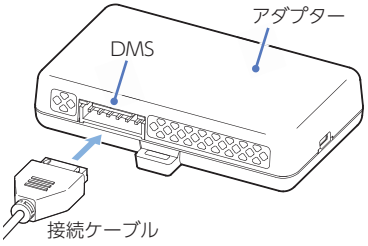
※ 確実にナットで固定してください。走行中に落下するおそれがあります。
※ ナットを締める場合は、本体を回さずにナットを締めてください。ブラケットのジョイント部に無理な力が掛かり破損するおそれがあります。

A-5 接続ケーブルを接続する



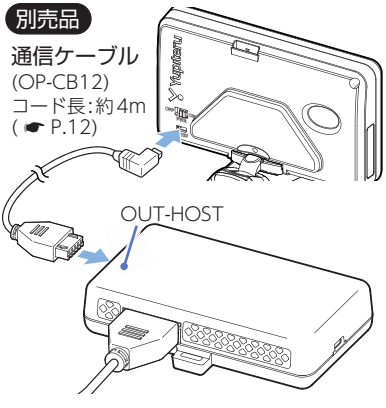
本機のDCジャックに接続ケーブルを接続します。

A-6 アダプターに接続する



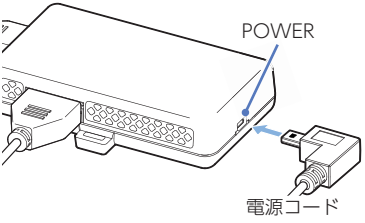
アダプターの[DMS]コネクターに接続ケーブルを接続します。

A-7 レーダー探知機とケーブルを接続する



別売品の通信ケーブル(OP-CB12)をアダプターの[OUT-HOST]コネクターと、レーダー探知機のDCジャックに接続します。

A-8 電源を接続する



アダプターの[POWER]コネクターに、レーダー探知機に付属の電源コードまたは別売品のOBDⅡアダプターを接続します。

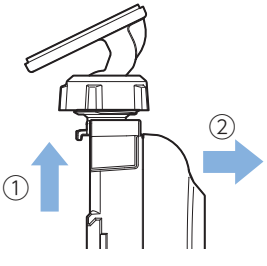
A-9 キャリブレーションする

(☛ P.129)

■取り外し方法

①ブラケットのロック解除レバーを持ち上げる

②本体を矢印の方向へスライドさせる

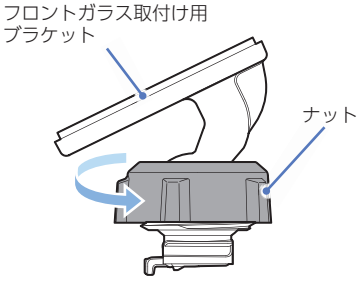


B. 純正ルームミラーに取り付ける

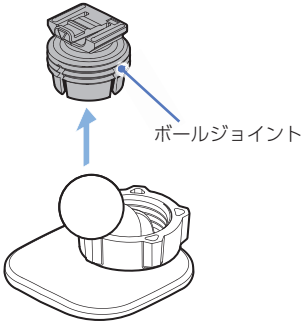
⚠ 注 意

- ルームミラー取付け用ブラケットを貼り付けた場所からはがす場合は、無理にはがさず慎重に行ってください。本機や車両の破損の原因となります。
- ステーを曲げるときなど、突起部分などでけがをしないよう、細心の注意をはらってゆっくりと折り曲げてください。
- 折れてしまうことがあるので、ステーは繰り返し折り曲げないでください。
- 本取り付け方法は、純正ルームミラーに直接取り付けるため、振動によりミラーが振れてしまうことや、ルームミラー自体が傾いてしまう場合があります。
- ルームミラー取付け用ブラケットがしっかりと貼り付けられていることを確認のうえ、ご使用ください。
- ルームミラーに取り付けることにより、サンバイザーが使用できない場合があります。
- ルームミラーへの取り付けは右ハンドル車のみに対応しています。あらかじめご了承ください。

B-1 ブラケットのナットを完全に緩める

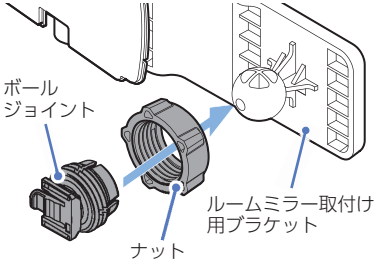


B-2 ボールジョイントを外す

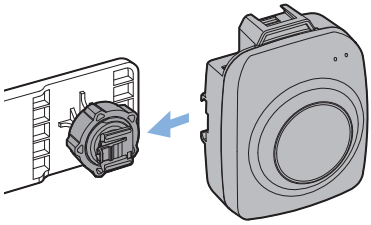


※ ボールジョイントを外す際、突起部に注意して取り外してください。

B-3 ブラケットにナットとボールジョイントを取り付ける



B-4 ボールジョイントに本体を取り付ける



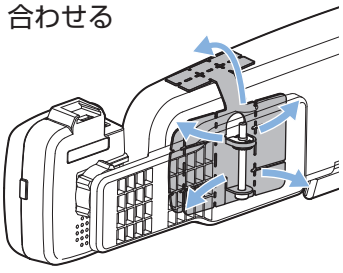
ルームミラー取付け用ジョイントレールをスライドさせ取り付ける。

※ 奥までスライドさせ、軽く引っ張り本体が外れないことを確認してください。走行中に落下するおそれがあります。

※ カメラに触れないように取り付けてください。カメラに触れるとカメラが曇りキャリブレーションできなくなるおそれがあります。

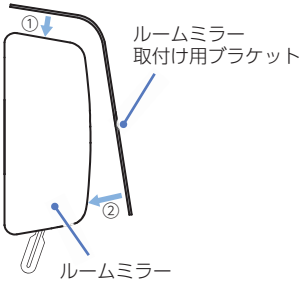
別売品
(OP-EWS2)

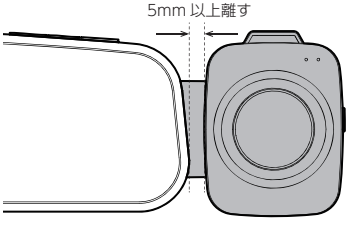
B-5 ルームミラー取付け用ブラケットをミラー背面形状に合わせる



※ 保護フィルムをはがさないでミラー背面の形状に合わせてください。

B-6 両面テープの保護フィルムをはがし、ミラーに貼り付ける

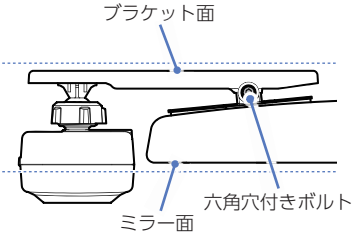




ルームミラー取付け用ブラケットは上面(①)から貼り付けてください。

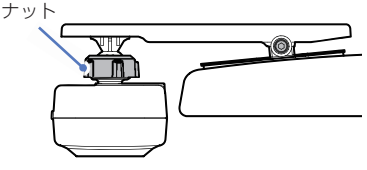
※ 本体とルームミラーの干渉を避けるため、必ず5mm以上離して取り付けてください。

B-7 ブラケットを六角レンチで締めて固定する



ルームミラーのミラー面と、ブラケットの面が平行になるように調整し、付属の六角レンチで六角穴つきボルトを締めて固定します。

B-8 本機の向きを調整し、ナットを締めて固定する

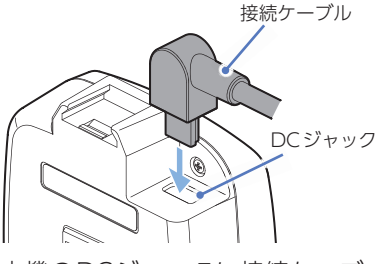


ナットを緩め、本機の向きを調整し、ナットを締めて固定します。

※ 確実にナットを締めて固定してください。走行中に落下するおそれがあります。

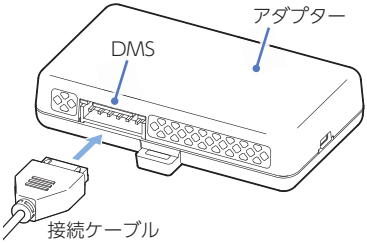
※ ナットを締める場合は、本体を回さずにナットを締めてください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり破損するおそれがあります。

B-9 接続ケーブルを接続する



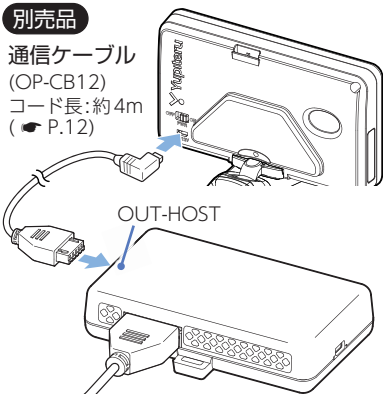
本機のDCジャックに接続ケーブルを接続します。

B-10 アダプターに接続する



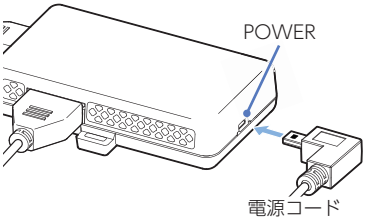
アダプターの[DMS]コネクターに接続ケーブルを接続します。

B-11 レーダー探知機とケーブルを接続する



別売品の通信ケーブル(OP-CB12)をアダプターの[OUT-HOST]コネクターと、レーダー探知機のDCジャックに接続します。

B-12 電源を接続する



アダプターの[POWER]コネクターに、レーダー探知機に付属の電源コードまたは別売品のOBDⅡアダプターを接続します。

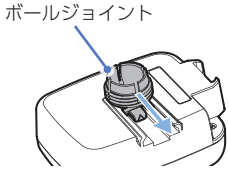
B-13 キャリブレーションする

(☛ P.129)

■取り外し方法

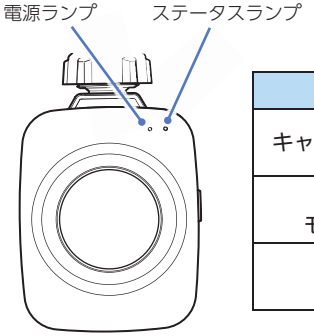
①ナットを緩め、本体とルームミラー取付け用ブラケットを分解する

②ボールジョイントをジョイントレール方向に強く押すと外れます



動作一覧(OP-EWS2)

1. ランプについて



動作状態	ランプの状態
キャリブレーション中	電源ランプ(赤) ステータスランプ(青)
ドライバーモニタリング中	電源ランプ(赤) ステータスランプ(緑)
電源OFF	電源ランプ(消灯) ステータスランプ(消灯)

2. 警告について

警告音・表示については「わき見・居眠り運転警報器(OP-EWS2)使用時の本機の動作」(☛ P.30)をご覧ください。

仕 様(OP-EWS2)

電源電圧	DC12V
消費電力	2.5W
キャリブレーション範囲(本体(カメラ)から見て)	上下:±15° 左右:±15°
動作温度範囲	− 10℃〜+ 60℃
外形寸法	本体:51(幅)×68(高さ)×32(奥行) mm(突起部除く)
	アダプター:70(幅)×40(高さ)×16(奥行) mm(突起部除く)
本体重量	本体:約45g